

# 加古川市人権に関する 市民意識調査報告書

平成29年(2017年)3月

加古川市



## はじめに

本市におきましては、平成 22 年（2010 年）3 月に、人権施策の方針を示す、現行の「加古川市人権教育及び人権啓発に関する基本計画」を策定し、現在まで当該計画に基づき、市民の皆さまや地域、職場等の協力を得ながら、同和問題はもとより、さまざまな人権課題の解消をめざし、教育や啓発に取り組んでまいりました。

しかしながら、近年インターネット上での人権侵害や性的マイノリティなど新たな課題が発生し、また、平成 28 年度（2016 年度）には、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（障害者差別解消法）や「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組みの推進に関する法律」（ヘイトスピーチ解消法）、「部落差別の解消の推進に関する法律」が相次いで制定されるなど、国の情勢や私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。

そこで、本市では、さまざまな人権課題について、これからの施策の方針を明らかにする新たな基本計画を策定することとし、市民意識の実情や変化等を把握するとともに、計画の見直しに必要な基礎資料を得るため、「加古川市人権に関する意識調査」を実施いたしました。

今後は、この調査結果を踏まえ、一人ひとりが尊重される差別や偏見のないまちづくりに資する計画を策定してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本調査の実施及び分析にご尽力いただきました関係者の皆さまをはじめ、調査にご協力をいただきました市民の皆さまに心からお礼を申しあげます。

平成 29 年 3 月

加古川市長 岡 田 康 裕



# 目次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収状況	1
4	報告書の見方	1
II	回答属性	2
1	性別	2
2	年齢	2
III	調査結果	3
1	人権問題の身近さに対する意識について [問1]	3
2	人権侵害の認識状況について [問2]	5
3	子どもの人権に関する意見に対する考えについて [問3]	19
4	人権侵害の経験について	27
	(1) ここ5年間ぐらいに人権を侵害されたと思った経験 [問4]	27
	(2) 受けた人権侵害 [問4-1]	28
	(3) 人権侵害を受けたときの対応 [問4-2]	30
5	家族に関わるいろいろな見方や考え方について [問5]	32
6	国民の権利として定められていると思うものについて [問6]	45
7	人権教育を受けた経験について	46
	(1) 学校で差別や人権に関し教育を受けた経験 [問7]	46
	(2) 学校で受けた人権教育の内容 [問7-1]	47
8	同和地区の人との結婚について相談を受けた場合の対応について [問8]	48
9	同和問題に関する発言を聞いた経験について	50
	(1) 過去5年間で同和問題に関する発言を聞いた内容 [問9]	50
	(2) 同和問題に関する発言をした相手 [問9-1]	51
	(3) 同和地区の人を差別する発言に対し抱いた意識やとった態度 [問9-2]	52
10	人権の観点から問題のある行為の認識状況について [問10]	54
11	日本の社会での人権や同和問題に関する意見に対する考えについて [問11]	64
12	日常でのインターネットの利用頻度について [問12]	67
13	インターネット上の書き込みや行為についての考えについて [問13]	68
14	人権問題に関する講演会や研修会の参加について	74
	(1) 人権問題に関する講演会や研修会などの参加有無 [問14]	74
	(2) 参加経験のある講演会や研修会などの種類 [問14-1]	76
15	「加古川市人権文化センターだより」について [問15]	77

16	加古川市及び各団体が実施している取り組みについて [問16]	78
17	自由記述意見について [問19]	81
	(1) 自由記述意見の分類	81
	(2) 意見内容の概要	81
	加古川市人権に関する市民意識調査結果に関する考察	86
	資料編	93
1	全国・兵庫県及び前回調査との比較	93
	(1) 人権問題の身近さに対する意識について [問1]	93
	(2) 人権侵害の認識状況について [問2]	94
	(3) 子どもの人権に関する意見に対する考えについて [問3]	95
	(4) 人権侵害の経験について [問4]	97
	(5) 家族に関わるいろいろな見方や考え方について [問5]	98
	(6) 国民の権利として定められていると思うもの [問6]	99
	(7) 日本の社会での人権や同和問題に関する意見に対する考えについて [問11]	100
2	調査票	102

# I 調査概要

## 1 調査目的

市民の様々な人権問題に関する意識の現状や傾向を把握し、人権課題の解決に向けた施策を総合的に推進するための基本計画の策定のほか、市民への人権に関する教育・啓発のための基礎資料を得ることを目的に実施した。

## 2 調査設計

調査対象：20歳以上の市民 3,000人（住民基本台帳から無作為抽出）


調査方法：郵送調査法

調査期間：平成28年(2016年)10月7日～平成28年(2016年)10月24日

## 3 回収状況

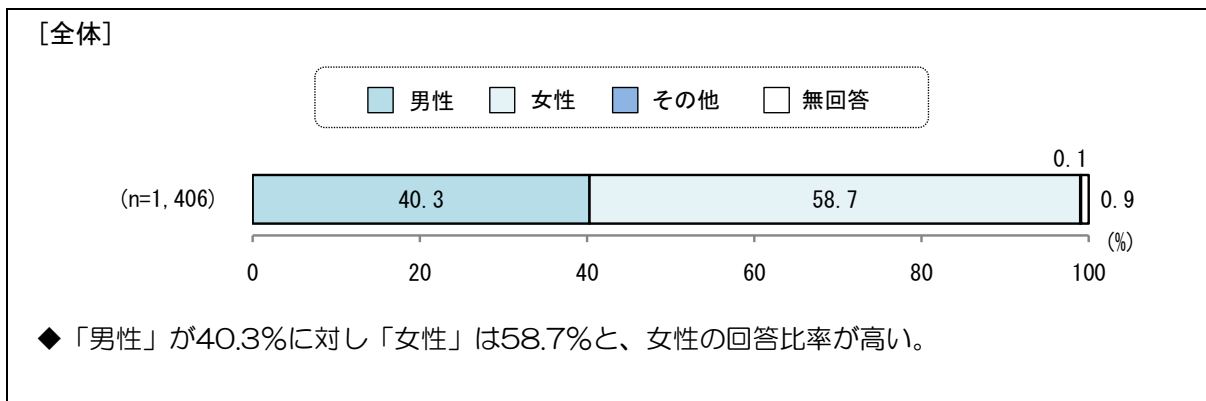
配布数	回収数	有効回答率
3,000 件	1,406 件	46.9%

## 4 報告書の見方

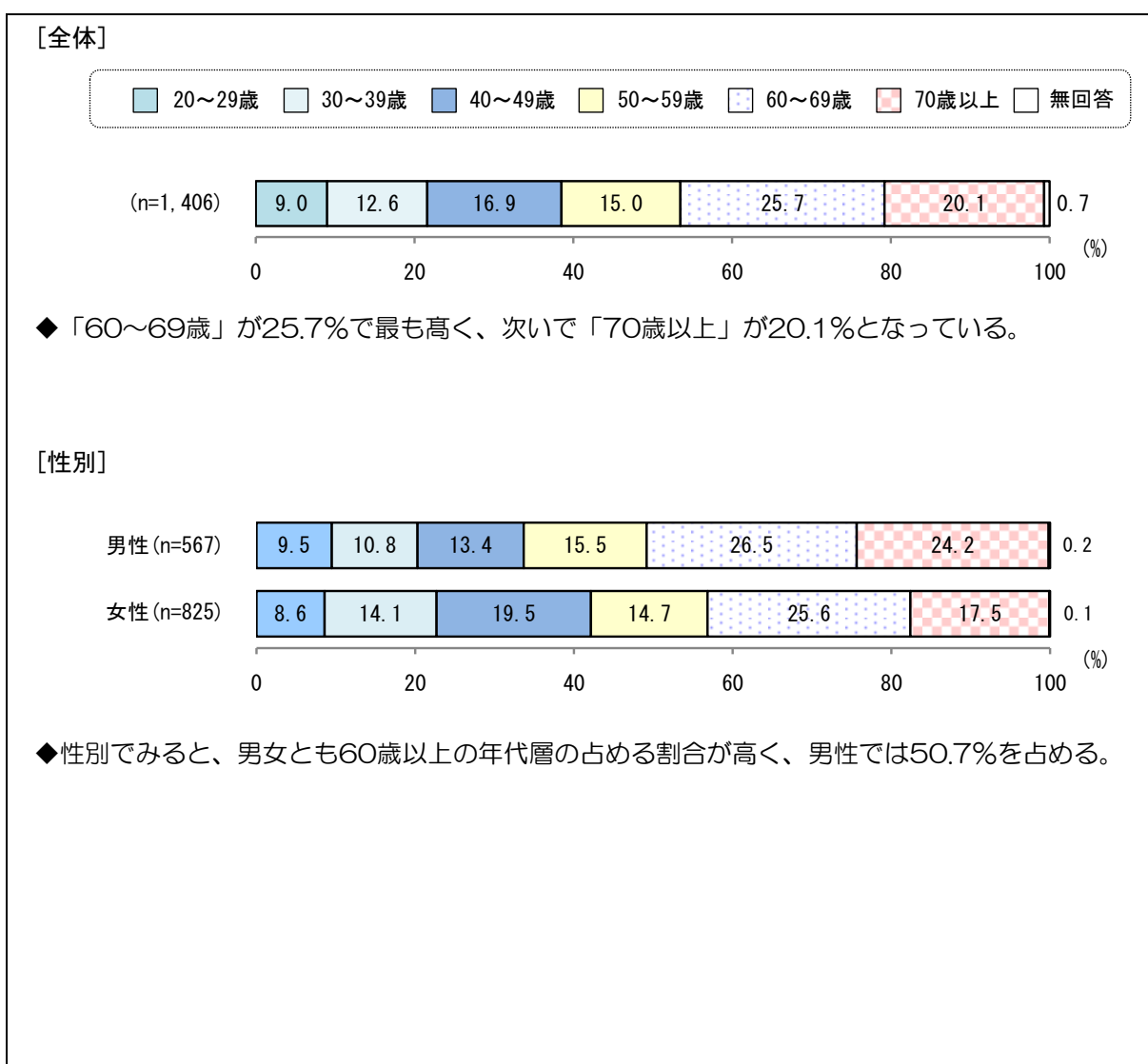
- ① 図表上の「n」は、設問に対する回答者数（number of case）のことである。
- ② 回答比率（%）は回答者数（n）を100%として算出している。小数点以下第2位を四捨五入しており、内訳の合計が計に一致しないことがある。
- ③ 図表上の「MA%」（Multiple Answerの略）の表記は、複数回答形式の設問であり、複数の回答をを求める設問では、回答比率（%）の計は100.0%を超える。
- ④ 「性別」を問う設問については、自身の性別を「男性」でも「女性」でもないとする市民がいることに配慮し、選択肢に「その他」を設けた。今回の調査では2人の回答があったが、回答者数が少ないため、集計結果では「男性」「女性」の2区分で示している。
- ⑤ 集計表において  で網かけをしているセルは、最も多い回答を示している。
- ⑥ 問3、問5、問10、問13の各質問については、市民の人権に対する考えを総合的に把握するため「平均評価点」を算出している。各質問の回答選択肢に重みづけする得点を与え、回答者数で除することで平均点を算出し（具体的な算出方法・得点は各質問の該当ページ参照）、この得点の大小により、市民の人権に対する意見や意識の強弱、偏りの度合を分析することに用いている。

## II 回答属性

### 1 性別



### 2 年齢



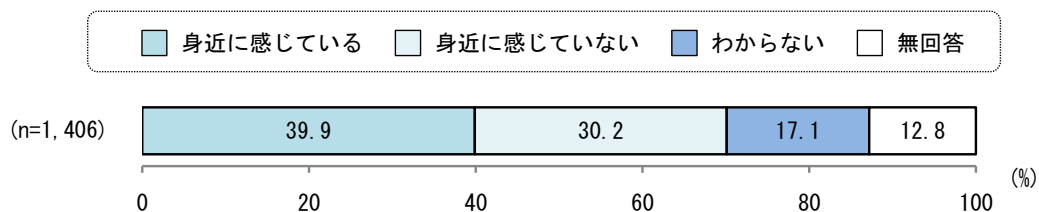


### Ⅲ 調査結果

#### 1 人権問題の身近さに対する意識について

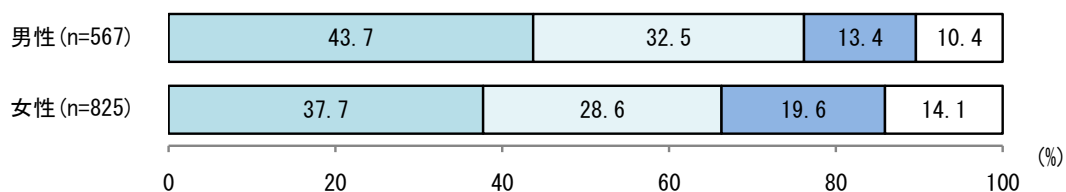
問1 あなたは「人権」を身近な問題として感じていますか。(〇は1つ)

[全体]



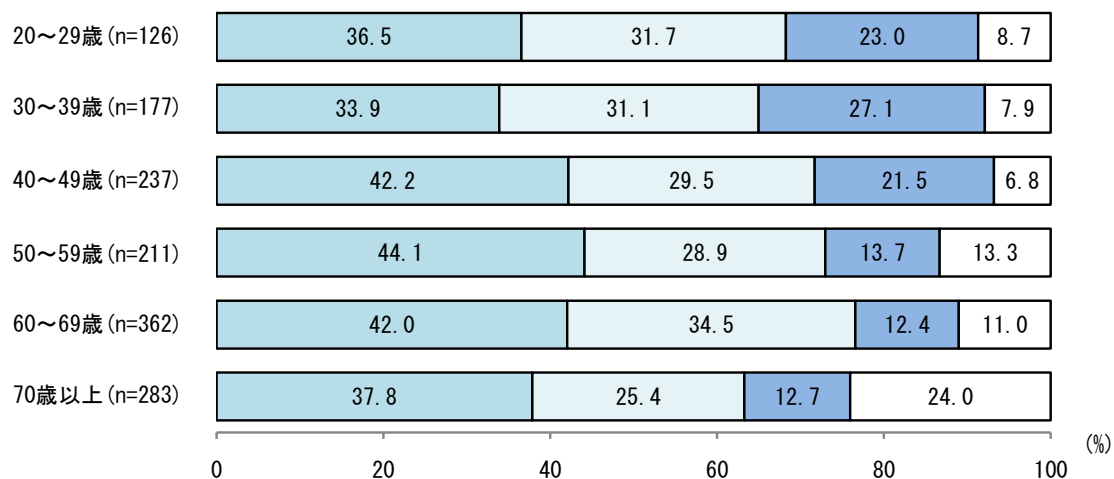
◆「身近に感じている」の割合が39.9%に対し、「身近に感じていない」の割合が30.2%で、身近に感じている割合のほうが高い。

[性別]



◆性別で見ると、「身近に感じている」の割合は、女性の37.7%より男性の43.7%のほうが6.0ポイント高くなっている。

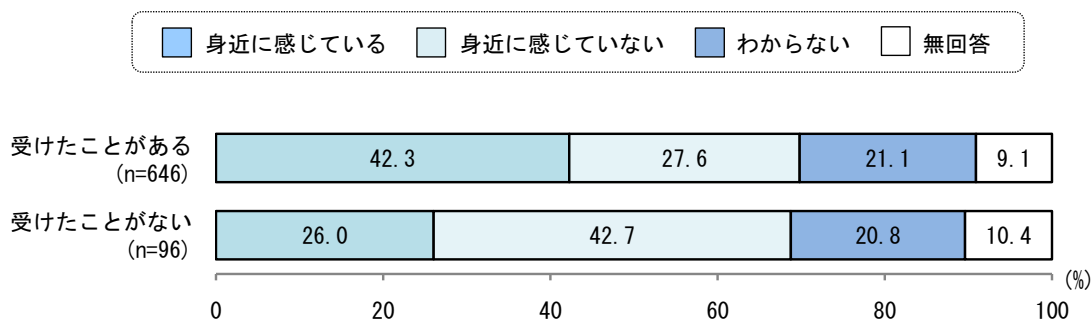
[年代別]



◆年代別で見ると、「身近に感じている」の割合は40～60歳代で4割を超え、それ以外の年代に比べ高くなっている。また、「わからない」の割合は30歳代が27.1%で最も高くなっている。

〔問1〕

〔学校での人権教育を受けた経験別（問7）〕

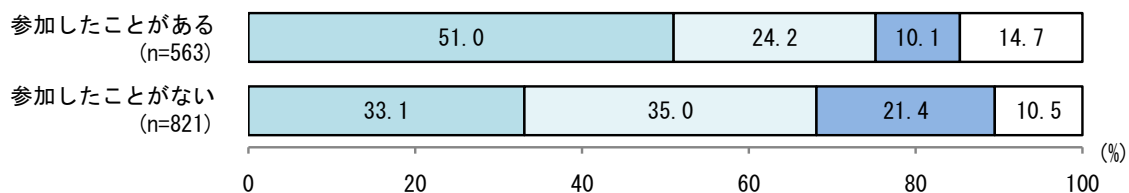


※人権教育を受けた経験については、60歳未満の人で集計しています。

◆学校において人権教育を受けた経験のある人では、人権問題を「身近に感じている」割合が42.3%で、人権教育を受けたことがない人の割合より16.3ポイント高くなっている。

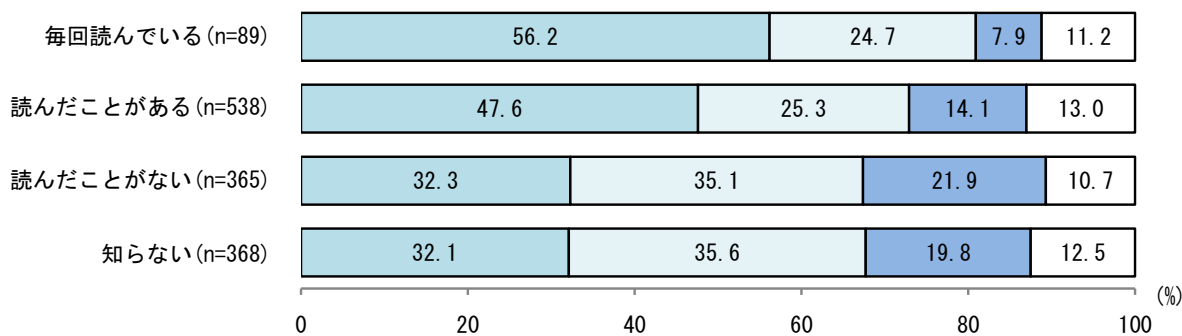
※『学校での人権教育を受けた経験別クロス集計』について 学校で人権に関する教育を受けた経験をもつ人は、60歳未満では80%を超えるが、60歳以上になると、人権教育を受けたという人は非常に少なくなる(46ページ参照)。これは、50歳代の年齢層の人たちが小中学校に在籍していた時期以降に同和教育(人権教育)が盛んに行われるようになったためである。したがって、人権教育の効果を分析するには、60歳未満の年代に限定して比較するほうが人権教育を受けた経験の有無による違いが明確になると考えた。

〔人権問題に関する講演会や研修会などの参加有無別（問14）〕



◆人権問題に関する講演会や研修会などの参加有無別で見ると、参加したことがある人では「身近に感じている」の割合が51.0%で、参加したことがない人の割合より17.9ポイント高くなっている。

〔「加古川市人権文化センターだより」について別（問15）〕



◆加古川市人権文化センターだよりの既読状況別で見ると、「身近に感じている」の割合は、読んでいる人ほど割合が高く、「毎回読んでいる」人が56.2%で最も高くなっている。

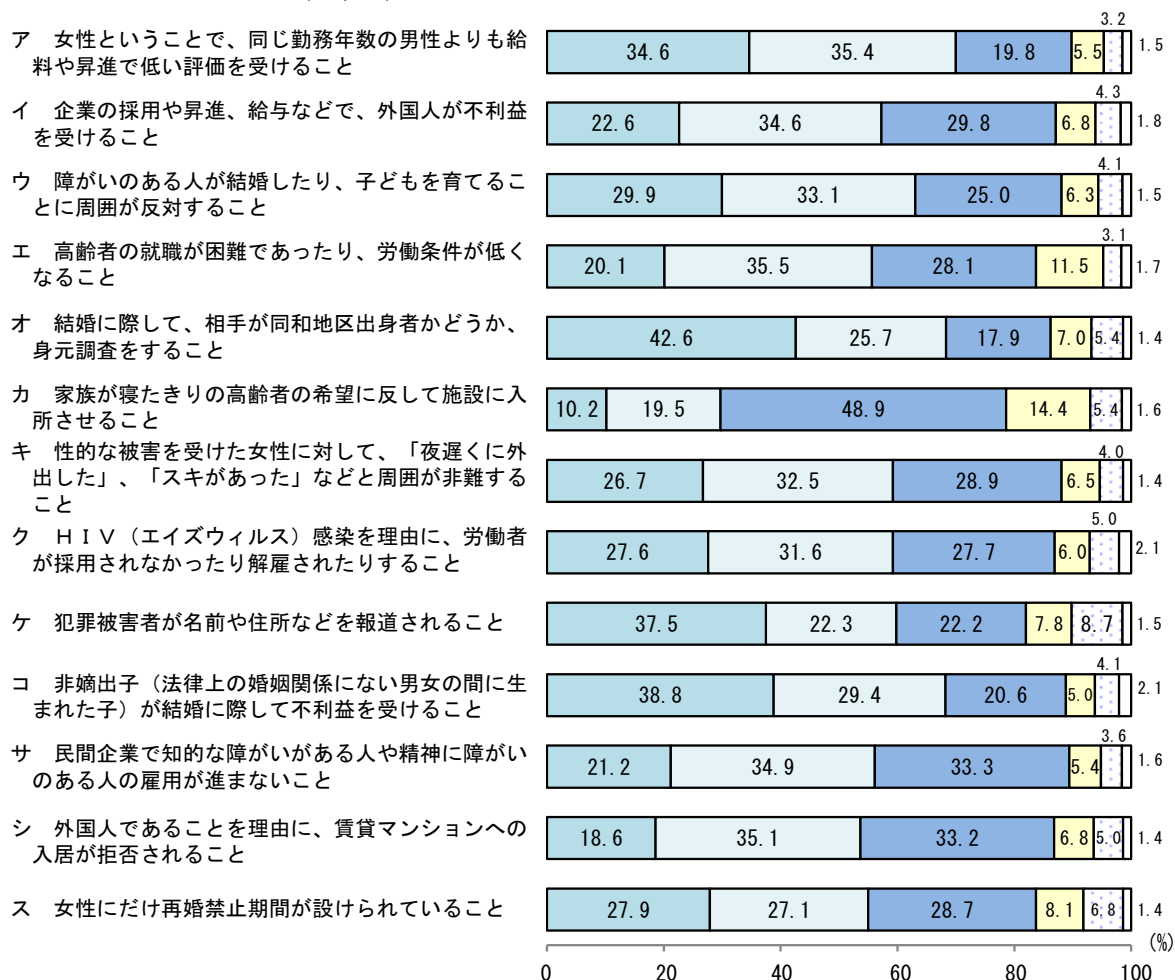
## 2 人権侵害の認識状況について

問2 あなたは、次のようなことは人権侵害にあてはまると思いませんか。  
ア～スのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

[全体]

よくあてはまる ややあてはまる どちらともいえない あまりあてはまらない  
まったくあてはまらない 無回答

(n=1,406)



◆人権侵害に『あてはまる』の割合（「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の計）が高い行為等は、“ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること”の70.0%で、次いで“オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること”が68.3%、“コ 非嫡出子（法律上の婚姻関係にない男女の間に生まれた子）が結婚に際して不利益を受けること”が68.2%となっている。逆に『あてはまる』の割合が低いのは、“カ 家族が寝たきりの高齢者の希望に反して施設に入所させること”の29.7%であるが、これは「どちらともいえない」が半数近くあることによる。

〔問2〕

ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること

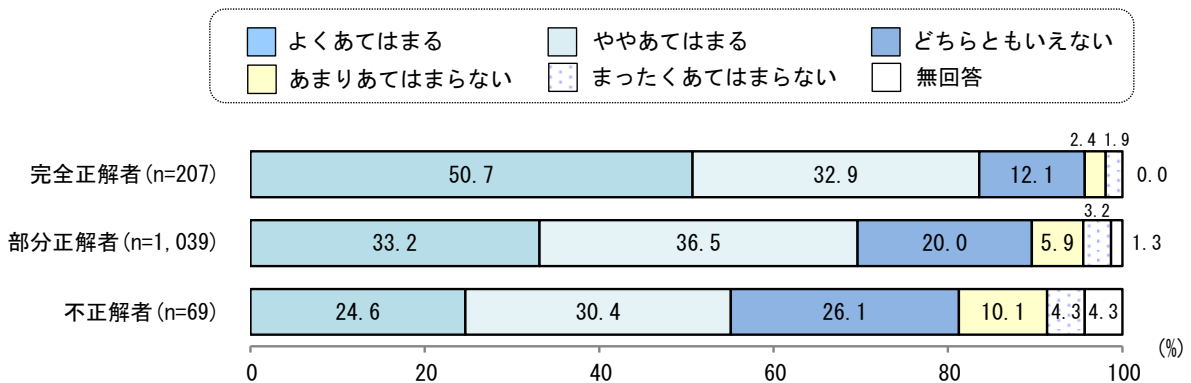
〔性別・年代別〕

		N	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	『あてはまる』計	『あてはまらない』計
全体		1,406	34.6	35.4	19.8	5.5	3.2	1.5	70.0	8.7
性別	男性	567	35.4	32.6	19.8	6.2	4.8	1.2	68.0	11.0
	女性	825	34.7	37.2	19.6	4.8	2.2	1.5	71.9	7.0
年代別	20～29歳	126	46.8	27.8	15.9	5.6	4.0	-	74.6	9.6
	30～39歳	177	45.2	33.9	15.3	4.0	1.7	-	79.1	5.7
	40～49歳	237	38.4	38.0	16.5	5.1	2.1	-	76.4	7.2
	50～59歳	211	34.1	36.0	19.9	4.3	5.2	0.5	70.1	9.5
	60～69歳	362	31.5	35.1	22.7	7.2	3.0	0.6	66.6	10.2
	70歳以上	283	25.1	37.1	23.3	5.3	3.5	5.7	62.2	8.8

◆性別で見ると、『あてはまる』の割合は、男性の68.0%より女性の71.9%のほうが高い。

◆年代別で見ると、『あてはまる』の割合は、60歳以上でやや低くなっている。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別では、『あてはまる』の割合は、完全正解者が83.6%で最も高い。

※『問6 国民の権利として定められていると思うもの』の設問において、正答である「思っていることを世間に発表する」「人間らしい暮らしをする」「労働組合をつくる」の3つだけを選択した回答者を「完全正解者」、正答である3つのうちの一部だけを選択するか、これら3つの全部または一部を選択したうえで、他の項目も選択した回答者を「部分正解者」、正答である3つ以外の項目だけを選択した回答を「不正解者」として分類集計し、一部設問とクロス集計を行った。（以下同様）

## イ 企業の採用や昇進、給与などで、外国人が不利益を受けること

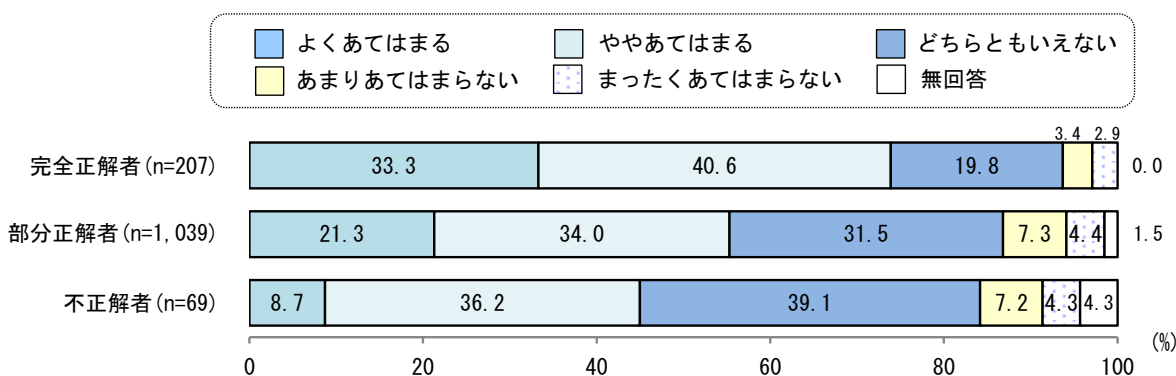
〔性別・年代別〕

		N	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	『あてはまる』計	『あてはまらない』計
全 体		1,406	22.6	34.6	29.8	6.8	4.3	1.8	57.2	11.1
性別	男性	567	22.9	31.6	28.4	9.3	6.3	1.4	54.5	15.6
	女性	825	22.8	36.8	30.7	5.1	2.9	1.7	59.6	8.0
年代別	20～29歳	126	34.1	36.5	19.8	4.0	5.6	-	70.6	9.6
	30～39歳	177	33.3	32.2	27.1	4.5	2.8	-	65.5	7.3
	40～49歳	237	21.9	43.5	25.3	5.9	3.0	0.4	65.4	8.9
	50～59歳	211	21.3	38.9	25.6	6.2	7.1	0.9	60.2	13.3
	60～69歳	362	19.3	34.8	32.9	9.1	3.0	0.8	54.1	12.1
	70歳以上	283	17.3	25.1	38.2	8.1	5.3	6.0	42.4	13.4

◆性別でみると、『あてはまる』の割合は、男性の54.5%より女性の59.6%のほうが高い。

◆年代別でみると、『あてはまる』の割合は、若い年代ほど高くなっている。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別では、『あてはまる』の割合は、完全正解者が73.9%で最も高い。

〔問2〕

ウ 障がいのある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対すること

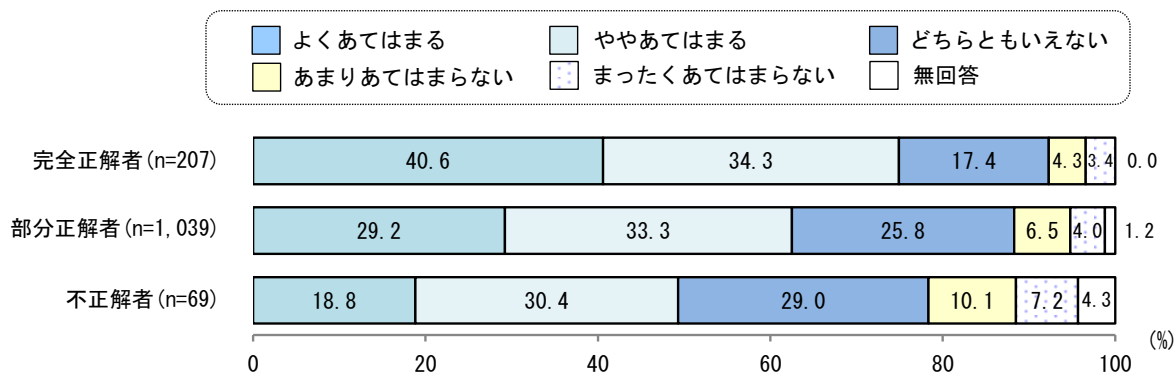
〔性別・年代別〕

		N	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	『あてはまる』計	『あてはまらない』計
全 体		1,406	29.9	33.1	25.0	6.3	4.1	1.5	63.0	10.4
性別	男性	567	32.5	28.4	25.0	7.2	5.5	1.4	60.9	12.7
	女性	825	28.5	36.5	25.2	5.3	3.2	1.3	65.0	8.5
年代別	20～29歳	126	44.4	28.6	17.5	5.6	4.0	-	73.0	9.6
	30～39歳	177	35.6	27.7	26.0	9.0	1.1	0.6	63.3	10.1
	40～49歳	237	28.7	40.1	22.8	5.5	3.0	-	68.8	8.5
	50～59歳	211	28.9	33.2	28.9	3.8	4.7	0.5	62.1	8.5
	60～69歳	362	29.8	31.2	27.1	6.9	4.1	0.8	61.0	11.0
	70歳以上	283	22.6	36.0	24.0	6.0	6.4	4.9	58.6	12.4

◆性別でみると、『あてはまる』の割合は、男性の60.9%より女性の65.0%のほうが高い。

◆年代別でみると、『あてはまる』の割合は、20歳代が73.0%で最も高い。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別では、『あてはまる』の割合は、完全正解者が74.9%で最も高い。

### 工 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が低くなること

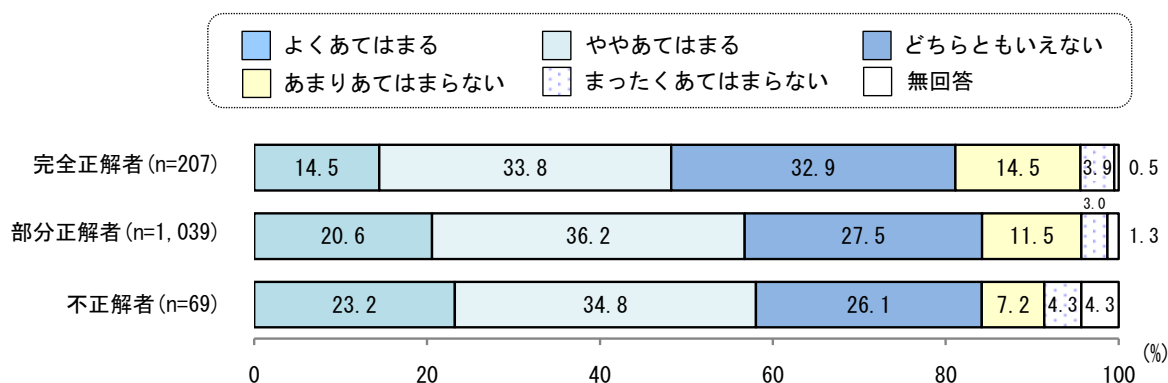
〔性別・年代別〕

		N	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	『あてはまる』計	『あてはまらない』計
全体		1,406	20.1	35.5	28.1	11.5	3.1	1.7	55.6	14.6
性別	男性	567	18.3	33.9	27.0	13.8	5.3	1.8	52.2	19.1
	女性	825	21.2	36.7	29.0	9.9	1.7	1.5	57.9	11.6
年代別	20～29歳	126	22.2	31.7	20.6	19.8	5.6	-	53.9	25.4
	30～39歳	177	15.8	33.9	33.3	14.7	2.3	-	49.7	17.0
	40～49歳	237	18.1	36.3	30.0	12.2	3.4	-	54.4	15.6
	50～59歳	211	15.6	42.2	29.4	7.6	3.8	1.4	57.8	11.4
	60～69歳	362	24.6	29.3	32.0	11.6	1.7	0.8	53.9	13.3
	70歳以上	283	20.8	41.0	20.5	8.1	3.9	5.7	61.8	12.0

◆性別で見ると、『あてはまる』の割合は、男性の52.2%より女性の57.9%のほうが高い。

◆年代別で見ると、「よくあてはまる」の割合は60歳代が24.6%で最も高く、『あてはまる』の割合は、70歳以上が61.8%で最も高い。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別では、『あてはまる』の割合は、完全正解者が48.3%で最も低い。

〔問2〕

才 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること

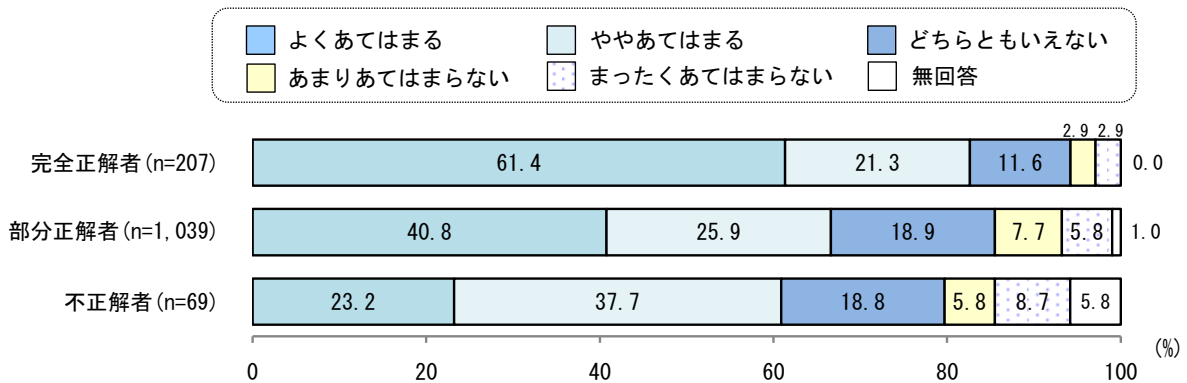
〔性別・年代別〕

									〔あてはまる〕計		〔あてはまらない〕計	
		N	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答				
全体		1,406	42.6	25.7	17.9	7.0	5.4	1.4	68.3		12.4	
性別	男性	567	42.7	21.5	20.8	7.1	6.5	1.4	64.2		13.6	
	女性	825	42.9	28.5	15.9	7.0	4.6	1.1	71.4		11.6	
年代別	20～29歳	126	54.8	26.2	13.5	3.2	2.4	-	81.0		5.6	
	30～39歳	177	49.2	25.4	18.6	4.0	2.8	-	74.6		6.8	
	40～49歳	237	48.9	29.1	13.5	4.6	3.8	-	78.0		8.4	
	50～59歳	211	43.1	29.9	17.1	4.7	4.7	0.5	73.0		9.4	
	60～69歳	362	41.4	24.3	17.7	8.6	7.5	0.6	65.7		16.1	
	70歳以上	283	30.0	21.6	23.7	12.4	7.4	4.9	51.6		19.8	

◆性別で見ると、『あてはまる』の割合は、男性の64.2%より女性の71.4%のほうが高い。

◆年代別で見ると、『あてはまる』の割合は、20歳代が81.0%で最も高い。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別では、『あてはまる』の割合は、完全正解者が82.7%で最も高い。



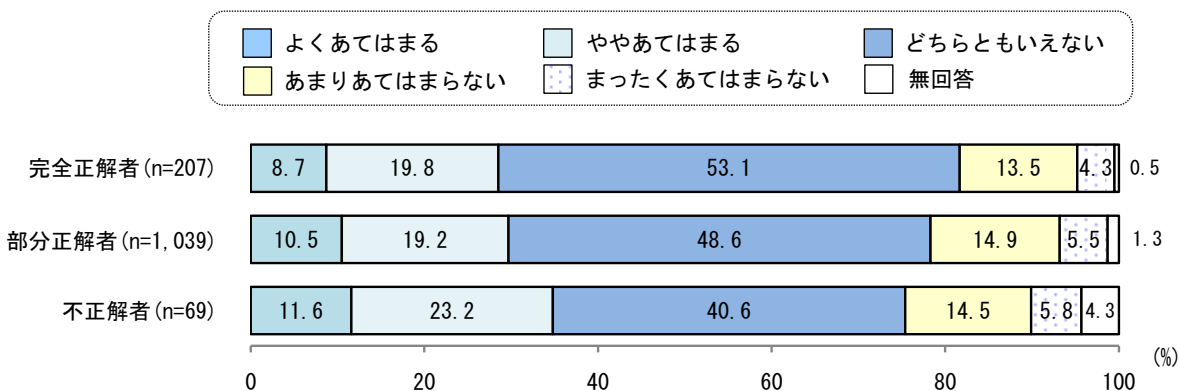
### カ 家族が寝たきりの高齢者の希望に反して施設に入所させること

〔性別・年代別〕

		N						(%)		
			よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	『あてはまる』計	『あてはまらない』計
全 体		1,406	10.2	19.5	48.9	14.4	5.4	1.6	29.7	19.8
性別	男性	567	10.1	21.9	43.7	15.3	7.2	1.8	32.0	22.5
	女性	825	10.3	18.2	52.0	14.1	4.1	1.3	28.5	18.2
年代別	20～29歳	126	10.3	24.6	42.1	15.1	6.3	1.6	34.9	21.4
	30～39歳	177	6.8	20.3	51.4	17.5	3.4	0.6	27.1	20.9
	40～49歳	237	7.2	21.9	50.6	16.0	4.2	-	29.1	20.2
	50～59歳	211	7.6	17.1	54.0	13.3	7.1	0.9	24.7	20.4
	60～69歳	362	11.9	14.4	53.0	14.6	5.5	0.6	26.3	20.1
	70歳以上	283	14.5	23.7	39.9	11.7	5.3	4.9	38.2	17.0

- ◆性別・年代別どちらも『どちらともいえない』が最も高くなっている。
- ◆性別で見ると、『あてはまる』、『あてはまらない』とも、女性より男性のほうが高くなっている。
- ◆年代別で見ると、『あてはまる』の割合は、70歳以上が38.2%で最も高い。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



- ◆国民の権利の理解度別で見ると、『あてはまる』の割合は、完全正解者が28.5%で最も低い。

〔問2〕

キ 性的な被害を受けた女性に対して、「夜遅くに外出した」、「スキがあった」などと周囲が非難すること

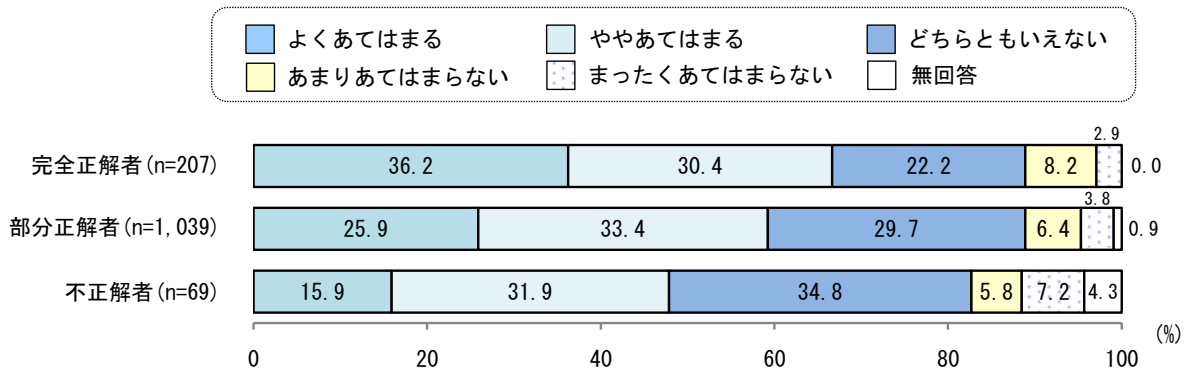
〔性別・年代別〕

		N	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	『あてはまる』計	『あてはまらない』計
全体		1,406	26.7	32.5	28.9	6.5	4.0	1.4	59.2	10.5
性別	男性	567	24.9	31.6	29.3	7.2	5.3	1.8	56.5	12.5
	女性	825	28.2	33.2	28.5	5.9	3.2	1.0	61.4	9.1
年代別	20～29歳	126	40.5	25.4	24.6	5.6	4.0	-	65.9	9.6
	30～39歳	177	33.9	32.2	28.2	2.8	2.8	-	66.1	5.6
	40～49歳	237	31.2	36.3	24.9	4.6	3.0	-	67.5	7.6
	50～59歳	211	27.0	34.1	28.9	6.2	3.3	0.5	61.1	9.5
	60～69歳	362	19.1	34.5	33.7	8.0	4.1	0.6	53.6	12.1
	70歳以上	283	22.6	29.0	28.3	9.2	5.7	5.3	51.6	14.9

◆性別でみると、『あてはまる』の割合は、男性の56.5%より女性の61.4%のほうが高い。

◆年代別でみると、『あてはまる』の割合は、40歳代が67.5%で最も高い。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別では、『あてはまる』の割合は、完全正解者が66.6%で最も高い。

ク HIV（エイズウイルス）感染を理由に、労働者が採用されなかったり解雇されたりすること

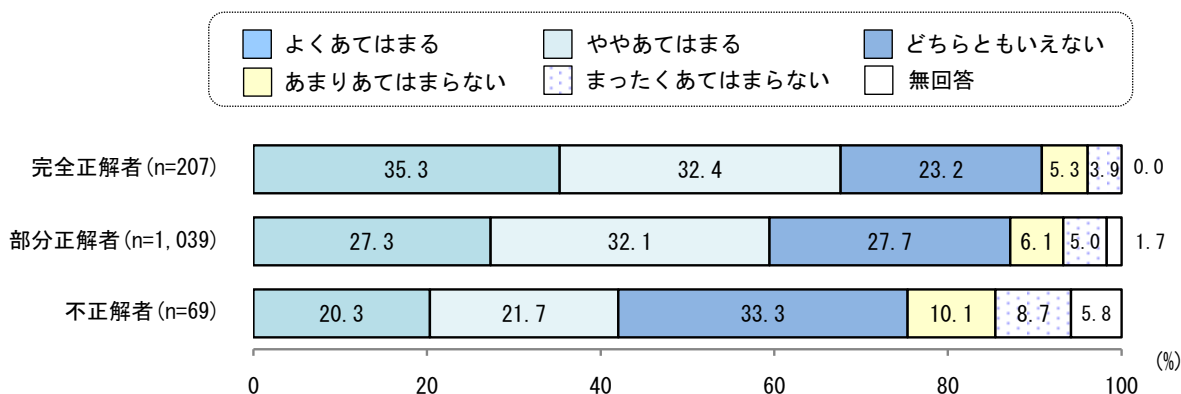
〔性別・年代別〕

		N	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	『あてはまる』計	『あてはまらない』計
全 体		1,406	27.6	31.6	27.7	6.0	5.0	2.1	59.2	11.0
性別	男性	567	26.5	28.2	30.0	7.1	6.5	1.8	54.7	13.6
	女性	825	28.5	33.9	26.4	5.3	3.9	1.9	62.4	9.2
年代別	20～29歳	126	35.7	27.8	27.0	5.6	4.0	-	63.5	9.6
	30～39歳	177	33.9	31.1	27.7	5.1	1.7	0.6	65.0	6.8
	40～49歳	237	30.0	35.0	25.7	4.6	4.6	-	65.0	9.2
	50～59歳	211	30.8	30.3	30.3	2.4	4.7	1.4	61.1	7.1
	60～69歳	362	26.0	36.2	24.3	5.8	6.4	1.4	62.2	12.2
	70歳以上	283	18.4	25.4	32.5	11.3	6.0	6.4	43.8	17.3

◆性別でみると、『あてはまる』の割合は、男性の54.7%より女性の62.4%のほうが高い。

◆年代別でみると、『あてはまる』の割合は、70歳以上が43.8%で最も低い。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別では、『あてはまる』の割合は、完全正解者が67.7%で最も高い。

〔問2〕

ケ 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること

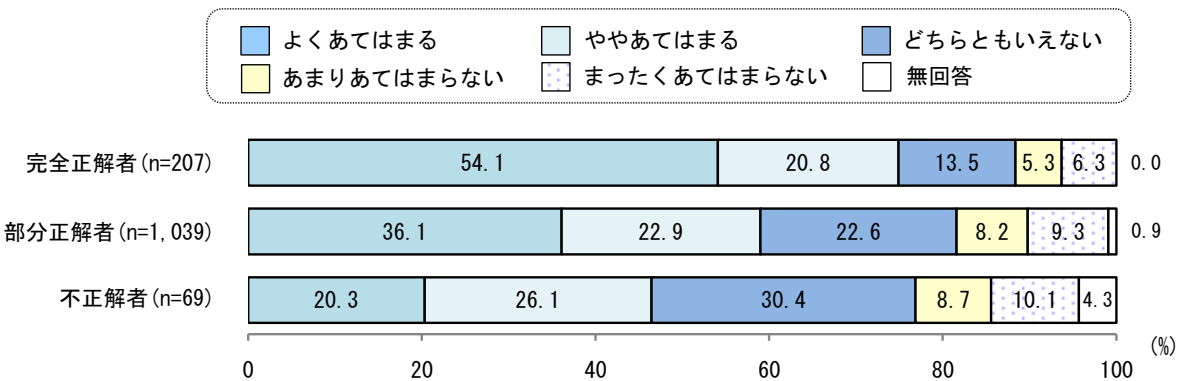
〔性別・年代別〕

		N	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	『あてはまる』計	『あてはまらない』計
全体		1,406	37.5	22.3	22.2	7.8	8.7	1.5	59.8	16.5
性別	男性	567	33.9	22.6	21.7	7.8	12.9	1.2	56.5	20.7
	女性	825	40.4	22.1	22.3	8.0	5.9	1.3	62.5	13.9
年代別	20～29歳	126	39.7	20.6	17.5	11.9	10.3	-	60.3	22.2
	30～39歳	177	48.0	23.2	17.5	5.1	6.2	-	71.2	11.3
	40～49歳	237	43.9	22.8	17.7	7.6	8.0	-	66.7	15.6
	50～59歳	211	37.0	21.8	22.7	7.1	10.4	0.9	58.8	17.5
	60～69歳	362	35.1	24.9	22.4	8.3	9.1	0.3	60.0	17.4
	70歳以上	283	29.0	19.4	30.0	8.1	8.1	5.3	48.4	16.2

◆性別で見ると、『あてはまる』の割合は、男性の56.5%より女性の62.5%のほうが高い。

◆年代別で見ると、『あてはまる』の割合は、30歳代が71.2%で最も高い。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別では、『あてはまる』の割合は、完全正解者が74.9%で最も高い。

コ 非嫡出子（法律上の婚姻関係にない男女の間に生まれた子）が結婚に際して不利益を受けること

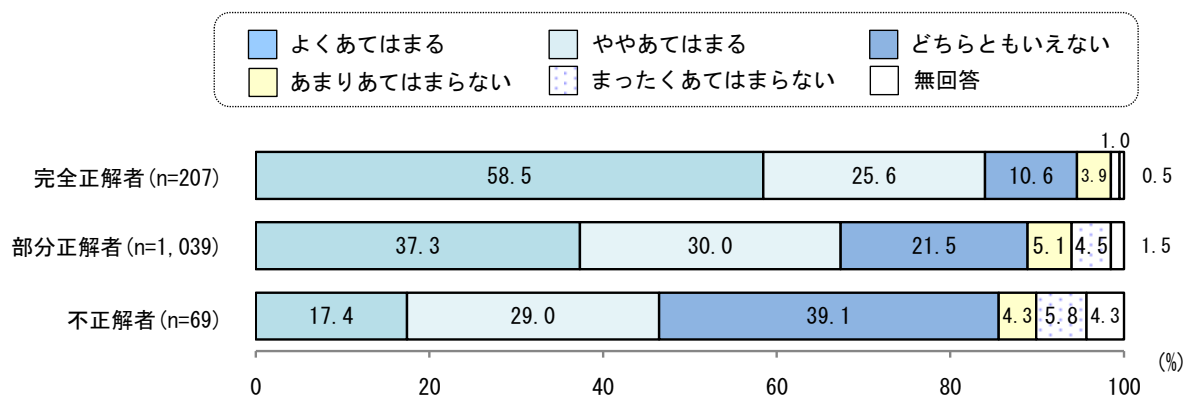
〔性別・年代別〕

		N						（％）		
			よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	『あてはまる』計	『あてはまらない』計
全 体		1,406	38.8	29.4	20.6	5.0	4.1	2.1	68.2	9.1
性別	男性	567	39.0	29.1	19.0	5.5	5.1	2.3	68.1	10.6
	女性	825	39.2	29.5	21.6	4.7	3.4	1.7	68.7	8.1
年代別	20～29歳	126	43.7	32.5	18.3	3.2	2.4	—	76.2	5.6
	30～39歳	177	49.2	22.6	23.7	2.8	1.7	—	71.8	4.5
	40～49歳	237	39.2	37.1	16.9	3.0	3.8	—	76.3	6.8
	50～59歳	211	45.5	27.0	19.9	1.9	4.3	1.4	72.5	6.2
	60～69歳	362	36.2	30.9	20.2	7.5	4.1	1.1	67.1	11.6
	70歳以上	283	29.3	25.4	23.7	8.1	6.4	7.1	54.7	14.5

◆性別でみると、『あてはまる』の割合は、男女で大きな差はみられない。

◆年代別でみると、『あてはまる』の割合は、20～50歳代で7割台と高い。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別では、『あてはまる』の割合は、完全正解者が84.1%で最も高い。

〔問2〕

サ 民間企業で知的な障がいがある人や精神に障がいのある人の雇用が進まないこと

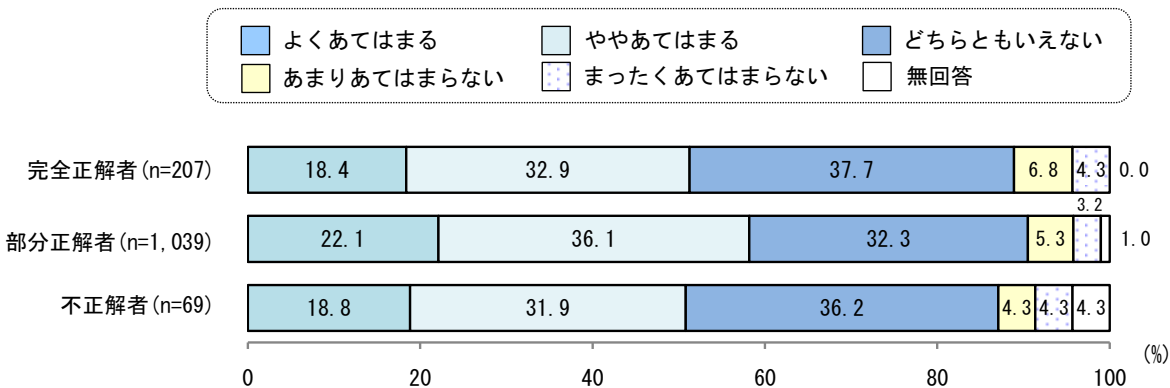
〔性別・年代別〕

		N	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	『あてはまる』計	『あてはまらない』計
全体		1,406	21.2	34.9	33.3	5.4	3.6	1.6	56.1	9.0
性別	男性	567	20.6	34.2	32.1	6.7	4.8	1.6	54.8	11.5
	女性	825	21.7	35.4	34.2	4.6	2.9	1.2	57.1	7.5
年代別	20～29歳	126	29.4	29.4	30.2	6.3	4.8	-	58.8	11.1
	30～39歳	177	20.9	33.3	37.9	6.2	1.7	-	54.2	7.9
	40～49歳	237	17.3	34.2	37.1	8.0	3.4	-	51.5	11.4
	50～59歳	211	19.0	35.1	35.1	4.3	6.2	0.5	54.1	10.5
	60～69歳	362	22.7	37.0	32.0	5.2	2.5	0.6	59.7	7.7
	70歳以上	283	20.8	36.4	29.3	3.5	4.2	5.7	57.2	7.7

◆性別でみると、『あてはまる』の割合は、男女で大きな差はみられない。

◆年代別でみると、『あてはまる』の割合は、いずれの年代も5割台を占めている。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別では、『あてはまらない』の割合は、完全正解者が11.1%で最も高い。

## シ 外国人であることを理由に、賃貸マンションへの入居が拒否されること

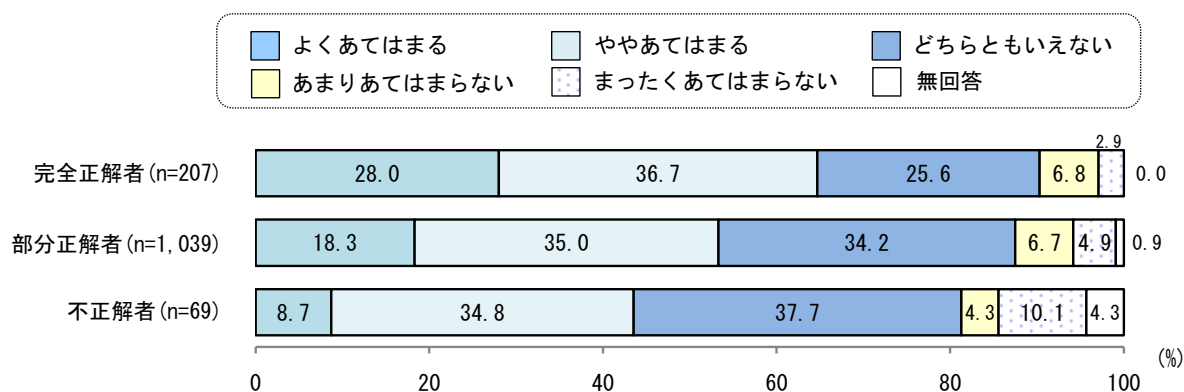
〔性別・年代別〕

		N	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	『あてはまる』計	『あてはまらない』計
全体		1,406	18.6	35.1	33.2	6.8	5.0	1.4	53.7	11.8
性別	男性	567	18.7	30.9	34.4	8.1	6.5	1.4	49.6	14.6
	女性	825	18.7	37.9	32.6	5.9	3.9	1.0	56.6	9.8
年代別	20～29歳	126	35.7	38.1	19.0	5.6	1.6	-	73.8	7.2
	30～39歳	177	18.6	41.8	29.9	4.5	5.1	-	60.4	9.6
	40～49歳	237	18.1	39.2	32.1	7.2	3.4	-	57.3	10.6
	50～59歳	211	15.6	38.9	36.0	2.8	6.2	0.5	54.5	9.0
	60～69歳	362	17.4	31.8	38.1	6.9	5.2	0.6	49.2	12.1
	70歳以上	283	15.9	27.6	34.6	10.6	6.7	4.6	43.5	17.3

◆性別で見ると、『あてはまる』の割合は、男性の49.6%より女性の56.6%のほうが高い。

◆年代別で見ると、『あてはまる』の割合は、若い年代ほど高くなっている。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別では、『あてはまる』の割合は、完全正解者が64.7%で最も高い。

〔問2〕

ス 女性にだけ再婚禁止期間が設けられていること

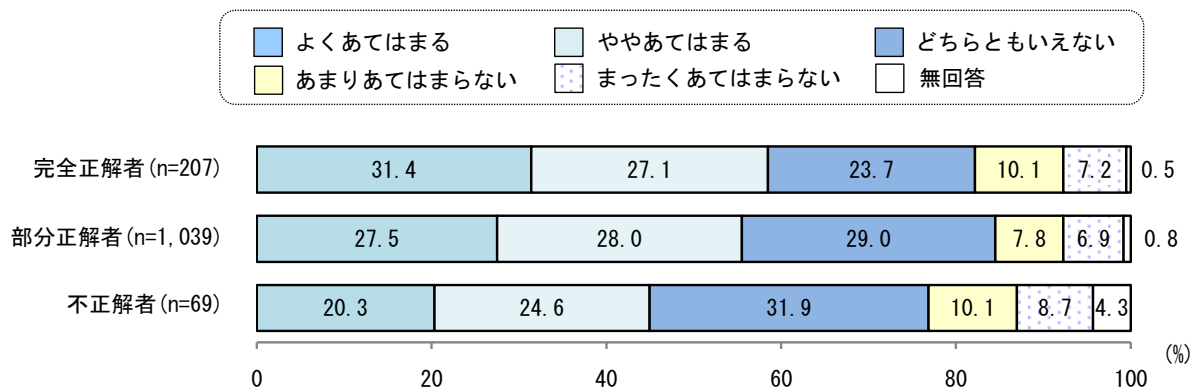
〔性別・年代別〕

		N	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	『あてはまる』計	『あてはまらない』計
全体		1,406	27.9	27.1	28.7	8.1	6.8	1.4	55.0	14.9
性別	男性	567	22.8	25.0	29.6	10.4	10.4	1.8	47.8	20.8
	女性	825	31.8	28.4	28.0	6.5	4.4	1.0	60.2	10.9
年代別	20～29歳	126	29.4	32.5	23.0	10.3	4.8	-	61.9	15.1
	30～39歳	177	27.7	31.6	29.4	4.5	6.8	-	59.3	11.3
	40～49歳	237	27.4	30.4	28.3	7.6	6.3	-	57.8	13.9
	50～59歳	211	26.5	25.1	33.6	7.1	6.6	0.9	51.6	13.7
	60～69歳	362	28.7	23.8	29.3	10.5	7.5	0.3	52.5	18.0
	70歳以上	283	27.9	24.7	26.9	7.4	7.8	5.3	52.6	15.2

◆性別で見ると、『あてはまる』の割合は、男性の47.8%より女性の60.2%のほうが高い。

◆年代別で見ると、『あてはまる』の割合は、20歳代が61.9%で最も高くなっている。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



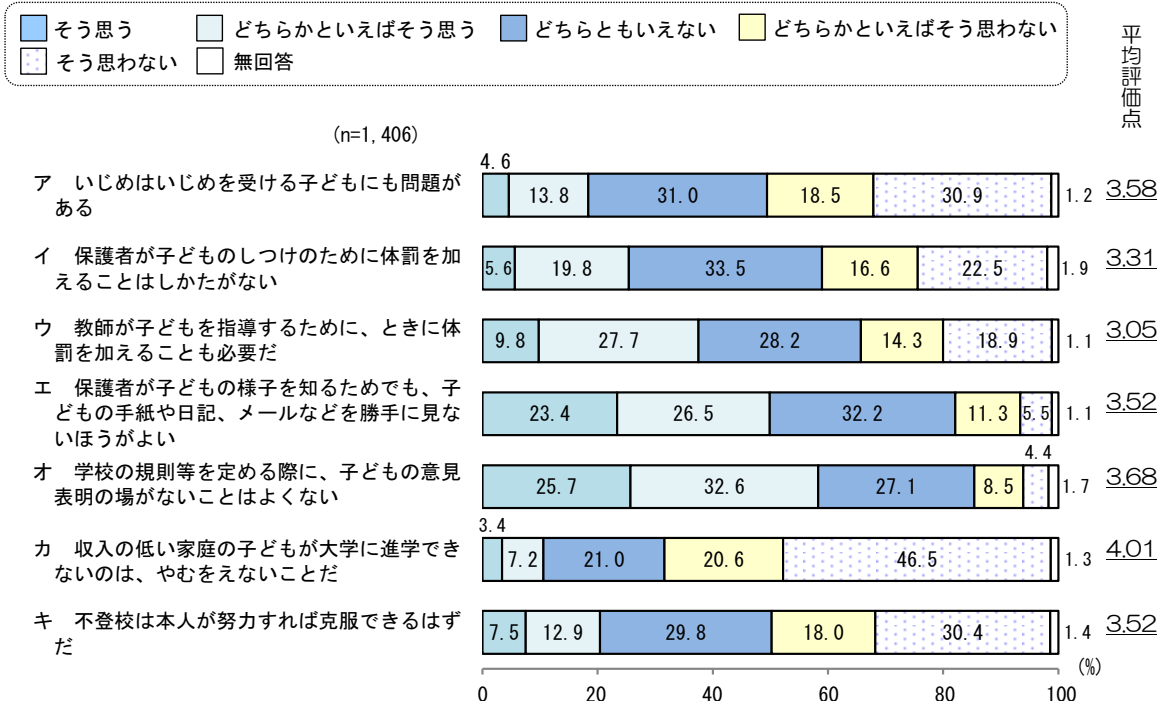
◆国民の権利の理解度別では、『あてはまる』の割合は、完全正解者が58.5%で最も高い。



### 3 子どもの人権に関する意見に対する考えについて

問3 子どもの人権に関する意見について、あなたはどのように思いますか。ア～キのそれぞれについて選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

[全体]



※平均評価点は、以下の手順で得点化し、算出している。

得点

	点数	
	項目 ア、イ、ウ、カ、キ	項目 エ、オ
そう思う	1点	5点
どちらかといえばそう思う	2点	4点
どちらともいえない	3点	3点
どちらかといえばそう思わない	4点	2点
そう思わない	5点	1点

※たとえば、項目アの平均評価点は、『(1点×「そう思う」の回答者数+2点×「どちらかといえばそう思う」の回答者数+3点×「どちらともいえない」の回答者数+4点×「どちらかといえばそう思わない」の回答者数+5点×「そう思わない」の回答者数)÷無回答を除いた設問の回答総数』となる。(以下同様)

- ◆『そう思う』の割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計)が最も高い意見は“オ 学校の規則等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない”の58.3%で、次いで“エ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい”は49.9%となっている。
- ◆『そう思わない』の割合(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の計)が最も高い意見は、“カ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ”(とは思わない)で、67.1%を占める。
- ◆平均評価点が最も高い意見は、“カ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ”で4.01点となっている。

〔問3〕

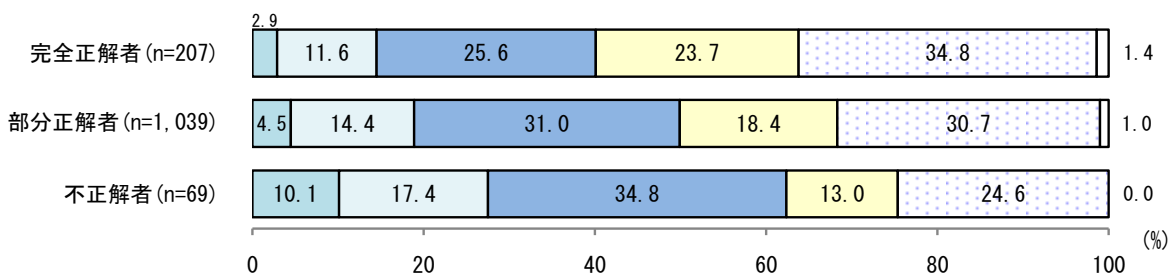
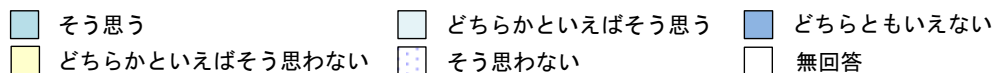
ア いじめはいじめを受ける子どもにも問題がある

[性別・年代別]

		N	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらか といえない	そう 思わない	無 回答	『そう 思う』 計	『そう 思わない』 計	(%)	(点)
全 体		1,406	4.6	13.8	31.0	18.5	30.9	1.2	18.4	49.4		3.58
性別	男性	567	5.8	15.0	27.3	20.1	30.7	1.1	20.8	50.8		3.55
	女性	825	3.5	12.6	34.1	17.6	31.3	1.0	16.1	48.9		3.61
年代別	20～29歳	126	4.0	14.3	31.0	20.6	29.4	0.8	18.3	50.0		3.58
	30～39歳	177	2.3	14.1	33.9	20.3	29.4	-	16.4	49.7		3.60
	40～49歳	237	2.1	13.9	37.1	19.8	27.0	-	16.0	46.8		3.56
	50～59歳	211	3.3	13.7	26.5	20.4	35.5	0.5	17.0	55.9		3.71
	60～69歳	362	4.7	13.0	28.2	18.0	34.8	1.4	17.7	52.8		3.66
	70歳以上	283	8.8	13.8	31.8	14.5	28.3	2.8	22.6	42.8		3.41

- ◆性別でみると、『そう思わない』の割合は、女性の48.9%より男性の50.8%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、『そう思わない』の割合は、50歳代が55.9%で最も高くなっている。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思わない』の割合は、完全正解者が58.5%で最も高い。

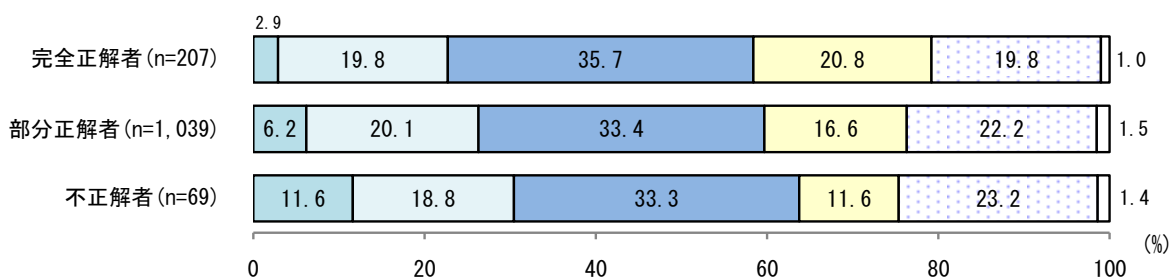
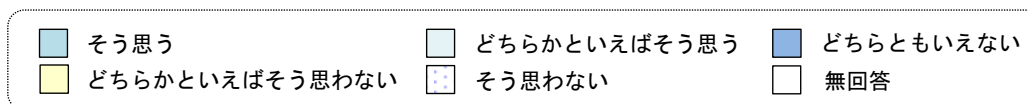
イ 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない

[性別・年代別]

			(%)							(点)	
		N	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	無回答	『そう思う』計	『そう思わない』計	平均評価点
全体		1,406	5.6	19.8	33.5	16.6	22.5	1.9	25.4	39.1	3.31
性別	男性	567	7.8	25.6	27.2	15.9	21.5	2.1	33.4	37.4	3.18
	女性	825	4.1	16.0	38.3	17.1	23.0	1.5	20.1	40.1	3.39
年代別	20～29歳	126	5.6	23.0	30.2	11.9	28.6	0.8	28.6	40.5	3.35
	30～39歳	177	3.4	15.3	39.5	19.8	21.5	0.6	18.7	41.3	3.41
	40～49歳	237	5.5	24.1	35.4	18.1	16.9	-	29.6	35.0	3.17
	50～59歳	211	3.3	11.8	34.6	22.3	26.5	1.4	15.1	48.8	3.58
	60～69歳	362	6.1	19.9	36.5	15.7	19.9	1.9	26.0	35.6	3.24
	70歳以上	283	8.1	23.7	26.1	12.4	25.1	4.6	31.8	37.5	3.24

- ◆性別でみると、『そう思わない』の割合は、男性の37.4%より女性の40.1%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、40・60歳代では「どちらともいえない」の割合が最も高い。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思わない』の割合は、完全正解者でやや高くなる傾向は認められるが、前ページの“ア”ほど明確ではない。

〔問3〕

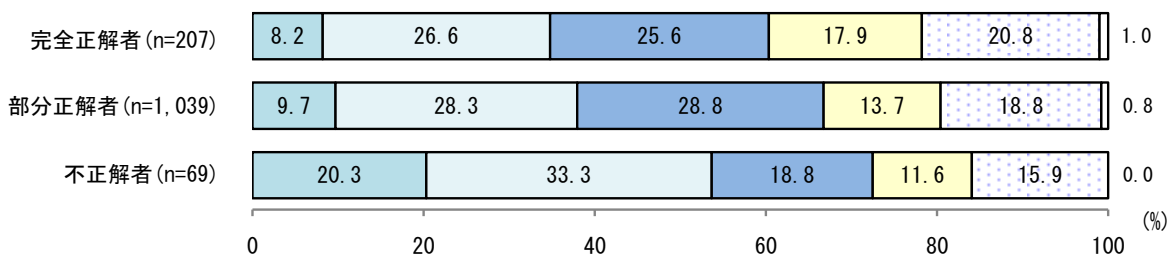
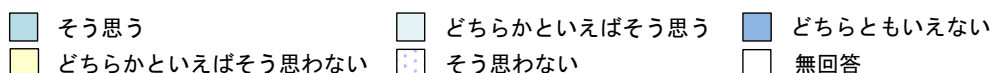
ウ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ

[性別・年代別]

		N	割合 (%)					無回答	『そう思う』計		『そう思わない』計	平均評価点 (点)
			『そう思う』	『どちらかといえばそう思う』	『どちらともいえない』	『どちらかといえばそう思わない』	『そう思わない』					
全体		1,406	9.8	27.7	28.2	14.3	18.9	1.1	37.5	33.2	3.05	
性別	男性	567	13.9	33.7	23.5	11.3	16.6	1.1	47.6	27.9	2.83	
	女性	825	6.8	23.9	31.5	16.4	20.6	0.8	30.7	37.0	3.20	
年代別	20～29歳	126	7.1	29.4	26.2	10.3	26.2	0.8	36.5	36.5	3.19	
	30～39歳	177	7.3	27.1	31.1	14.1	20.3	-	34.4	34.4	3.13	
	40～49歳	237	13.5	29.1	27.8	14.3	15.2	-	42.6	29.5	2.89	
	50～59歳	211	6.6	22.3	32.2	18.5	19.9	0.5	28.9	38.4	3.23	
	60～69歳	362	10.5	29.0	27.9	14.1	17.4	1.1	39.5	31.5	2.99	
	70歳以上	283	10.6	29.3	25.1	13.1	19.4	2.5	39.9	32.5	3.01	

- ◆性別でみると、男性は『そう思う』の割合が47.6%で最も高いが、女性は『そう思わない』の割合が37.0%で最も高くなっている。
- ◆年代別でみると、50歳代は『そう思わない』の割合が38.4%で最も高くなっている。
- ◆平均評価点は、40歳代（2.89点）で最も低い。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、部分正解者と不正解者では『そう思う』の割合が最も高くなっている。

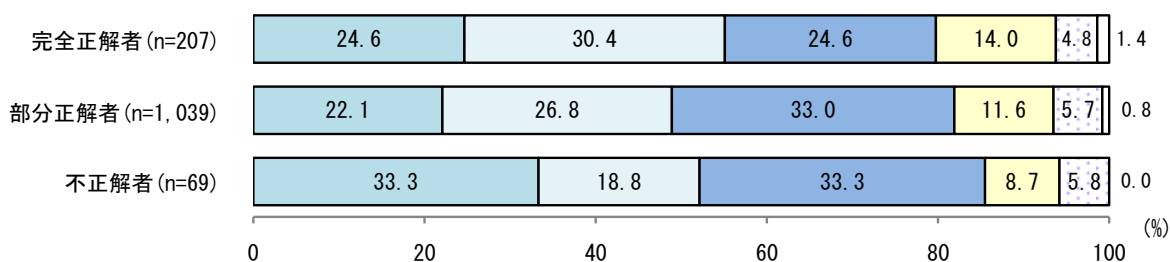
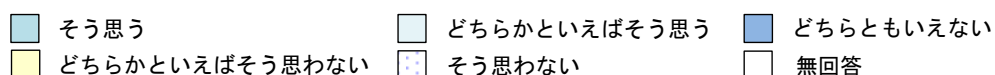
工 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい

[性別・年代別]

		N	(% )					(点)			
			『そう思う』	『どちらかといえば』	『どちらともいえない』	『どちらかと思わない』	『そう思わない』	無回答	『そう思う』計	『そう思わない』計	平均評価点
全 体		1,406	23.4	26.5	32.2	11.3	5.5	1.1	49.9	16.8	3.52
性別	男性	567	27.2	24.0	27.0	13.2	7.2	1.4	51.2	20.4	3.51
	女性	825	20.7	28.2	36.2	10.1	4.1	0.6	48.9	14.2	3.52
年代別	20～29歳	126	33.3	30.2	23.8	7.1	4.8	0.8	63.5	11.9	3.81
	30～39歳	177	16.4	28.8	37.3	12.4	5.1	-	45.2	17.5	3.39
	40～49歳	237	17.7	27.4	36.3	13.1	5.5	-	45.1	18.6	3.39
	50～59歳	211	19.4	30.3	31.8	12.8	5.2	0.5	49.7	18.0	3.46
	60～69歳	362	25.7	22.9	32.3	11.3	6.6	1.1	48.6	17.9	3.50
	70歳以上	283	27.9	24.4	30.4	10.2	4.6	2.5	52.3	14.8	3.62

- ◆性別でみると、『そう思う』の割合は、女性の48.9%より男性の51.2%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、『そう思う』の割合は、20歳代が63.5%で最も高い。
- ◆平均評価点は、20歳代（3.81点）で最も高く、30歳代と40歳代でともに3.39点と最も低くなっている。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思う』の割合は、完全正解者が55.0%で最も高いが、理解度による差は、それほど大きくはない。

〔問3〕

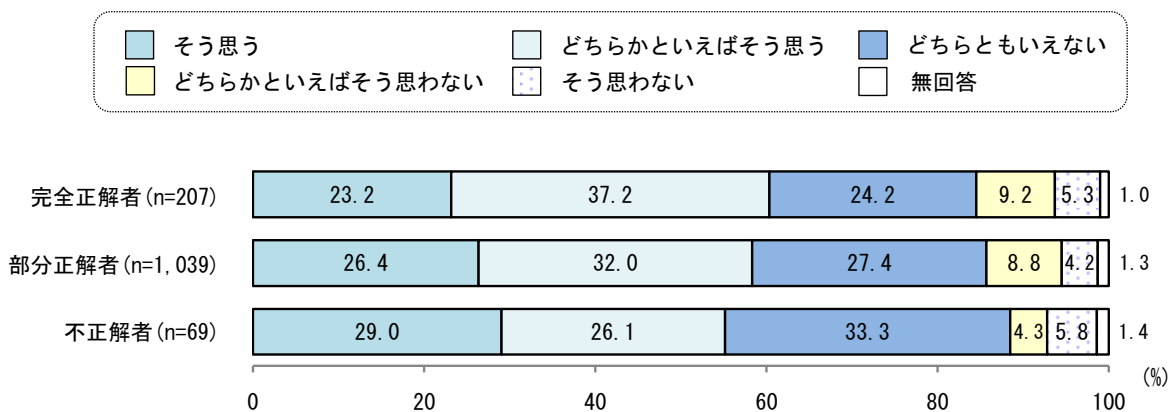
才 学校の規則等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない

[性別・年代別]

		N	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかわからない	そう思わない	無回答	『そう思う』『そう思わない』計		平均評価点
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(点)
全体		1,406	25.7	32.6	27.1	8.5	4.4	1.7	58.3	12.9	3.68
性別	男性	567	28.9	29.1	25.7	8.6	5.8	1.8	58.0	14.4	3.68
	女性	825	23.6	34.9	28.1	8.5	3.4	1.5	58.5	11.9	3.68
年代別	20～29歳	126	28.6	34.9	27.0	4.0	4.8	0.8	63.5	8.8	3.79
	30～39歳	177	20.3	36.2	27.1	11.3	5.1	-	56.5	16.4	3.55
	40～49歳	237	21.1	36.7	24.5	13.5	4.2	-	57.8	17.7	3.57
	50～59歳	211	20.9	33.2	29.9	10.4	5.7	-	54.1	16.1	3.53
	60～69歳	362	28.2	31.2	28.7	6.9	3.9	1.1	59.4	10.8	3.74
	70歳以上	283	31.8	27.2	25.4	5.7	3.9	6.0	59.0	9.6	3.82

- ◆性別でも、大きな差はみられない。
- ◆年代別でみると、『そう思う』の割合は、20歳代が63.5%で最も高い。
- ◆平均評価点は、男女とも同率の3.68点となっている。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思う』の割合は、完全正解者が60.4%で最も高い。

力 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ

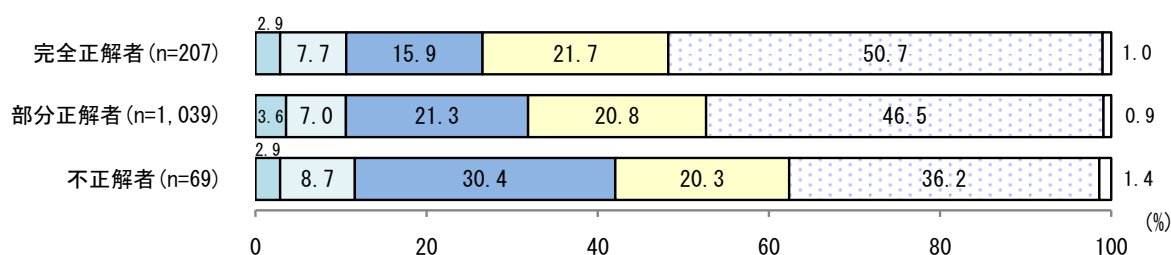
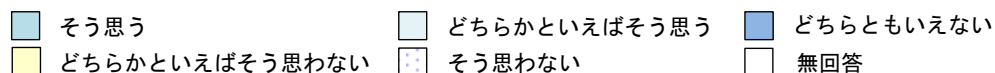
[性別・年代別]

		N						(%)		(点)	
			『そう思う』計	『そう思わない』計	平均評価点						
全 体		1,406	3.4	7.2	21.0	20.6	46.5	1.3	10.6	67.1	4.01
性別	男性	567	4.4	9.0	19.2	19.2	46.7	1.4	13.4	65.9	3.96
	女性	825	2.8	5.7	22.3	21.8	46.4	1.0	8.5	68.2	4.04
年代別	20～29歳	126	2.4	6.3	23.0	19.0	48.4	0.8	8.7	67.4	4.06
	30～39歳	177	4.0	10.7	17.5	17.5	49.7	0.6	14.7	67.2	3.99
	40～49歳	237	3.0	6.8	20.7	26.6	43.0	-	9.8	69.6	4.00
	50～59歳	211	4.7	6.6	19.9	21.8	46.9	-	11.3	68.7	4.00
	60～69歳	362	2.2	5.0	21.0	21.0	49.7	1.1	7.2	70.7	4.12
	70歳以上	283	4.6	8.5	23.0	17.7	42.8	3.5	13.1	60.5	3.89

◆性別でみると、『そう思う』の割合は、女性の8.5%より男性の13.4%のほうが高い。

◆平均評価点は、60歳代が4.12点で最も高くなっている。

[国民の権利の理解度別（問6）]



◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思わない』の割合は、完全正解者が72.4%で最も高い。

〔問3〕

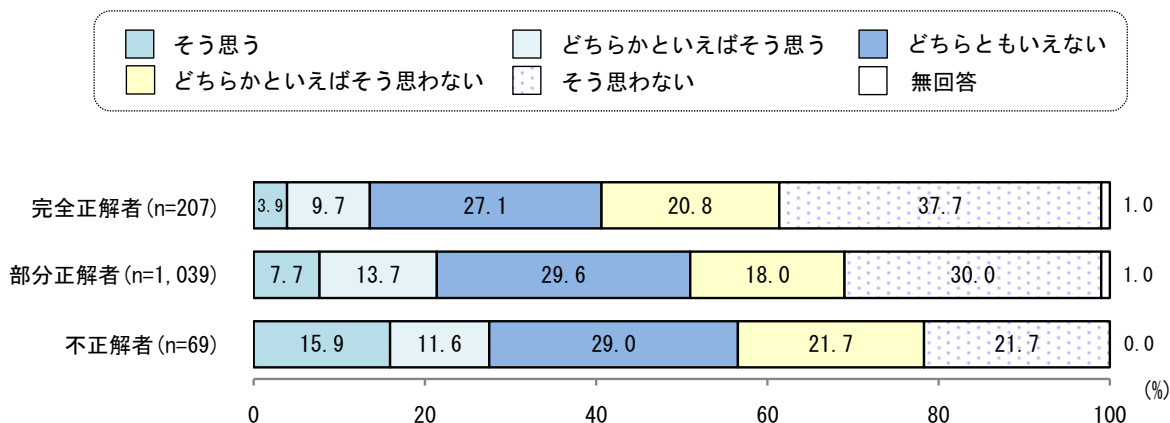
キ 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ

[性別・年代別]

		N	（％）					無回答	『そう思う』計		『そう思わない』計	平均評価点
			『そう思う』	『どちらかといえば』	『どちらともいえない』	『そう思わない』	『そう思う』		『そう思わない』			
全体		1,406	7.5	12.9	29.8	18.0	30.4	1.4	20.4	48.4	3.52	
性別	男性	567	8.8	15.5	27.2	19.8	27.2	1.6	24.3	47.0	3.42	
	女性	825	6.3	11.0	31.8	17.0	33.1	0.8	17.3	50.1	3.60	
年代別	20～29歳	126	4.0	9.5	34.1	19.8	31.7	0.8	13.5	51.5	3.66	
	30～39歳	177	2.8	9.0	27.7	26.0	33.9	0.6	11.8	59.9	3.80	
	40～49歳	237	3.4	9.3	32.1	21.9	33.3	-	12.7	55.2	3.73	
	50～59歳	211	4.3	10.4	28.9	17.1	39.3	-	14.7	56.4	3.77	
	60～69歳	362	7.2	11.9	31.2	15.7	32.6	1.4	19.1	48.3	3.55	
	70歳以上	283	17.7	23.3	25.8	13.1	17.0	3.2	41.0	30.1	2.88	

- ◆性別でみると、『そう思わない』の割合は、男性の47.0%より女性の50.1%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、70歳以上では『そう思う』の割合が41.0%で最も高く、他の年代と比べても高くなっている。『そう思わない』の割合は、30歳代が59.9%で最も高い。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思わない』の割合は、完全正解者が58.5%で最も高い。

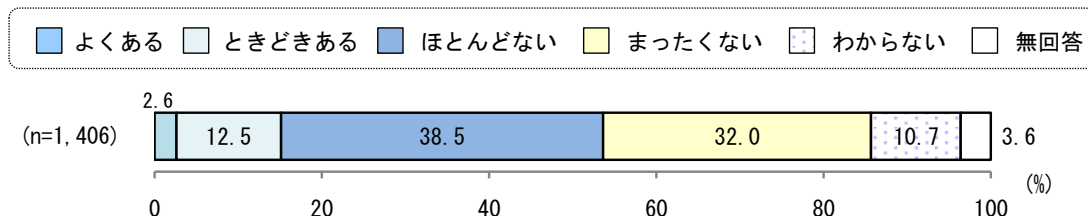


## 4 人権侵害の経験について

## (1) ここ5年間ぐらいに人権を侵害されたと思った経験

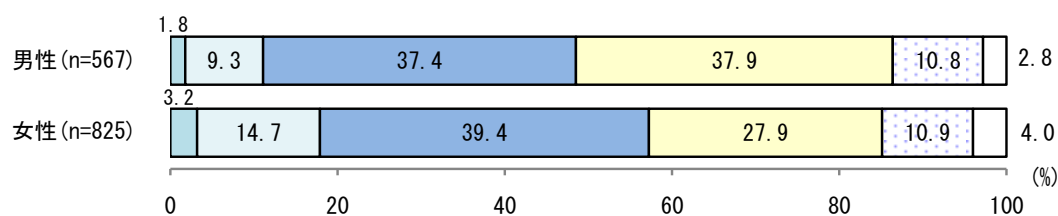
問4 あなたは、ここ5年ぐらいの間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。  
(○は1つ)

[全体]



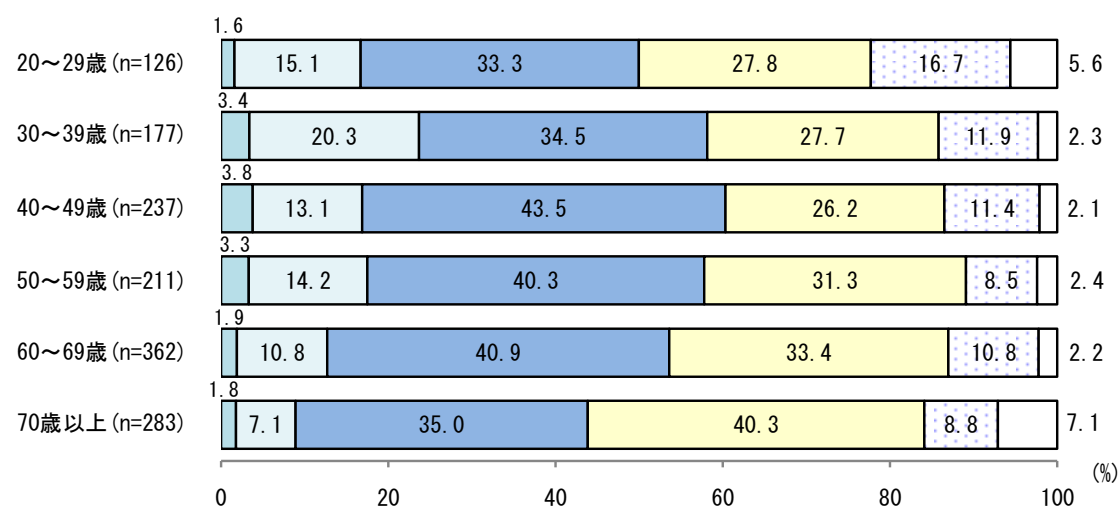
◆「ほとんどない」が38.5%で最も高く、次いで「まったくない」が32.0%となっている。「よくある」と「ときどきある」をあわせた『ある』の割合は、全体の15.1%となっている。

[性別]



◆性別でみると、『ある』の割合は男性11.1%に対し女性17.9%で、女性のほうが6.8ポイント高い。

[年代別]



◆年代別でみると、30歳代で『ある』の割合が23.7%で最も高く、次いで50歳代が17.5%で続いている。

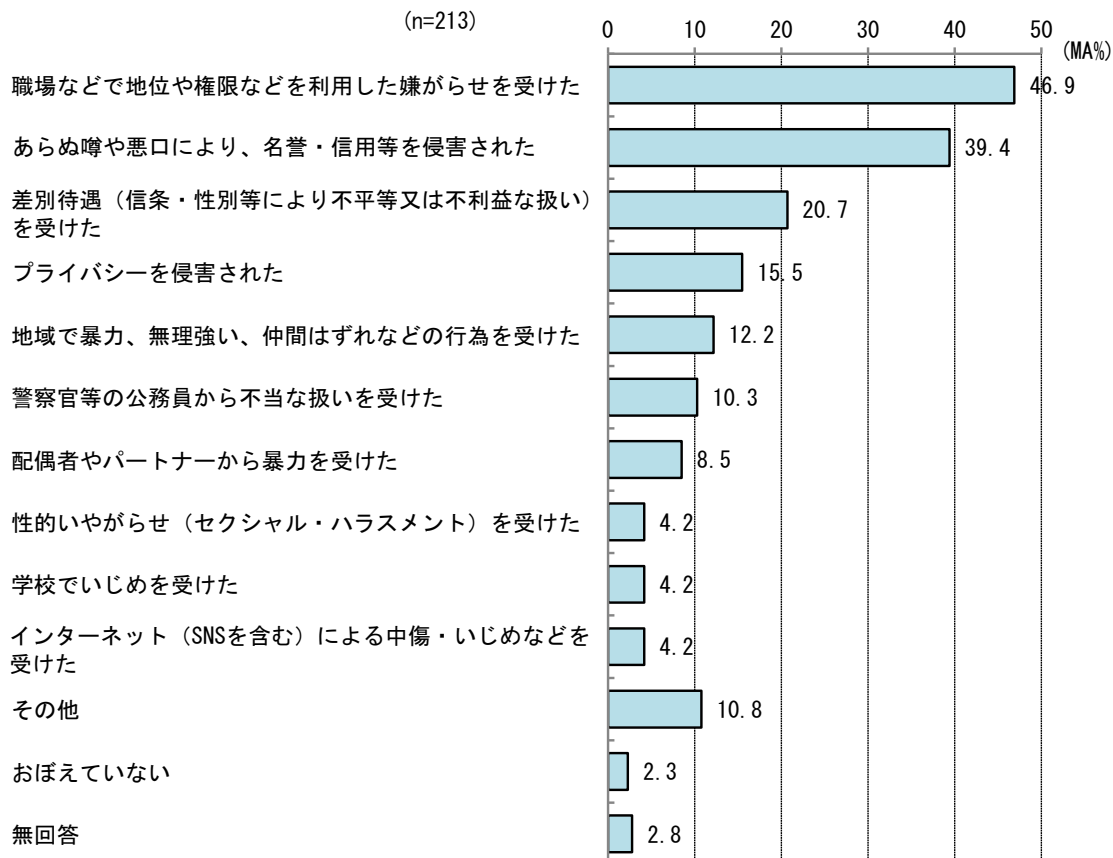
〔問 4-1〕

(2) 受けた人権侵害

問4-1 問4で「1 よくある」、「2 ときどきある」を選んだ人にお聞きします。  
それはどのような人権侵害でしたか。(〇はいくつでも)

[全体]

(複数回答)



◆「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせを受けた」が46.9%で最も高く、次いで「あらぬ噂や悪口により、名誉・信用等を侵害された」が39.4%、「差別待遇（信条・性別等により不平等又は不利益な扱い）を受けた」が20.7%となっている。

(複数回答)

[性別・年代別]

		N	(MA%)												
			職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせを受けた	あらぬ噂や悪口により、名誉・信用等を侵害された	差別待遇(信条・性別等)により不平等又は不利益な扱いを受けた	プライバシーを侵害された	地域で暴力、無理強い、仲間はずれなどの行為を受けた	警察官等の公務員から不当な扱いを受けた	配偶者やパートナーから暴力を受けた	性的いやがらせ(セクシャル・ハラスメント)を受けた	学校でいじめを受けた	インターネット(SNSを含む)による中傷・いじめなどを受けた	その他	おぼえていない	無回答
全体		213	46.9	39.4	20.7	15.5	12.2	10.3	8.5	4.2	4.2	4.2	10.8	2.3	2.8
性別	男性	63	54.0	33.3	27.0	22.2	9.5	15.9	3.2	-	-	3.2	3.2	4.8	3.2
	女性	147	42.9	42.2	18.4	12.2	13.6	8.2	10.9	6.1	5.4	4.8	14.3	1.4	2.7
年代別	20~29歳	21	47.6	28.6	4.8	4.8	9.5	4.8	9.5	4.8	9.5	14.3	19.0	4.8	-
	30~39歳	42	52.4	38.1	19.0	14.3	7.1	9.5	11.9	7.1	4.8	2.4	9.5	4.8	4.8
	40~49歳	40	55.0	40.0	25.0	20.0	10.0	10.0	2.5	7.5	2.5	2.5	10.0	2.5	2.5
	50~59歳	37	62.2	37.8	16.2	8.1	13.5	10.8	8.1	-	-	-	10.8	-	2.7
	60~69歳	46	41.3	47.8	21.7	21.7	15.2	15.2	10.9	4.3	4.3	6.5	10.9	2.2	2.2
	70歳以上	25	12.0	40.0	32.0	16.0	20.0	8.0	8.0	-	4.0	4.0	8.0	-	4.0

- ◆性別で見ると、「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせを受けた」は男性の54.0%のところが11.1ポイント、「プライバシーを侵害された」も男性の22.2%のところが10.0ポイント高い。
- ◆年代別で見ると、20~50歳代までの年代では「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせを受けた」が最も高く、60歳以上の年代では「あらぬ噂や悪口により、名誉・信用等を侵害された」が最も高くなっている。

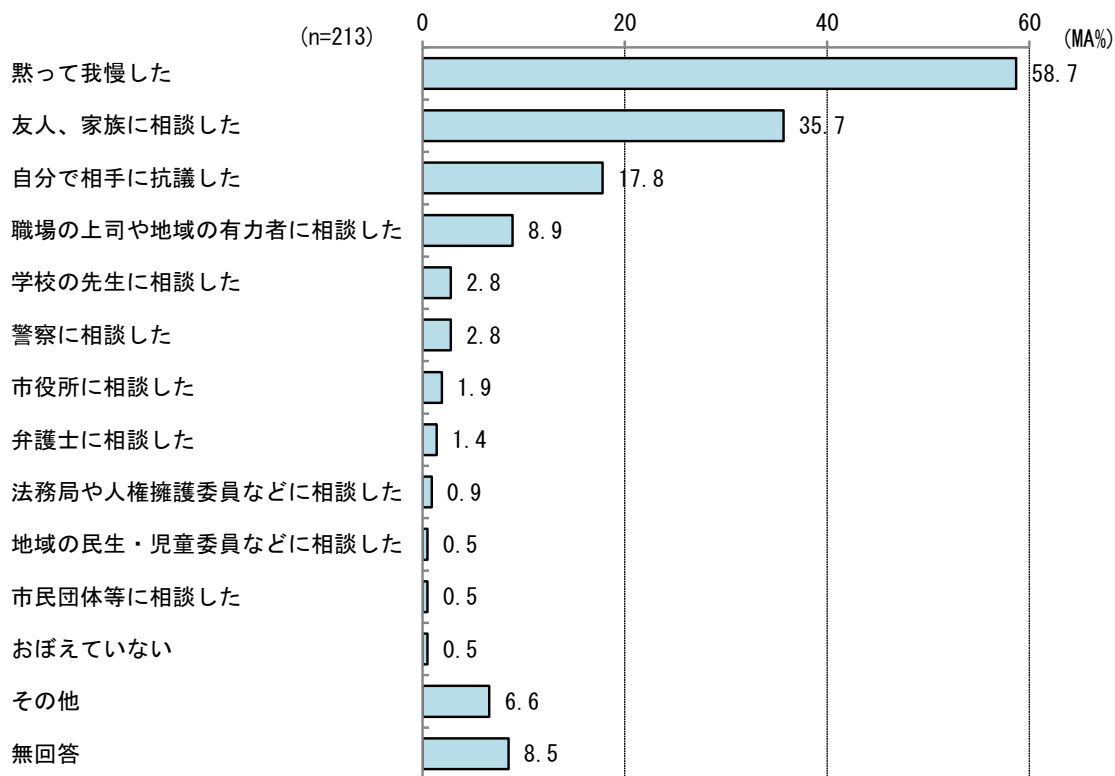
〔問 4-2〕

(3) 人権侵害を受けたときの対応

問4-2 問4で「1 よくある」、「2 ときどきある」を選んだ人にお聞きします。  
人権侵害を受けたとき、どうされましたか。(〇はいくつでも)

〔全体〕

(複数回答)



◆「黙って我慢した」が58.7%で最も高く、次いで「友人、家族に相談した」が35.7%、「自分で相手に抗議した」が17.8%となっている。また、法務局をはじめ公的な機関に相談した人が非常に少ないといえる。

(複数回答)

〔性別・年代別〕

		(MA%)														
		N	黙って我慢した	友人、家族に相談した	自分で相手に抗議した	職場の上司や地域の有力者に相談した	学校の先生に相談した	警察に相談した	市役所に相談した	弁護士に相談した	法務局や人権擁護委員などに相談した	地域の民生・児童委員などに相談した	市民団体等に相談した	おぼえていない	その他	無回答
全 体		213	58.7	35.7	17.8	8.9	2.8	2.8	1.9	1.4	0.9	0.5	0.5	0.5	6.6	8.5
性別	男性	63	57.1	23.8	19.0	7.9	-	1.6	-	1.6	-	-	-	1.6	6.3	9.5
	女性	147	59.2	40.8	17.7	9.5	4.1	3.4	2.7	1.4	1.4	0.7	0.7	-	6.8	8.2
年代別	20～29歳	21	57.1	66.7	9.5	23.8	4.8	4.8	-	-	-	-	-	-	9.5	4.8
	30～39歳	42	66.7	33.3	9.5	14.3	4.8	2.4	-	-	-	-	-	-	4.8	4.8
	40～49歳	40	60.0	37.5	20.0	7.5	2.5	5.0	-	-	2.5	-	-	-	17.5	5.0
	50～59歳	37	56.8	29.7	10.8	2.7	-	-	2.7	2.7	-	-	-	-	2.7	16.2
	60～69歳	46	56.5	32.6	26.1	8.7	2.2	4.3	2.2	4.3	2.2	2.2	2.2	-	2.2	10.9
	70歳以上	25	48.0	28.0	32.0	-	4.0	-	8.0	-	-	-	-	4.0	4.0	8.0

- ◆性別で見ると、「友人、家族に相談した」は女性の40.8%のほうが17.0ポイント高くなっている。
- ◆年代別で見ると、30歳以上の年代では「黙って我慢した」が最も高く、20歳代は「友人、家族に相談した」が最も高くなっている。

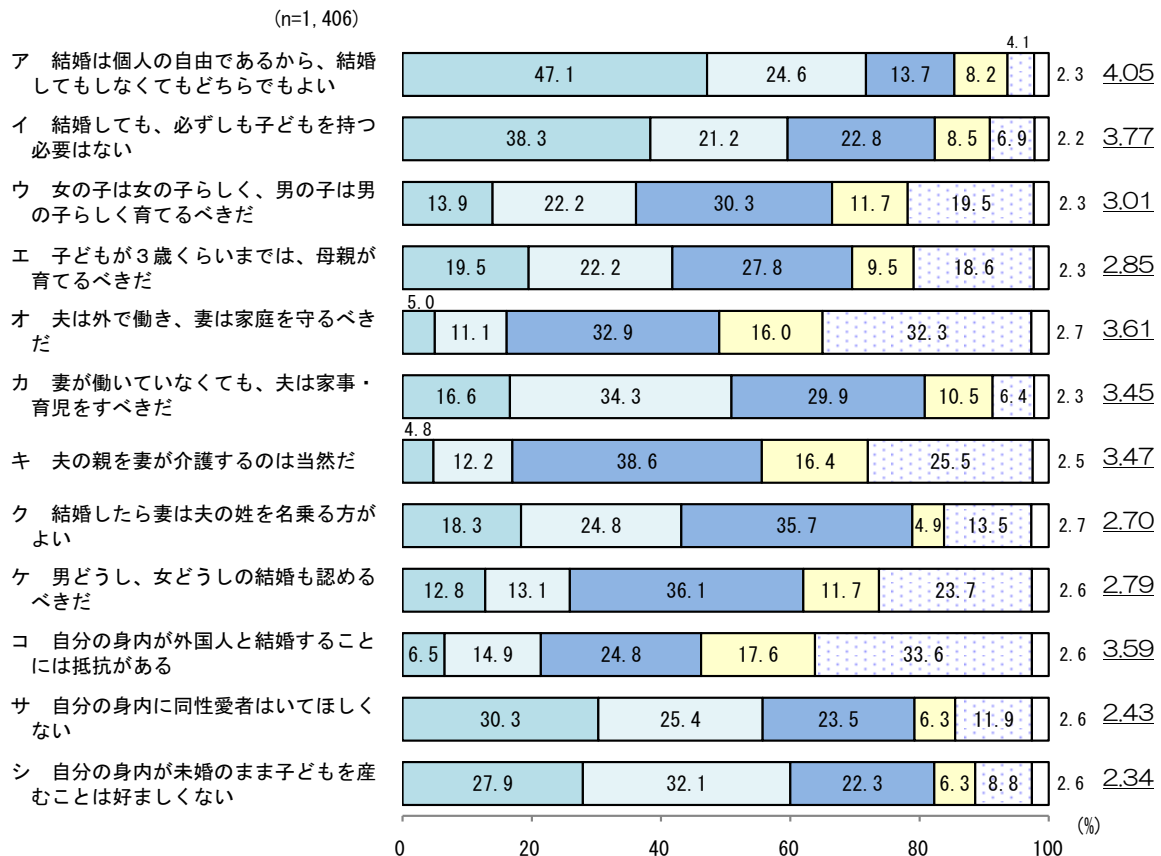
## 5 家族に関わるいろいろな見方や考え方について

問5 次のような家族に関わるいろいろな見方や考え方について、あなたはどのように思いますか。  
ア～シのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

[全体]

そう思う     どちらかといえばそう思う     どちらともいえない  
 どちらかといえばそう思わない     そう思わない     無回答

平均評価点



※平均評価点は、以下のように得点化し、算出している。

得点

	点数	
	項目 ア、イ、カ、ケ	項目 ウ、エ、オ、キ、ク、コ、サ、シ
そう思う	5点	1点
どちらかといえばそう思う	4点	2点
どちらともいえない	3点	3点
どちらかといえばそう思わない	2点	4点
そう思わない	1点	5点

◆『そう思う』の割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計)が最も高い意見は、“ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい”の71.7%である。一方、『そう思わない』の割合(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の計)は“コ 自分の身内が外国人と結婚することには抵抗がある”(とは思わない)が51.2%で最も高い。

◆平均評価点は、“ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい”が4.05点で最も高い。

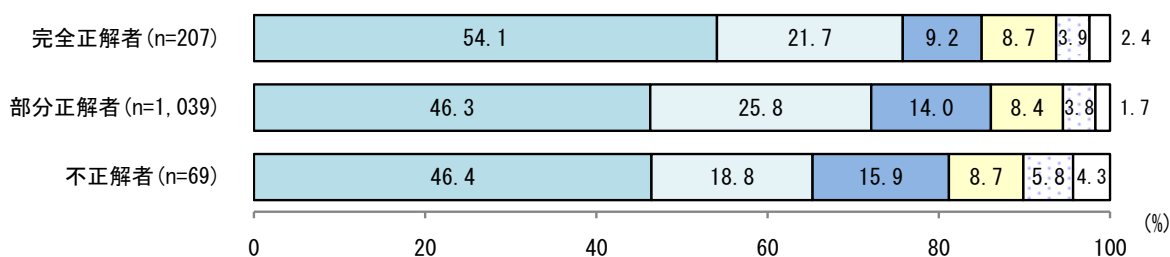
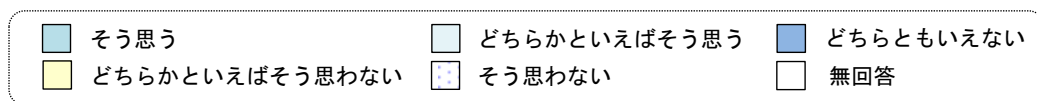
ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

[性別・年代別]

	N								(%)	(点)
		『そう思う』	『どちらかといえば』	『どちらともいえない』	『どちらかといえば』	『そう思わない』	無回答	『『そう思う』』計	『『そう思わない』』計	平均評価点
全体	1,406	47.1	24.6	13.7	8.2	4.1	2.3	71.7	12.3	4.05
性別	男性	45.1	23.6	12.7	10.6	6.0	1.9	68.7	16.6	3.93
	女性	48.5	25.5	14.4	6.5	2.8	2.3	74.0	9.3	4.13
年代別	20～29歳	64.3	24.6	5.6	1.6	0.8	3.2	88.9	2.4	4.55
	30～39歳	62.7	20.9	10.2	4.0	-	2.3	83.6	4.0	4.46
	40～49歳	54.0	27.8	8.0	7.6	1.7	0.8	81.8	9.3	4.26
	50～59歳	44.5	28.4	10.0	9.0	6.2	1.9	72.9	15.2	3.98
	60～69歳	39.2	27.1	17.7	9.4	4.7	1.9	66.3	14.1	3.88
	70歳以上	35.7	18.7	21.9	12.0	8.1	3.5	54.4	20.1	3.64

- ◆性別で見ると、『そう思う』の割合は、男性の68.7%より女性の74.0%のほうが高い。
- ◆年代別で見ると、『そう思う』の割合は、若い年代ほど高くなっている。
- ◆平均評価点は、20～40歳代で4点台と高くなっている。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別で見ると、『そう思う』の割合は、完全正解者が75.8%で最も高い。

〔問5〕

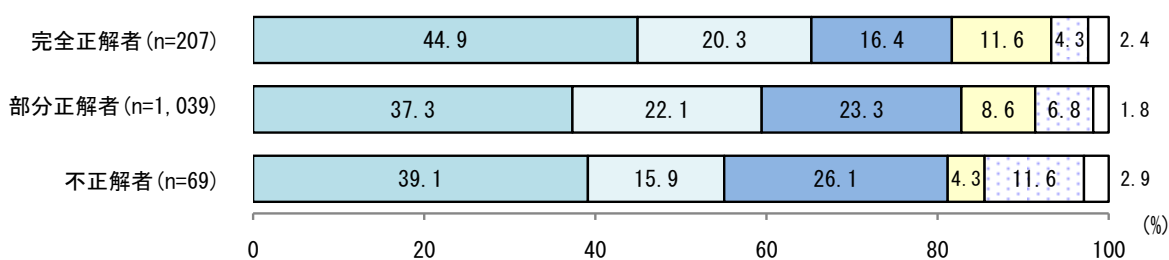
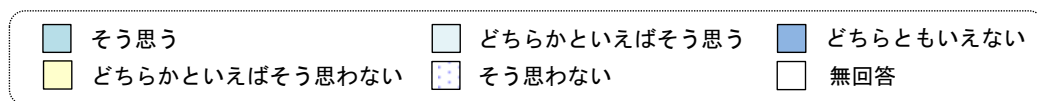
イ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない

〔性別・年代別〕

		N	(% )					(点)			
			『そう思う』計	『どちらかといえばそう思う』計	『どちらかといえばそう思わない』計	『どちらともいえない』計	『そう思わない』計	無回答	平均評価点		
全体		1,406	38.3	21.2	22.8	8.5	6.9	2.2	59.5	15.4	3.77
性別	男性	567	37.0	18.9	23.1	10.6	8.5	1.9	55.9	19.1	3.67
	女性	825	39.5	22.9	22.9	6.9	5.8	1.9	62.4	12.7	3.85
年代別	20～29歳	126	57.9	25.4	7.1	4.8	1.6	3.2	83.3	6.4	4.38
	30～39歳	177	54.8	24.3	14.1	3.4	1.1	2.3	79.1	4.5	4.31
	40～49歳	237	50.6	26.2	12.2	7.6	2.5	0.8	76.8	10.1	4.16
	50～59歳	211	37.9	19.0	24.6	9.0	8.1	1.4	56.9	17.1	3.71
	60～69歳	362	27.3	21.8	31.2	9.4	8.3	1.9	49.1	17.7	3.52
	70歳以上	283	23.0	14.8	32.5	12.7	14.1	2.8	37.8	26.8	3.20

- ◆性別でみると、『そう思う』の割合は、男性の55.9%より女性の62.4%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、『そう思う』の割合は、若い年代ほど高くなっている。
- ◆平均評価点は、20～40歳代で4点台と高くなっている。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思う』の割合は、完全正解者が65.2%で最も高い。



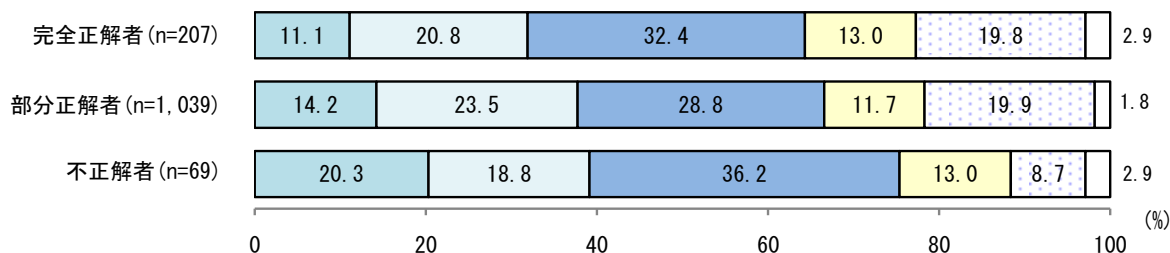
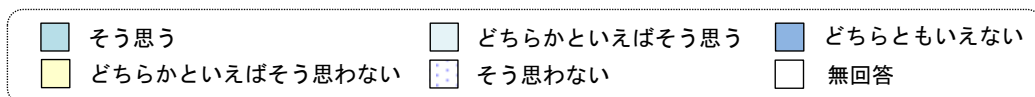
ウ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるべきだ

[性別・年代別]

	N							(%)	(点)		
		『そう思う』計	『どちらかといえばそう思う』計	『どちらともいえない』計	『どちらかといえばそう思わない』計	『そう思わない』計	無回答	平均評価点			
全体	1,406	13.9	22.2	30.3	11.7	19.5	2.3	36.1	31.2	3.01	
性別	男性	567	20.8	24.2	28.4	8.6	15.7	2.3	45.0	24.3	2.74
	女性	825	9.2	21.0	31.9	13.8	22.1	2.1	30.2	35.9	3.19
年代別	20～29歳	126	7.9	7.9	32.5	20.6	27.8	3.2	15.8	48.4	3.54
	30～39歳	177	9.0	16.4	32.8	12.4	27.1	2.3	25.4	39.5	3.33
	40～49歳	237	10.5	21.1	34.2	13.9	19.4	0.8	31.6	33.3	3.11
	50～59歳	211	10.9	26.5	28.4	12.8	19.9	1.4	37.4	32.7	3.04
	60～69歳	362	13.8	24.3	30.1	10.8	18.5	2.5	38.1	29.3	2.96
	70歳以上	283	24.7	27.6	26.5	6.0	12.0	3.2	52.3	18.0	2.51

- ◆性別でみると、『そう思う』の割合は女性の30.2%より男性の45.0%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、『そう思わない』の割合が20・30歳代で最も高いが、50歳以上の年代では『そう思う』の割合が最も高くなっている。
- ◆平均評価点は、年代別では若い年代ほど高くなっている。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、完全正解者では『そう思わない』の割合が最も高くなっている。

〔問5〕

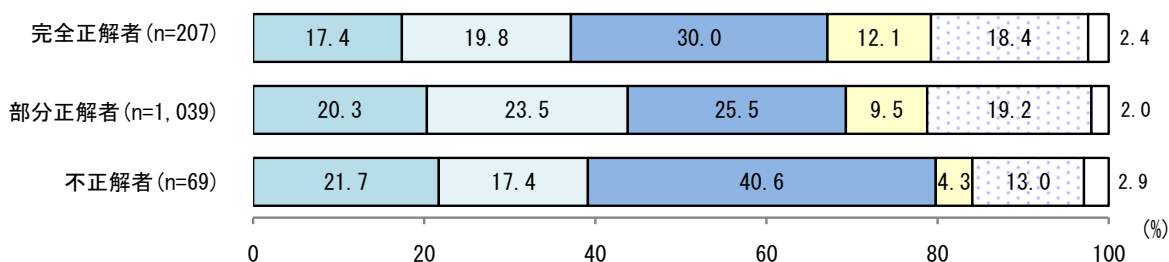
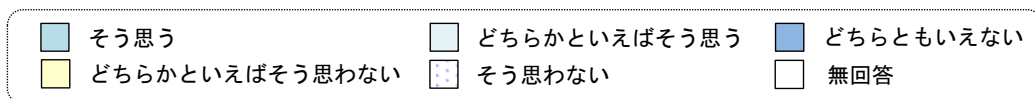
エ 子どもが3歳くらいまでは、母親が育てるべきだ

〔性別・年代別〕

		N	（％）					（点）			
			『そう思う』	『どちらかといえば』	『どちらともいえない』	『どちらかといえば』	『そう思わない』	『そう思う』計	『そう思わない』計	平均評価点	
全体		1,406	19.5	22.2	27.8	9.5	18.6	2.3	41.7	28.1	2.85
性別	男性	567	20.1	19.6	27.9	9.0	21.2	2.3	39.7	30.2	2.91
	女性	825	19.0	24.2	28.0	9.8	16.8	2.1	43.2	26.6	2.81
年代別	20～29歳	126	4.0	8.7	27.8	20.6	35.7	3.2	12.7	56.3	3.78
	30～39歳	177	8.5	13.0	34.5	12.4	29.4	2.3	21.5	41.8	3.42
	40～49歳	237	14.8	20.7	31.6	12.7	19.0	1.3	35.5	31.7	3.00
	50～59歳	211	17.5	28.0	28.0	5.7	19.4	1.4	45.5	25.1	2.81
	60～69歳	362	23.8	27.3	27.3	6.1	13.3	2.2	51.1	19.4	2.57
	70歳以上	283	33.2	24.4	21.6	7.8	9.9	3.2	57.6	17.7	2.35

- ◆性別でみると、『そう思う』の割合は、男性の39.7%より女性の43.2%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、20・30歳代では『そう思わない』の割合が最も高いが、40歳以上の年代では『そう思う』割合が最も高くなっている。
- ◆平均評価点は、20～40歳代で3点台と高く、20歳代と70歳以上の平均評価点の差は1.43点と、年齢による差が大きくなっている。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思う』の割合は、部分正解者が43.8%で最も高い。

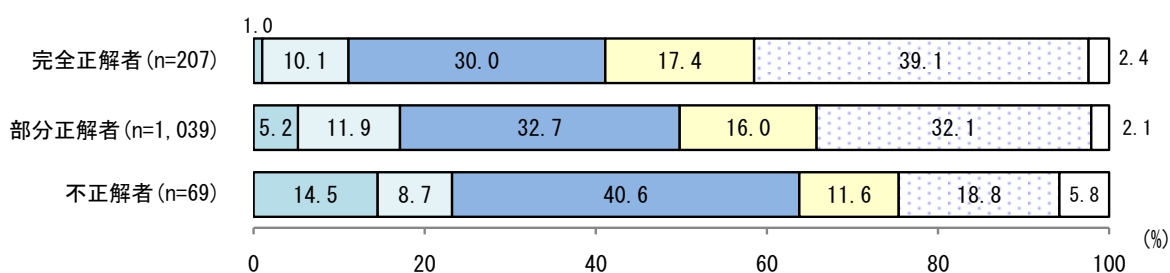
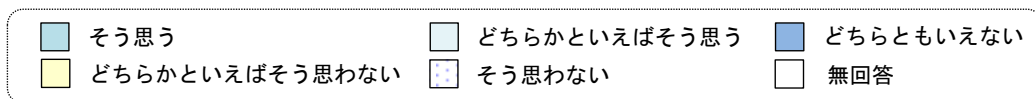
才 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

[性別・年代別]

			(%)							(点)	
		N	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	無回答	『そう思う』計	『そう思わない』計	平均評価点
全体		1,406	5.0	11.1	32.9	16.0	32.3	2.7	16.1	48.3	3.61
性別	男性	567	6.5	12.5	34.2	14.5	29.5	2.8	19.0	44.0	3.49
	女性	825	3.9	10.3	32.1	17.0	34.4	2.3	14.2	51.4	3.69
年代別	20～29歳	126	4.0	3.2	25.4	18.3	46.0	3.2	7.2	64.3	4.02
	30～39歳	177	2.3	6.8	27.7	19.2	41.8	2.3	9.1	61.0	3.94
	40～49歳	237	3.0	11.4	32.5	20.7	31.2	1.3	14.4	51.9	3.67
	50～59歳	211	0.9	12.3	36.0	13.3	36.0	1.4	13.2	49.3	3.72
	60～69歳	362	5.2	11.6	35.1	13.8	31.8	2.5	16.8	45.6	3.57
	70歳以上	283	11.0	15.9	35.3	13.8	19.4	4.6	26.9	33.2	3.16

- ◆性別でみると、『そう思わない』の割合は、男性の44.0%より女性の51.4%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、『そう思わない』の割合は、若い年代ほど高くなっている。
- ◆平均評価点は、20歳代が4.02点で最も高い。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思わない』の割合は、完全正解者が56.5%で最も高い。

〔問5〕

力 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をすべきだ

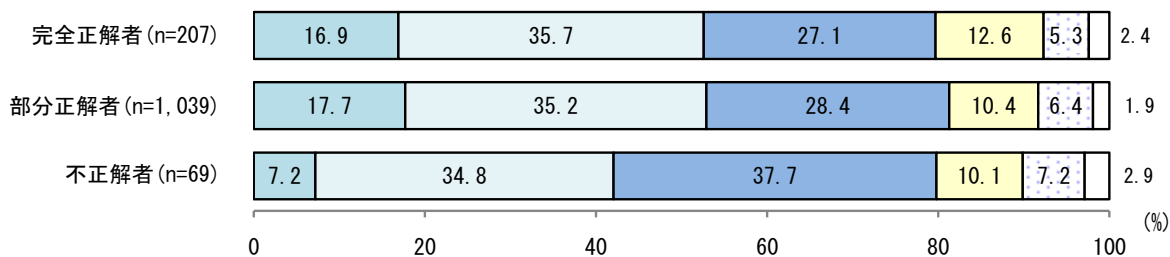
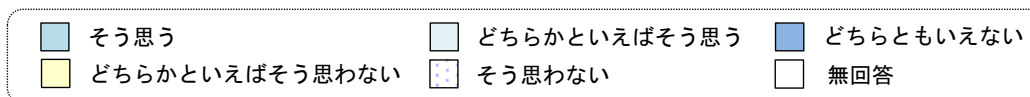
〔性別・年代別〕

		N	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえ	そう思わない	無回答	『そう思う』計	『そう思わない』計	平均評価点
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(点)
全体		1,406	16.6	34.3	29.9	10.5	6.4	2.3	50.9	16.9	3.45
性別	男性	567	15.7	34.9	28.7	11.6	6.9	2.1	50.6	18.5	3.42
	女性	825	17.6	34.1	30.5	9.7	5.9	2.2	51.7	15.6	3.49
年代別	20～29歳	126	20.6	31.0	28.6	8.7	7.9	3.2	51.6	16.6	3.49
	30～39歳	177	22.0	43.5	20.3	8.5	3.4	2.3	65.5	11.9	3.74
	40～49歳	237	13.5	43.0	27.8	8.0	6.8	0.8	56.5	14.8	3.49
	50～59歳	211	17.5	30.8	35.1	10.0	5.2	1.4	48.3	15.2	3.46
	60～69歳	362	18.0	30.9	32.9	11.3	4.7	2.2	48.9	16.0	3.47
	70歳以上	283	12.4	30.0	30.4	13.8	9.9	3.5	42.4	23.7	3.22

◆性別でみると、男女で大きな差はみられない。

◆年代別でみると、『そう思う』の割合は、30歳代が65.5%で最も高くなっている。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思う』の割合は、完全正解者が52.6%、部分正解者が52.9%と、それぞれ5割を占めている。

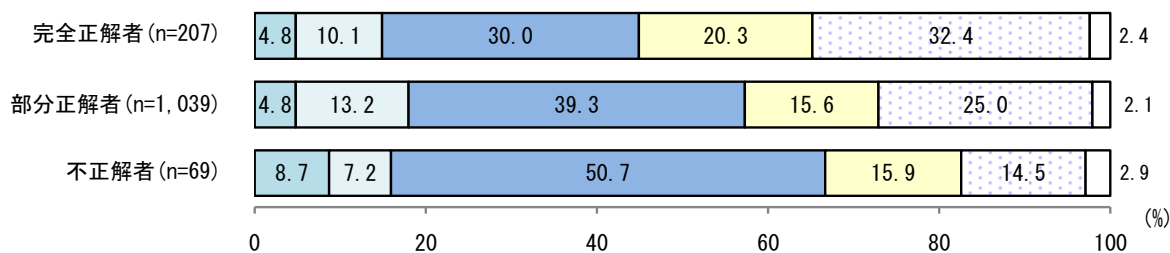
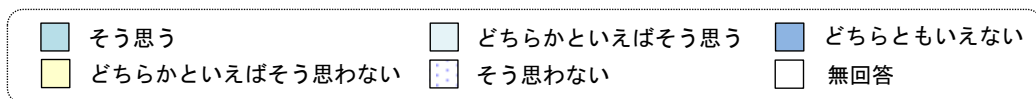
キ 夫の親を妻が介護するのは当然だ

[性別・年代別]

								(%)	(点)		
		N	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	無回答	『そう思う』計	『そう思わない』計	平均評価点
全体		1,406	4.8	12.2	38.6	16.4	25.5	2.5	17.0	41.9	3.47
性別	男性	567	5.6	13.9	40.2	15.9	21.9	2.5	19.5	37.8	3.35
	女性	825	4.1	10.9	38.1	16.6	28.1	2.2	15.0	44.7	3.55
年代別	20～29歳	126	0.8	4.8	23.8	25.4	42.1	3.2	5.6	67.5	4.07
	30～39歳	177	3.4	9.6	27.7	20.9	36.2	2.3	13.0	57.1	3.79
	40～49歳	237	3.0	12.7	38.4	18.6	26.6	0.8	15.7	45.2	3.54
	50～59歳	211	3.8	10.9	38.4	15.2	29.9	1.9	14.7	45.1	3.57
	60～69歳	362	4.7	13.3	44.2	14.6	21.0	2.2	18.0	35.6	3.35
	70歳以上	283	9.9	15.9	46.3	11.0	13.1	3.9	25.8	24.1	3.01

- ◆性別で見ると、男性は「どちらともいえない」が40.2%で割合が最も高いが、女性は『そう思わない』の割合が44.7%で最も高くなっている。
- ◆年代別で見ると、20～50歳代では『そう思わない』の割合が最も高く、若い年代ほど高くなっている。
- ◆平均評価点は、20歳代が4.07点で最も高い。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別で見ると、『そう思わない』の割合は、完全正解者が52.7%で最も高い。

〔問5〕

ク 結婚したら妻は夫の姓を名乗る方がよい

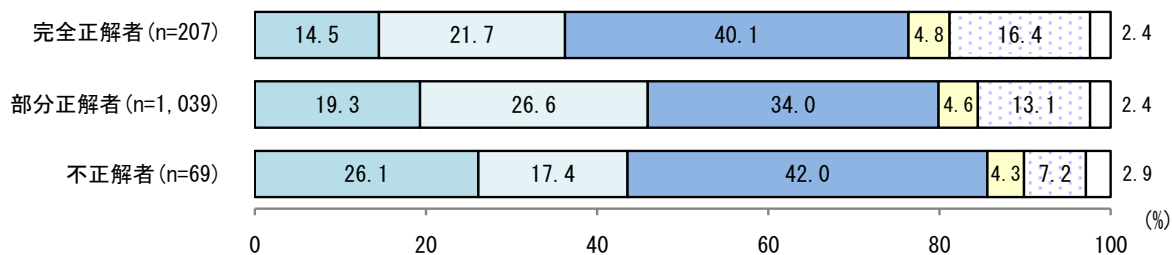
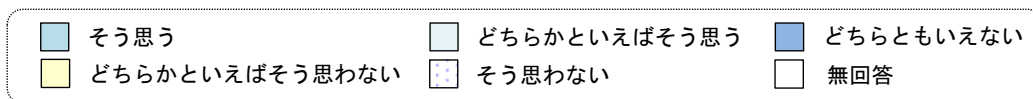
〔性別・年代別〕

		N						(%)		(点)	
			『そう思う』	『どちらかといえば』	『どちらともいえない』	『どちらかといえば』	『そう思わない』	『そう思う』計	『そう思わない』計	平均評価点	
全体		1,406	18.3	24.8	35.7	4.9	13.5	2.7	43.1	18.4	2.70
性別	男性	567	23.6	25.9	31.6	4.2	11.8	2.8	49.5	16.0	2.53
	女性	825	14.7	24.4	38.7	5.1	14.9	2.3	39.1	20.0	2.81
年代別	20～29歳	126	12.7	19.8	34.9	8.7	20.6	3.2	32.5	29.3	3.05
	30～39歳	177	11.3	20.3	38.4	5.1	22.6	2.3	31.6	27.7	3.08
	40～49歳	237	8.9	27.8	42.6	6.3	13.5	0.8	36.7	19.8	2.88
	50～59歳	211	14.2	25.6	41.7	3.3	13.7	1.4	39.8	17.0	2.76
	60～69歳	362	23.5	24.9	32.9	4.1	11.6	3.0	48.4	15.7	2.54
	70歳以上	283	29.7	26.9	27.9	3.9	7.4	4.2	56.6	11.3	2.30

◆性別でみると、『そう思う』の割合は、女性の39.1%より男性の49.5%のほうが高い。

◆年代別でみると、60歳以上では『そう思う』の割合が最も高くなっている。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思う』の割合は、部分正解者が45.9%で最も高くなっている。

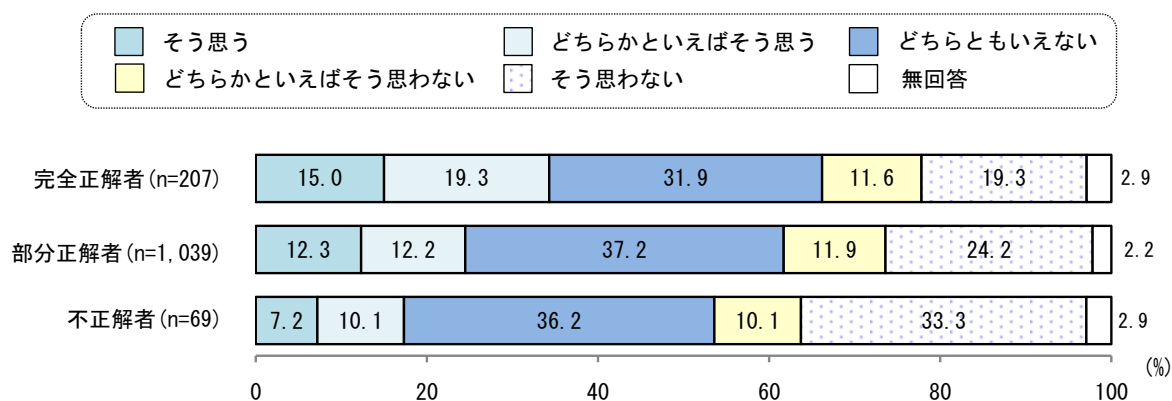
ケ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ

[性別・年代別]

			(%)						(点)		
		N	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	無回答	『そう思う』計	『そう思わない』計	平均評価点
全体		1,406	12.8	13.1	36.1	11.7	23.7	2.6	25.9	35.4	2.79
性別	男性	567	9.3	8.5	31.4	14.5	34.0	2.3	17.8	48.5	2.43
	女性	825	15.3	16.4	39.6	9.8	16.4	2.5	31.7	26.2	3.04
年代別	20～29歳	126	27.0	23.8	33.3	7.1	5.6	3.2	50.8	12.7	3.61
	30～39歳	177	23.7	20.3	35.6	6.2	11.9	2.3	44.0	18.1	3.39
	40～49歳	237	16.9	17.7	38.8	8.4	17.3	0.8	34.6	25.7	3.09
	50～59歳	211	11.4	12.3	44.5	13.7	16.6	1.4	23.7	30.3	2.88
	60～69歳	362	7.5	9.9	37.3	15.5	26.8	3.0	17.4	42.3	2.54
	70歳以上	283	3.9	4.6	28.3	13.8	45.6	3.9	8.5	59.4	2.04

- ◆性別でみると、男性は『そう思わない』の割合が48.5%で最も高いが、女性は「どちらともいえない」が39.6%で最も高い。
- ◆年代別でみると、20・30歳代では『そう思う』の割合が最も高いが、60歳以上では『そう思わない』の割合が最も高くなっている。
- ◆平均評価点は、20歳代が3.61点で最も高く、70歳以上では2.04点で最も低くなっており、その差は1.57点と、非常に大きい。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思う』の割合は、完全正解者が34.3%で最も高い。

〔問5〕

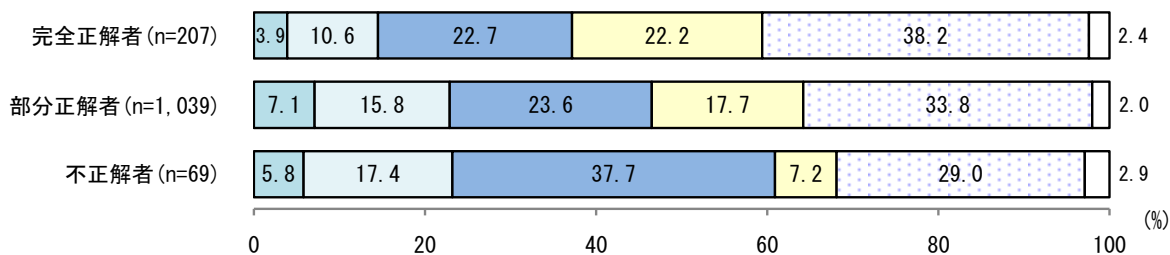
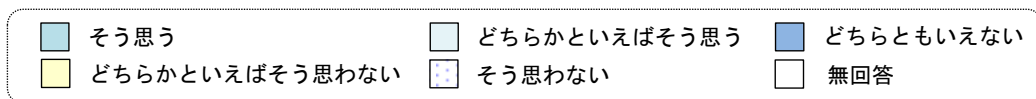
コ 自分の身内が外国人と結婚することには抵抗がある

〔性別・年代別〕

		N						(%)		(点)	
			そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらか といえ ば そう 思 わ な い	そう 思 わ な い	無 回 答	『そう 思う』 計	『そう 思 わ な い』 計	平均 評 価 点
全 体		1,406	6.5	14.9	24.8	17.6	33.6	2.6	21.4	51.2	3.59
性別	男性	567	7.8	16.6	28.0	15.2	30.0	2.5	24.4	45.2	3.44
	女性	825	5.6	13.7	22.7	19.5	36.1	2.4	19.3	55.6	3.69
年代別	20～29歳	126	4.0	9.5	15.9	16.7	50.8	3.2	13.5	67.5	4.04
	30～39歳	177	5.6	13.6	16.9	17.5	43.5	2.8	19.2	61.0	3.82
	40～49歳	237	3.8	11.8	22.4	28.3	32.9	0.8	15.6	61.2	3.75
	50～59歳	211	5.7	12.3	24.6	19.4	35.5	2.4	18.0	54.9	3.68
	60～69歳	362	5.2	16.9	29.0	15.2	31.2	2.5	22.1	46.4	3.52
	70歳以上	283	12.4	20.1	30.4	11.3	22.3	3.5	32.5	33.6	3.11

- ◆性別でみると、『そう思わない』の割合は、男性の45.2%より女性の55.6%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、『そう思わない』の割合は20～40歳代で6割台と高い。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思わない』の割合は、完全正解者が60.4%で最も高い。



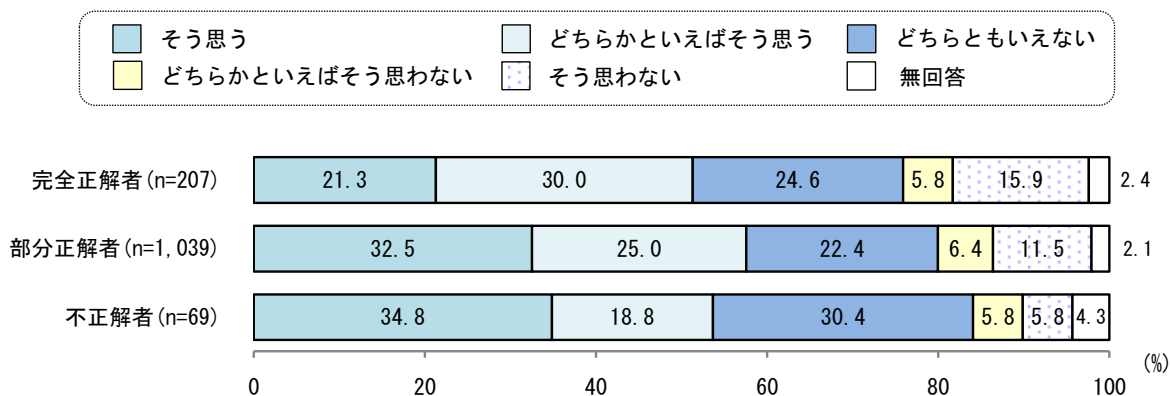
サ 自分の身内に同性愛者はいてほしくない

[性別・年代別]

		N						(%)		(点)	
			『そう思う』	『どちらかといえば』	『どちらともいえない』	『どちらかといえ』	『そう思わない』	無回答	『そう思う』計	『そう思わない』計	平均評価点
全体		1,406	30.3	25.4	23.5	6.3	11.9	2.6	55.7	18.2	2.43
性別	男性	567	38.3	26.6	18.7	3.9	10.2	2.3	64.9	14.1	2.19
	女性	825	24.7	24.7	26.9	8.0	13.2	2.4	49.4	21.2	2.59
年代別	20～29歳	126	11.9	16.7	34.1	11.1	23.0	3.2	28.6	34.1	3.17
	30～39歳	177	22.6	24.3	21.5	9.6	19.8	2.3	46.9	29.4	2.79
	40～49歳	237	22.4	23.2	30.0	8.9	14.8	0.8	45.6	23.7	2.70
	50～59歳	211	21.8	34.1	24.6	5.7	12.3	1.4	55.9	18.0	2.52
	60～69歳	362	34.8	27.9	22.1	5.0	7.7	2.5	62.7	12.7	2.21
	70歳以上	283	50.5	22.6	15.9	1.8	4.9	4.2	73.1	6.7	1.83

- ◆性別でみると、『そう思う』の割合は、女性の49.4%より男性の64.9%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、『そう思う』の割合は、高齢になるほど高くなっている。
- ◆平均評価点は、20歳代が3.17点で最も高く、70歳以上では1.83点で最も低くなっており、その差は1.34点と、非常に大きい。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思う』の割合は、部分正解者が57.5%で最も高い。

〔問5〕

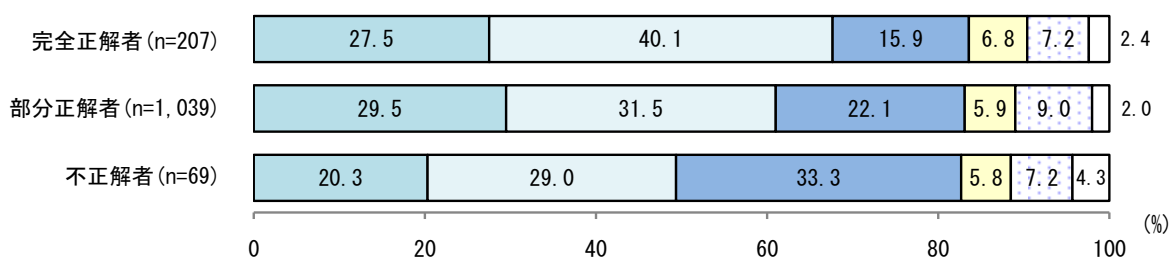
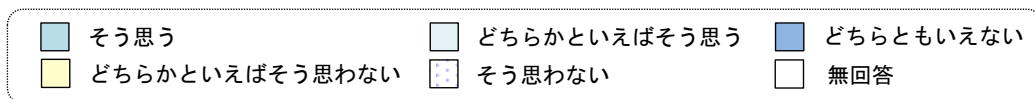
シ 自分の身内が未婚のまま子どもを産むことは好ましくない

〔性別・年代別〕

									(%)	(%)	(点)
		N	『そう思う』	『どちらかといえば』	『どちらともいえない』	『どちらかといえば』	『そう思わない』	無回答	『『そう思う』』計	『『そう思わない』』計	平均評価点
全 体		1,406	27.9	32.1	22.3	6.3	8.8	2.6	60.0	15.1	2.34
性別	男性	567	32.1	31.9	19.9	4.2	9.5	2.3	64.0	13.7	2.25
	女性	825	24.8	32.5	24.1	7.8	8.4	2.4	57.3	16.2	2.41
年代別	20～29歳	126	15.1	31.7	25.4	9.5	15.1	3.2	46.8	24.6	2.77
	30～39歳	177	24.3	32.8	22.0	6.8	11.9	2.3	57.1	18.7	2.48
	40～49歳	237	23.2	34.6	25.3	9.3	6.8	0.8	57.8	16.1	2.41
	50～59歳	211	27.0	31.8	24.2	4.7	10.9	1.4	58.8	15.6	2.40
	60～69歳	362	30.1	30.1	24.9	5.8	6.6	2.5	60.2	12.4	2.27
	70歳以上	283	37.1	33.2	14.8	3.5	7.1	4.2	70.3	10.6	2.06

- ◆性別でみると、『そう思う』の割合は、女性の57.3%より男性の64.0%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、『そう思う』の割合は、高齢になるほど高くなっている。
- ◆平均評価点は、20歳代が2.77点で最も高く、70歳以上では2.06点で最も低い。

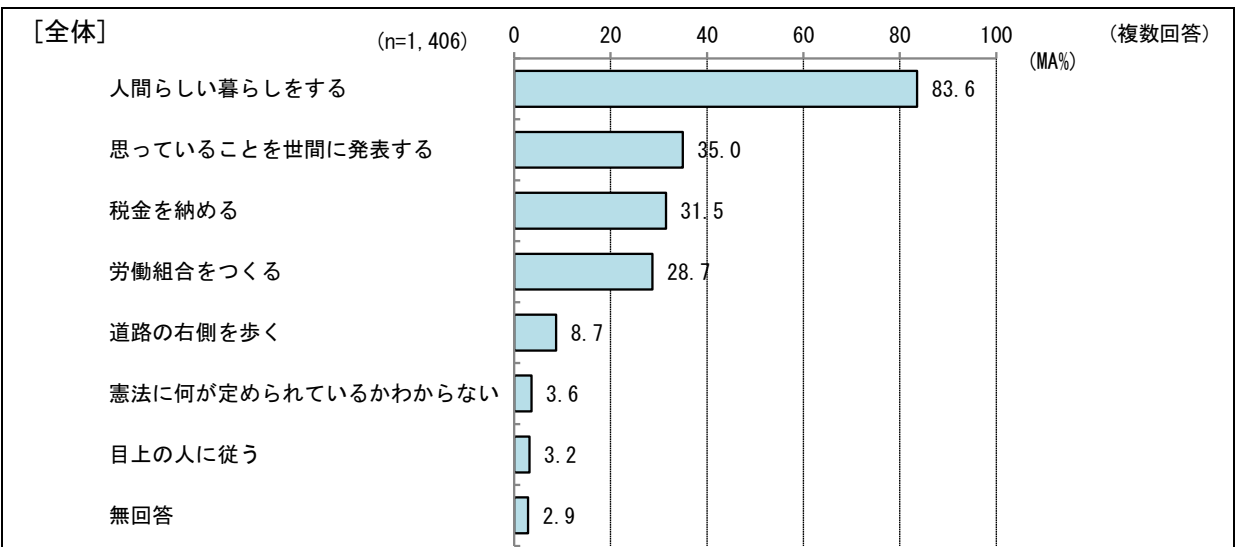
〔国民の権利の理解度別（問6）〕



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『そう思う』の割合は、完全正解者が67.6%で最も高い。

## 6 国民の権利として定められていると思うものについて

問6 あなたは、憲法により義務ではなく、「国民の権利」と定められているのはどれだと思いますか。(〇はいくつでも)



◆正答である「人間らしい暮らしをする」(第25条・生存権)を選んだ人が83.6%で、次いで第21条の表現の自由である「思っていることを世間に発表する」が35.0%、「労働組合をつくる」(第28条・団結権)が28.7%となっている。また、一方で「税金を納める」(第30条・納税の義務)を選んだ人が31.5%と3番目に多く、権利と義務の認識誤りをしている市民は少なくない。

[性別・年代別・学校での人権教育を受けた経験別 (問7)]

		N	人間らしい暮らしをする	思っていることを世間に発表する	税金を納める	労働組合をつくる	道路の右側を歩く	憲法に何が定められているかわからない	目上の人に従う	無回答
全体		1,406	83.6	35.0	31.5	28.7	8.7	3.6	3.2	2.9
性別	男性	567	83.6	39.3	32.5	30.5	8.3	3.0	3.7	2.1
	女性	825	83.6	32.2	30.7	27.3	8.5	4.0	2.8	3.3
年代別	20~29歳	126	73.8	47.6	22.2	37.3	4.8	6.3	7.1	3.2
	30~39歳	177	79.7	44.6	23.7	32.8	1.7	3.4	2.3	2.3
	40~49歳	237	87.3	36.3	26.2	32.9	3.8	2.1	2.5	1.3
	50~59歳	211	87.2	34.6	27.5	28.9	3.8	2.4	3.3	2.4
	60~69歳	362	87.3	30.7	35.6	25.4	9.7	3.6	2.5	1.7
	70歳以上	283	80.6	29.0	42.0	22.6	21.2	4.6	3.5	6.0
学校での人権教育を受けた経験別	受けたことがある	646	84.7	42.9	24.5	35.1	3.9	2.8	3.6	1.4
	受けたことがない	96	77.1	20.8	30.2	16.7	1.0	6.3	3.1	2.1

※人権教育を受けた経験については、60歳未満の人で集計しています。

- ◆性別で見ると、「思っていることを世間に発表する」は女性の32.2%より男性の39.3%のほうが7.1ポイント高くなっている。
- ◆年代別で見ると、「思っていることを世間に発表する」の割合は20・30歳代が4割台で高く、「税金を納める」は高年代の市民ほど高く、70歳以上では42.0%となっている。
- ◆学校での人権教育を受けた経験の有無に関係なく、「人間らしい暮らしをする」が最も高くなっているが、経験のない人の割合の77.1%よりも経験のある人の割合の84.7%のほうが高く、「思っていることを世間に発表する」、「労働組合をつくる」も経験のある人のほうが高い割合となっている。

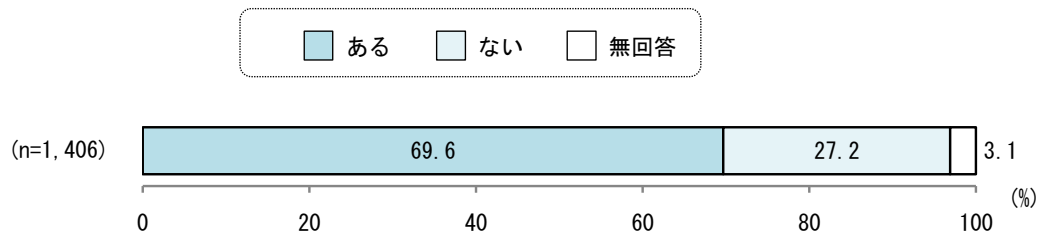
〔問7〕

## 7 人権教育を受けた経験について

### (1) 学校で差別や人権に関し教育を受けた経験

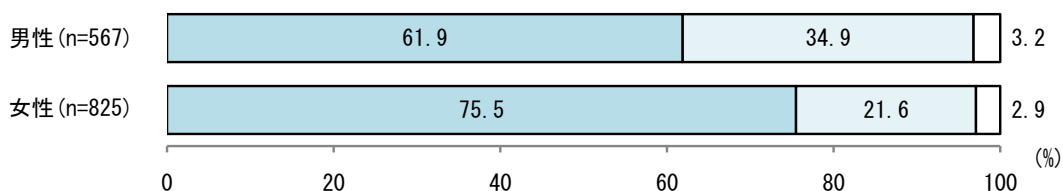
問7 あなたは、これまで学校で差別や人権に関する教育を受けたことがありますか。  
(○は1つ)

〔全体〕



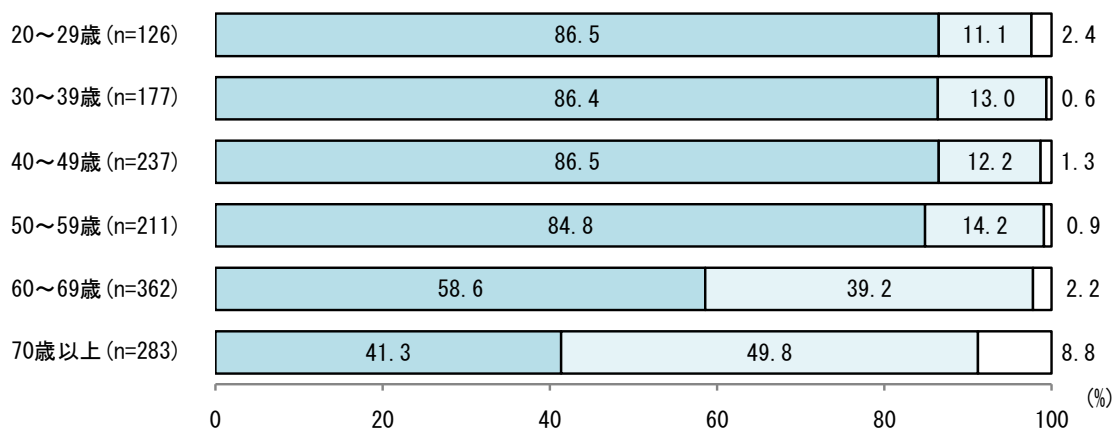
◆学校で差別や人権に関し教育を受けた経験が「ある」割合は69.6%に対し、「ない」割合が27.2%となっている。

〔性別〕



◆性別でみると、「ある」割合は男性の61.9%より女性の75.5%のほうが13.6ポイント高くなっている。

〔年代別〕

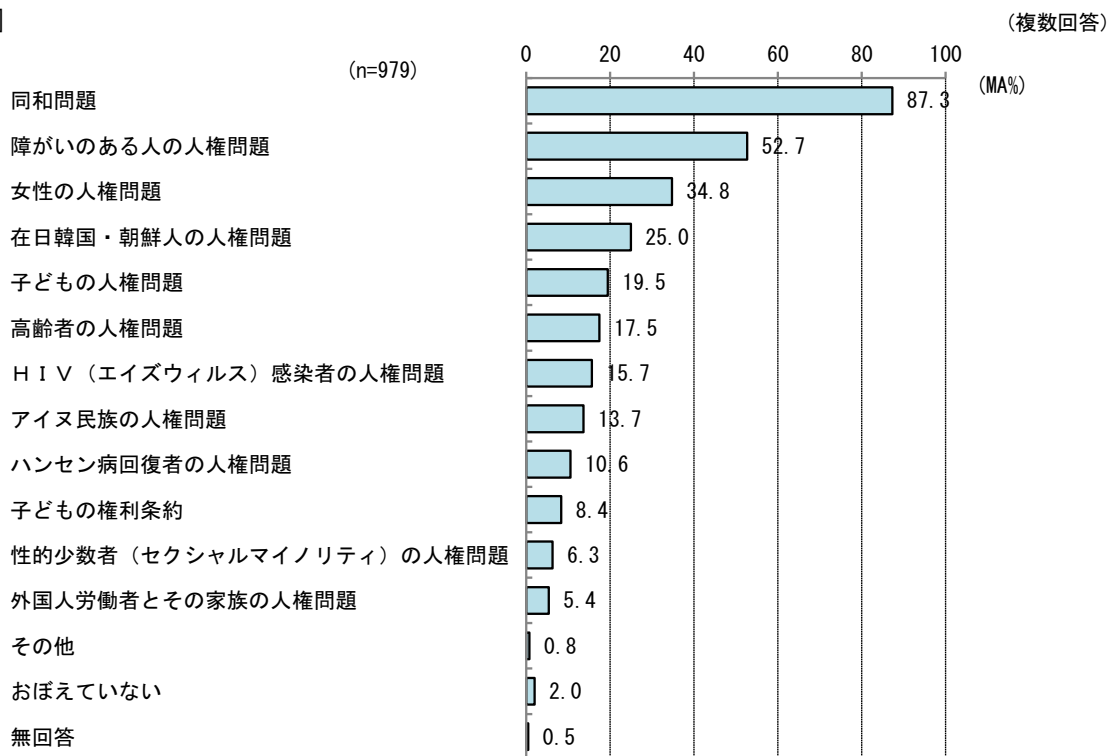


◆年代別でみると、「ある」割合は20～50歳代で8割以上を占めているのに対し、60歳以上になると「ない」割合が上昇している。

## (2) 学校で受けた人権教育の内容

問 7-1 問 7 で「1 ある」と回答された人にお聞きします。  
 どのような内容を教わりましたか。(〇はいくつでも)

〔全体〕



◆「同和問題」が87.3%で最も高く、次いで「障がいのある人の人権問題」が52.7%、「女性の人権問題」が34.8%となっている。

〔性別・年代別〕

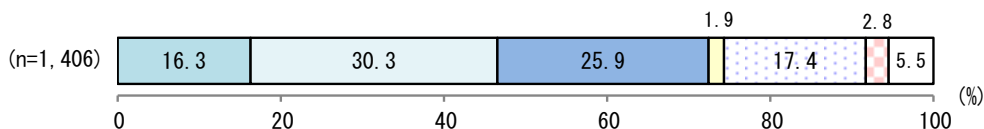
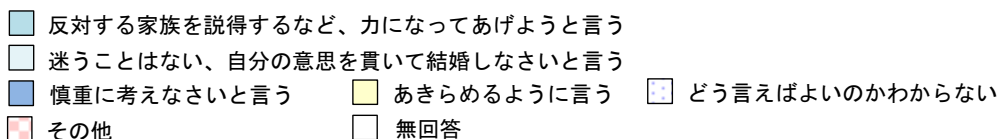
		N	同和問題	障がいのある人の人権問題	女性の人権問題	在日韓国・朝鮮人の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	HIV (エイズウイルス) 感染者の人権問題	アイヌ民族の人権問題	ハンセン病回復者の人権問題	子どもの権利条約	性的少数者 (セクシャルマイノリティ) の人権問題	外国人労働者とその家族の人権問題	その他	おぼえていない	無回答
全体		979	87.3	52.7	34.8	25.0	19.5	17.5	15.7	13.7	10.6	8.4	6.3	5.4	0.8	2.0	0.5
性別	男性	351	87.2	55.6	35.3	29.3	21.1	17.9	18.2	16.8	11.7	9.1	8.5	8.0	1.1	1.7	0.9
	女性	623	87.5	51.0	34.5	22.6	18.5	17.2	14.3	11.9	10.1	7.9	5.1	4.0	0.6	2.2	0.3
年代別	20～29歳	109	69.7	77.1	61.5	38.5	31.2	25.7	40.4	37.6	10.1	22.9	17.4	14.7	1.8	3.7	-
	30～39歳	153	78.4	66.7	41.8	29.4	20.3	19.0	27.5	11.1	3.9	10.5	8.5	5.2	2.0	3.3	-
	40～49歳	205	89.8	50.7	28.8	20.0	16.6	13.7	11.2	9.3	9.8	4.4	3.9	4.4	0.5	1.5	1.0
	50～59歳	179	95.5	46.9	27.4	29.6	17.3	13.4	8.4	13.4	10.1	4.5	5.6	5.0	0.6	1.1	-
	60～69歳	212	89.6	35.4	27.8	17.5	16.5	15.6	9.0	9.4	10.8	6.1	4.2	2.8	0.5	2.8	1.4
	70歳以上	117	94.0	55.6	35.9	20.5	21.4	23.9	8.5	10.3	22.2	9.4	2.6	4.3	-	-	-

◆年代別でみると、20歳代では「障がいのある人の人権問題」が最も高いが、30歳以上の年代では「同和問題」が最も高く、50歳代が95.5%で最も高くなっている。

### 8 同和地区の人との結婚について相談を受けた場合の対応について

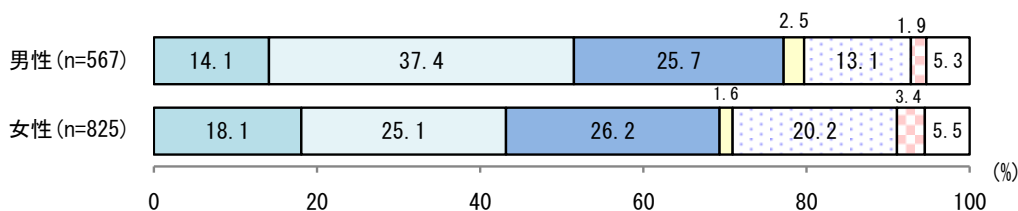
問8 結婚相手が同和地区の人であるということを理由に、家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその方から相談を受けた場合、どのような態度をとると思いますか。最もお考えに近いものを選んでください。(〇は1つ)

[全体]



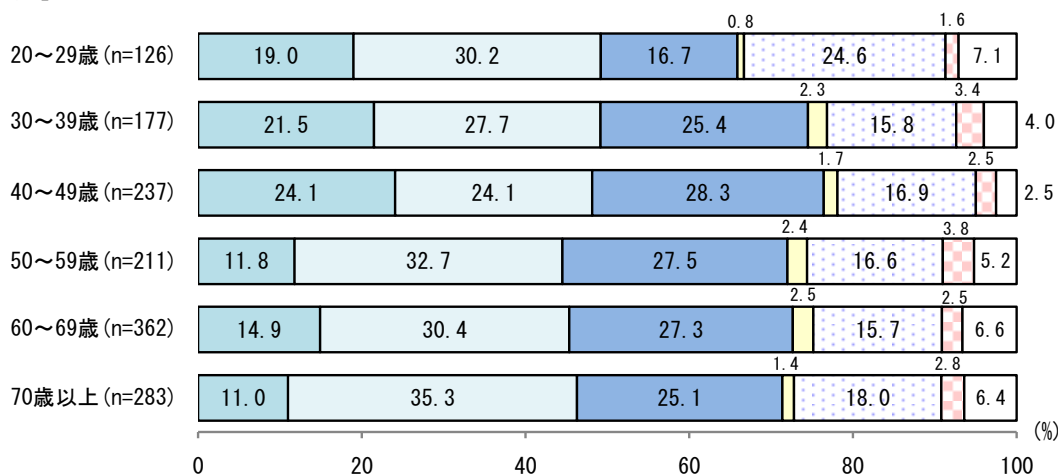
◆「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」が30.3%で最も高く、次いで「慎重に考えなさいと言う」が25.9%、「どう言えばよいのかわからない」が17.4%となっている。

[性別]



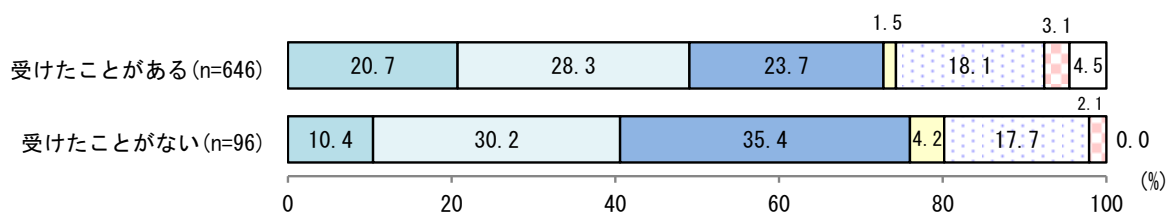
◆性別でみると、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」は女性の25.1%より男性の37.4%のほうが12.3ポイント高くなっている。

[年代別]



◆40歳代は「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」と「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」が同割合となっている。40歳代以外の年代では「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」が最も高い。

[学校での人権教育を受けた経験別（問7）]



※人権教育を受けた経験については、60歳未満の人で集計しています。

- ◆学校での人権教育を受けたことがある人では、「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」の割合が受けたことがない人の10.4%より10.3ポイント高い。

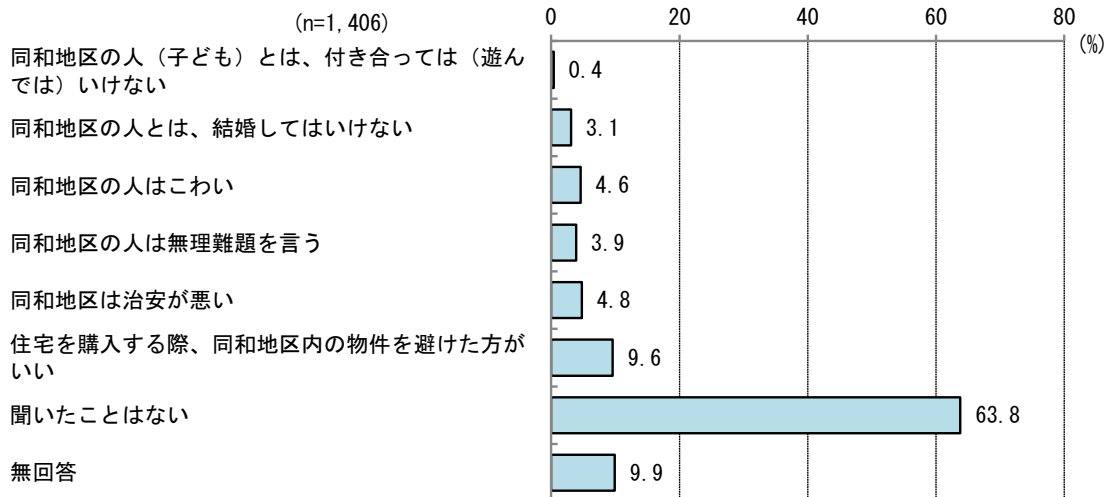
〔問9〕

## 9 同和問題に関する発言を聞いた経験について

### (1) 過去5年間で同和問題に関する発言を聞いた内容

問9 あなたは、ここ5年くらいの間に同和問題に関して、次のような発言を直接聞いたことがありますか。複数ある場合は、強く印象に残っているものを選んでください。  
(○は1つ)

[全体]



◆「聞いたことはない」が63.8%と過半数を占める。何らかの発言を聞いた人は26.4%で、その内容は「住宅を購入する際、同和地区内の物件を避けた方がいい」が9.6%で最も高くなっている。

[性別・年代別]

		N	けても同和地区の人(子ども)とは、遊んでは(遊んでは)付き合っていない	結婚して区役所にはいけない	い同和地区の人はこわい	難同和地区の人は無理難題を言う	い同和地区は治安が悪い	避同住宅を購入する際、同和地区内の物件を	聞いたことはない	(%) 無回答
全体		1,406	0.4	3.1	4.6	3.9	4.8	9.6	63.8	9.9
性別	男性	567	0.5	2.3	4.6	5.1	4.9	8.6	66.3	7.6
	女性	825	0.2	3.8	4.5	3.2	4.6	10.4	62.1	11.3
年代別	20～29歳	126	-	2.4	3.2	-	7.9	6.3	70.6	9.5
	30～39歳	177	0.6	1.1	3.4	3.4	9.6	10.2	61.0	10.7
	40～49歳	237	0.4	4.2	2.5	5.1	6.8	11.8	63.3	5.9
	50～59歳	211	-	1.9	4.7	4.7	2.8	7.6	67.8	10.4
	60～69歳	362	0.6	3.0	5.5	4.7	2.8	12.4	63.5	7.5
	70歳以上	283	0.4	4.6	6.0	3.5	2.8	7.1	60.4	15.2

◆性別で見ると、「聞いたことはない」は女性の62.1%より男性の66.3%のほうが4.2ポイント高くなっている。

◆年代別で見ると、「聞いたことはない」の割合は20歳代が70.6%で最も高く、次いで50歳代が67.8%となっている。

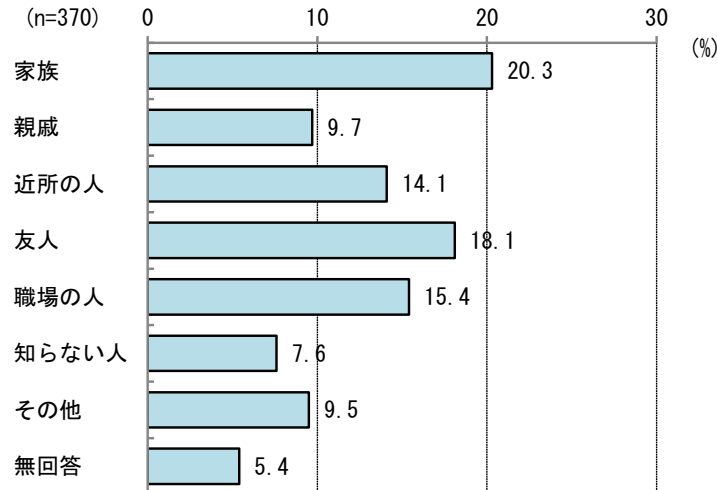


## (2) 同和問題に関する発言をした相手

問9-1～問9-2は、問9で「1」～「6」を選んだ人にお聞きします。

問9-1 それは誰から聞きましたか。主なものを選んでください。(○は1つ)

[全体]



◆「家族」が20.3%で最も高く、次いで「友人」が18.1%、「職場の人」が15.4%となっている。

[性別・年代別]

		N	家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	知らない人	その他	無回答
全 体		370	20.3	9.7	14.1	18.1	15.4	7.6	9.5	5.4
性別	男性	148	16.2	8.8	16.2	16.2	19.6	6.1	11.5	5.4
	女性	220	23.2	10.5	12.7	19.5	11.8	8.6	8.2	5.5
年代別	20～29歳	25	48.0	8.0	8.0	20.0	-	12.0	-	4.0
	30～39歳	50	32.0	4.0	6.0	12.0	16.0	10.0	14.0	6.0
	40～49歳	73	19.2	15.1	5.5	13.7	21.9	5.5	16.4	2.7
	50～59歳	46	23.9	15.2	6.5	21.7	13.0	4.3	6.5	8.7
	60～69歳	105	10.5	8.6	16.2	24.8	19.0	6.7	9.5	4.8
	70歳以上	69	14.5	7.2	33.3	14.5	8.7	10.1	4.3	7.2

◆性別でみると、男性では「職場の人」が19.6%で最も高いが、女性では「家族」が23.2%で最も高くなっている。

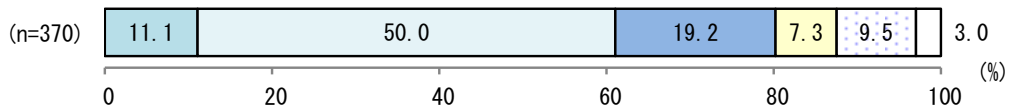
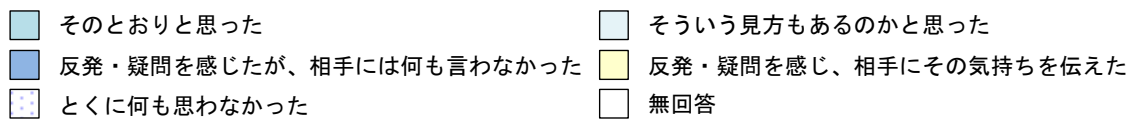
◆年代別では、「家族」の割合は20歳代が48.0%で最も高くなっている。40歳代では「職場の人」が21.9%で最も高く、60歳代では「友人」が24.8%、70歳以上では「近所の人」が33.3%で、それぞれ最も高くなっている。

〔問 9-2〕

(3) 同和地区の人を差別する発言に対し抱いた意識やとった態度

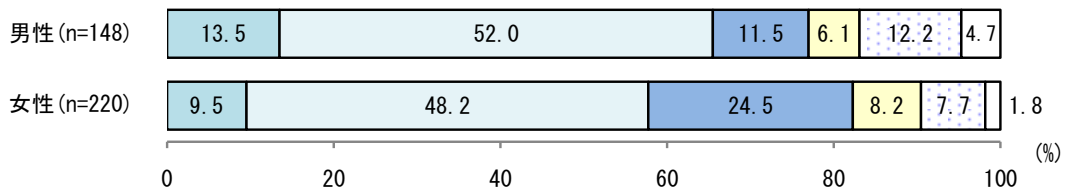
問 9-2 それを聞いたとき、どう感じましたか。また、どうしましたか。(○は1つ)

[全体]



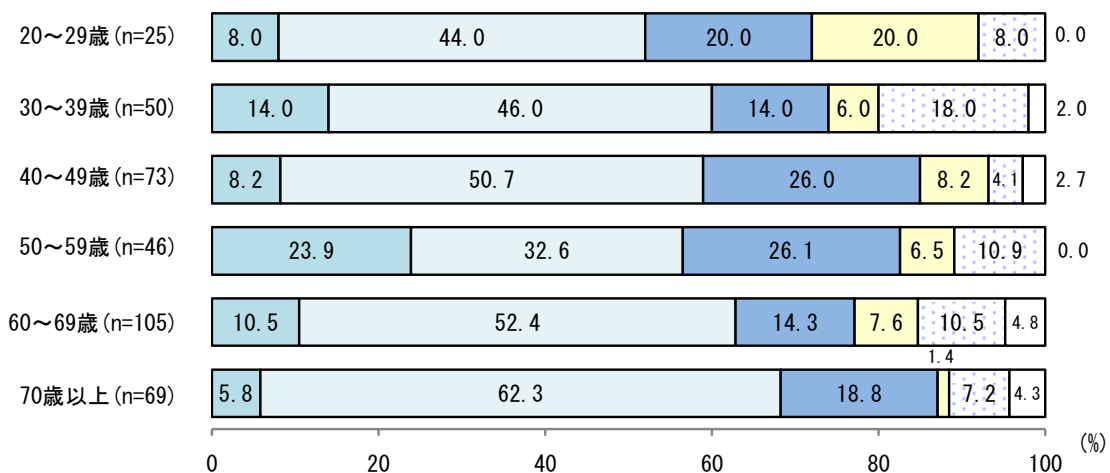
◆「そういう見方もあるのかと思った」が50.0%と最も高く、次いで「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」が19.2%となっている。

[性別]



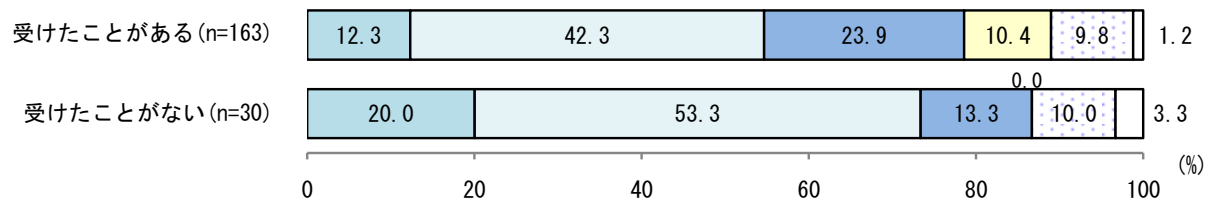
◆性別でみると、「そのとおりと思った」、「そういう見方もあるのかと思った」は女性より男性のほうが高くなっている。

[年代別]



◆年代別でみると、「そういう見方もあるのかと思った」の割合は各年代とも最も高くなっている。「そのとおりと思った」の割合は50歳代が23.9%で最も高い一方で、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」も26.1%と高い。

## 〔学校での人権教育を受けた経験別（問 7）〕



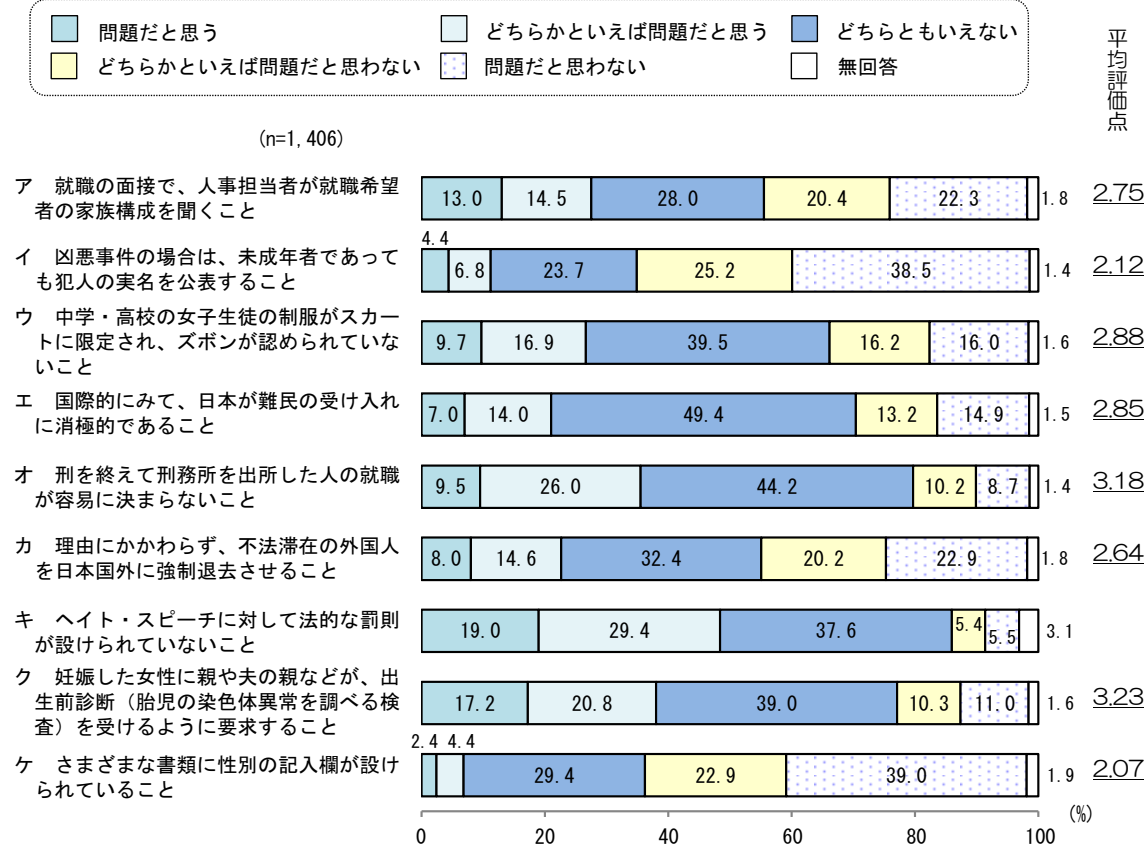
※人権教育を受けた経験については、60歳未満の人で集計しています。

- ◆人権教育を受けた経験のある人では、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」「反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた」の各割合が受けた経験のない人より高くなっている。

## 10 人権の観点から問題のある行為の認識状況について

問10 あなたは、次のようなことは人権の観点から問題があると思いますか。  
ア～ケのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

[全体]



※平均評価点は、以下のように得点化し、算出している。

得点	点数	
	項目 ア、イ、ウ、エ、オ、カ、ク、ケ	
問題だと思う	5点	
どちらかといえば問題だと思う	4点	
どちらともいえない	3点	
どちらかといえば問題だと思わない	2点	
問題だと思わない	1点	

\*キについては、平均評価点を算出していない

◆人権の観点から問題のある行為について、『問題だと思う』の割合（「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」の計）は、“キ ヘイト・スピーチに対して法的な罰則が設けられていないこと”が48.4%で最も高く、次いで“ク 妊娠した女性に親や夫の親などが、出生前診断（胎児の染色体異常を調べる検査）を受けるように要求すること”が38.0%となっている。一方、『問題だと思わない』の割合（「問題だと思わない」と「どちらかといえば問題だと思わない」の計）は、“イ 凶悪事件の場合は、未成年者であっても犯人の実名を公表すること”が63.7%で最も高く、次いで“ケ さまざまな書類に性別の記入欄が設けられていること”が61.9%となっている。

◆平均評価点は、“ク 妊娠した女性に親や夫の親などが、出生前診断（胎児の染色体異常を調べる検査）を受けるように要求すること”が3.23点で最も高く、次いで“オ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないこと”が3.18点となっている。

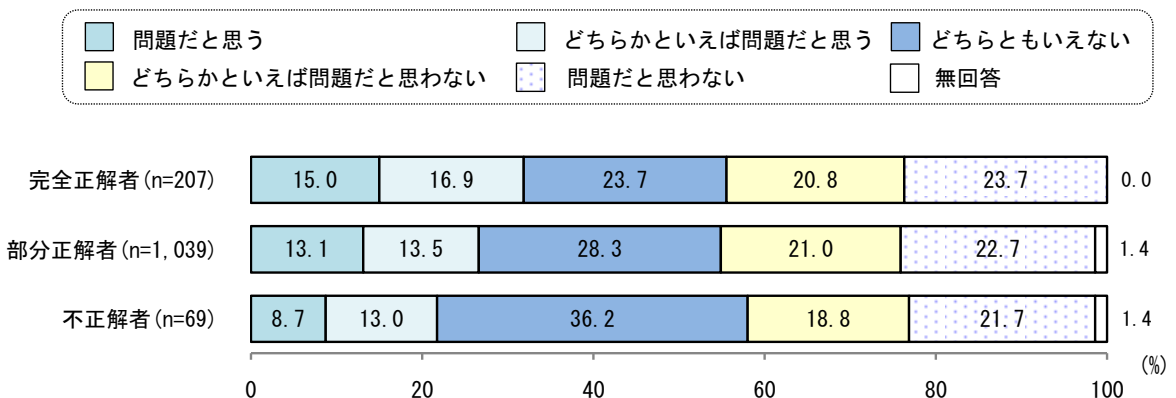
ア 就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族構成を聞くこと

[性別・年代別]

	N	(%)							(点)		
		問題だと思 う	どちらかとい えば問題だ と	どちらともい えない	どちらかとい えば問題だ と 思 わ な い	問題だと思 わ な い	無 回 答	『問題だと思 う』計	『問題だと思 わ な い』計	平均評 価 点	
全 体	1,406	13.0	14.5	28.0	20.4	22.3	1.8	27.5	42.7	2.75	
性別	男性	567	13.9	14.1	24.3	18.7	27.5	1.4	28.0	46.2	2.68
	女性	825	12.5	14.9	30.4	21.5	18.8	1.9	27.4	40.3	2.80
年代別	20～29歳	126	24.6	24.6	28.6	10.3	11.1	0.8	49.2	21.4	3.42
	30～39歳	177	15.8	23.7	20.3	19.2	19.8	1.1	39.5	39.0	2.97
	40～49歳	237	11.0	11.4	31.6	25.7	19.8	0.4	22.4	45.5	2.68
	50～59歳	211	16.1	15.2	26.5	21.3	20.4	0.5	31.3	41.7	2.85
	60～69歳	362	10.5	12.2	29.8	22.9	23.2	1.4	22.7	46.1	2.63
	70歳以上	283	8.8	9.9	27.9	17.3	31.1	4.9	18.7	48.4	2.45

- ◆性別でみると、『問題だと思わない』の割合は、女性の40.3%より男性の46.2%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、20・30歳代では『問題だと思う』の割合が最も高く、40歳以上の年代では『問題だと思わない』の割合が最も高くなっている。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『問題だと思わない』の割合は、完全正解者が44.5%で最も高い。

〔問 10〕

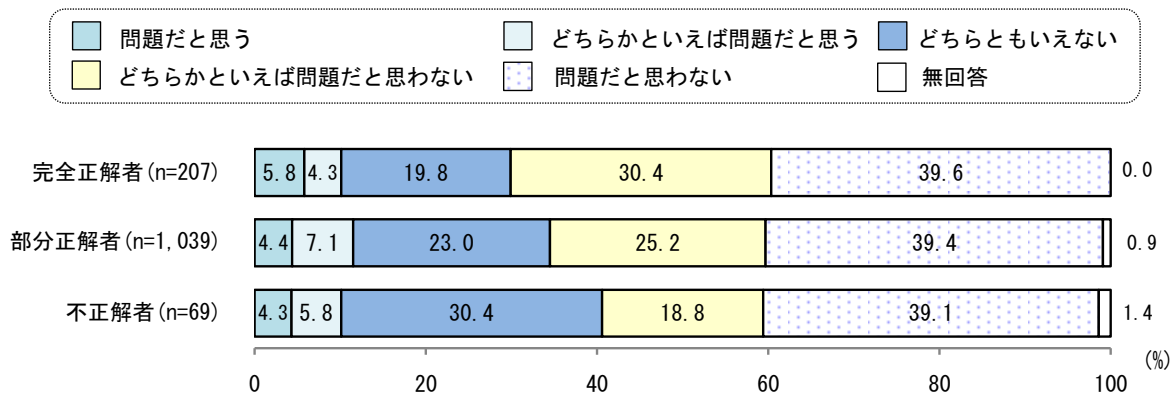
イ 凶悪事件の場合は、未成年者であっても犯人の実名を公表すること

〔性別・年代別〕

		N						(%)		(点)	
			問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば問題だと思わない	問題だと思わない	無回答	『問題だと思う』計	『問題だと思わない』計	平均評価点
全体		1,406	4.4	6.8	23.7	25.2	38.5	1.4	11.2	63.7	2.12
性別	男性	567	5.1	7.2	19.2	25.9	41.4	1.1	12.3	67.3	2.08
	女性	825	4.0	6.5	26.8	24.5	36.8	1.3	10.5	61.3	2.15
年代別	20～29歳	126	3.2	3.2	15.1	30.2	48.4	-	6.4	78.6	1.83
	30～39歳	177	2.8	3.4	15.8	23.7	53.7	0.6	6.2	77.4	1.77
	40～49歳	237	2.5	3.8	18.6	28.7	46.4	-	6.3	75.1	1.87
	50～59歳	211	3.3	7.1	28.0	22.7	38.9	-	10.4	61.6	2.13
	60～69歳	362	4.7	8.6	26.0	26.8	33.1	0.8	13.3	59.9	2.24
	70歳以上	283	8.1	10.6	30.4	20.5	25.4	4.9	18.7	45.9	2.53

- ◆性別で見ると、『問題だと思わない』の割合は、女性の61.3%より男性の67.3%のほうが高い。
- ◆年代別で見ると、『問題だと思わない』の割合は若い年代ほど高くなっている。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



- ◆国民の権利の理解度別で見ると、『問題だと思わない』の割合は、完全正解者が70.0%で最も高い。

## ウ 中学・高校の女子生徒の制服がスカートに限定され、ズボンが認められていないこと

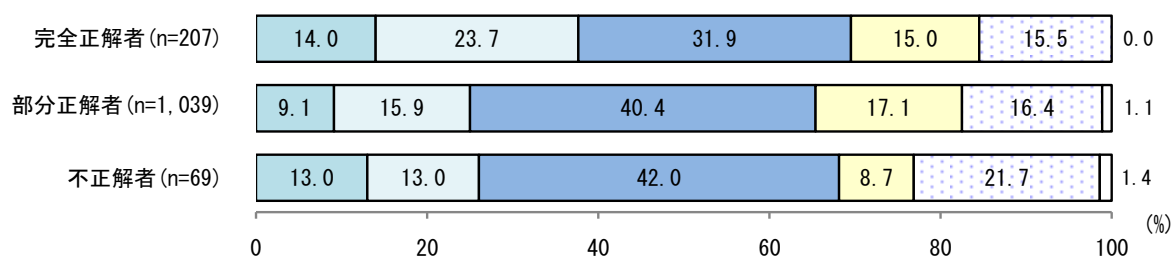
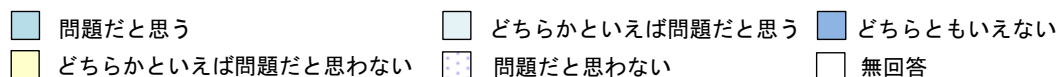
〔性別・年代別〕

		N						(%)	(点)		
			問題だと思 う	ど ち ら か と い え ば 問 題 だ と 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	無 回 答	『問題だと思 う』計	『問題だと思 わない』計	平均評 価点
全 体		1,406	9.7	16.9	39.5	16.2	16.0	1.6	26.6	32.2	2.88
性別	男性	567	10.6	16.6	37.7	13.6	19.9	1.6	27.2	33.5	2.84
	女性	825	9.3	17.2	40.8	18.1	13.2	1.3	26.5	31.3	2.91
年代別	20～29歳	126	11.9	11.9	40.5	14.3	21.4	-	23.8	35.7	2.79
	30～39歳	177	8.5	23.7	31.1	18.6	17.5	0.6	32.2	36.1	2.87
	40～49歳	237	5.5	15.6	38.4	21.1	19.4	-	21.1	40.5	2.67
	50～59歳	211	8.5	15.2	44.5	16.6	14.2	0.9	23.7	30.8	2.87
	60～69歳	362	11.3	18.5	39.2	17.1	12.7	1.1	29.8	29.8	2.99
	70歳以上	283	12.0	15.9	42.0	10.6	14.5	4.9	27.9	25.1	3.00

◆性別でみると、男女とも「どちらともいえない」が最も高くなっている。

◆年代別でみると、30・40歳代では『問題だと思わない』の割合が最も高く、それ以外の年代は「どちらともいえない」が最も高くなっている。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別でみると、『問題だと思』割合は、完全正解者が37.7%で最も高い。

〔問 10〕

工 国際的にみて、日本が難民の受け入れに消極的であること

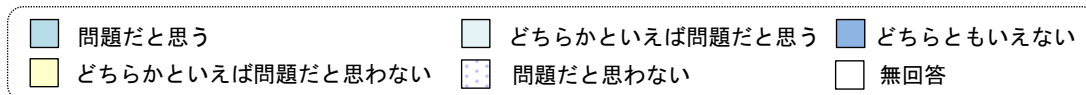
[性別・年代別]

		N	問題だと思わない					無回答	『問題だと思わない』計		平均評価点
			問題だと思おう	どちらかといえば問題だと思おう	どちらともいえない	どちらかといえば問題だと思わない	問題だと思わない		(%)	(点)	
全体		1,406	7.0	14.0	49.4	13.2	14.9	1.5	21.0	28.1	2.85
性別	男性	567	10.9	15.0	40.7	13.2	19.2	0.9	25.9	32.4	2.85
	女性	825	4.4	13.5	55.2	13.3	12.1	1.6	17.9	25.4	2.84
年代別	20～29歳	126	7.9	10.3	49.2	14.3	18.3	-	18.2	32.6	2.75
	30～39歳	177	5.1	15.8	45.8	13.0	19.8	0.6	20.9	32.8	2.73
	40～49歳	237	3.4	10.1	53.2	15.6	17.7	-	13.5	33.3	2.66
	50～59歳	211	6.2	13.3	50.2	15.2	15.2	-	19.5	30.4	2.80
	60～69歳	362	8.3	16.9	50.3	12.7	10.5	1.4	25.2	23.2	3.00
	70歳以上	283	9.5	14.8	46.6	10.6	13.8	4.6	24.3	24.4	2.96

◆性別でみると、男女とも「どちらともいえない」割合が最も高く、男性の40.7%より女性の55.2%のほうが14.5ポイント高くなっている。

◆年代別でみると、「どちらともいえない」割合は、いずれの年代も5割前後を占めている。

[国民の権利の理解度別（問6）]



◆国民の権利の理解度別でみると、「どちらともいえない」割合は、不正解者が58.0%で最も高い。



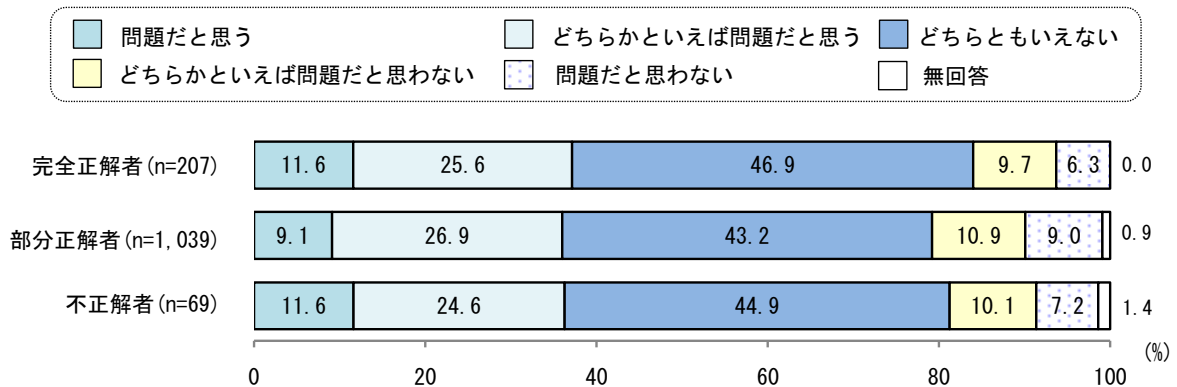
才 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないこと
--------------------------------

[性別・年代別]

		N	(% )					(点)			
			問題だと思 う	ど ち ら か と い え ば 問 題 だ と 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	無 回 答	『問題だと思 う』計	『問題だと思 わ な い』計	平均 評 価 点
全 体		1,406	9.5	26.0	44.2	10.2	8.7	1.4	35.5	18.9	3.18
性別	男性	567	12.3	24.7	39.7	11.8	10.4	1.1	37.0	22.2	3.17
	女性	825	7.8	26.8	47.4	9.2	7.5	1.3	34.6	16.7	3.18
年代別	20～29歳	126	4.0	19.8	42.1	15.1	19.0	-	23.8	34.1	2.75
	30～39歳	177	4.0	18.6	47.5	14.7	14.7	0.6	22.6	29.4	2.82
	40～49歳	237	6.8	23.2	47.3	11.0	11.8	-	30.0	22.8	3.02
	50～59歳	211	9.0	26.5	50.2	8.5	5.7	-	35.5	14.2	3.25
	60～69歳	362	11.6	31.8	43.9	8.6	3.0	1.1	43.4	11.6	3.41
	70歳以上	283	15.5	27.9	36.7	8.5	6.7	4.6	43.4	15.2	3.39

- ◆性別でみると、「どちらともいえない」の割合は、男性の39.7%より女性の47.4%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、60歳代・70歳以上では『問題だと思う』の割合が43.4%で最も高くなっている。

## [国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、「どちらともいえない」の割合は、完全正解者が46.9%で最も高い。

〔問 10〕

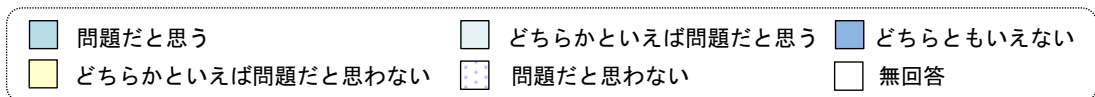
力 理由にかかわらず、不法滞在の外国人を日本国外に強制退去させること

[性別・年代別]

								(%)	(点)		
		N	問題だと思 う	ど ち ら か と い え ば 問 題 だ と 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	無 回 答	『問題だと思 う』計	『問題だと思 わない』計	平均 評 価 点
全 体		1,406	8.0	14.6	32.4	20.2	22.9	1.8	22.6	43.1	2.64
性別	男性	567	9.2	13.9	24.9	20.5	30.3	1.2	23.1	50.8	2.51
	女性	825	7.3	15.3	37.8	19.8	17.9	1.9	22.6	37.7	2.74
年代別	20～29歳	126	9.5	11.9	39.7	17.5	20.6	0.8	21.4	38.1	2.72
	30～39歳	177	5.6	13.0	26.6	23.7	30.5	0.6	18.6	54.2	2.39
	40～49歳	237	4.6	14.3	34.6	20.3	26.2	-	18.9	46.5	2.51
	50～59歳	211	7.1	16.6	37.4	17.1	21.3	0.5	23.7	38.4	2.71
	60～69歳	362	9.9	16.6	30.1	21.0	21.0	1.4	26.5	42.0	2.73
	70歳以上	283	9.9	13.1	30.7	20.5	20.1	5.7	23.0	40.6	2.70

- ◆性別でみると、男性は『問題だと思わない』の割合が50.8%で最も高いが、女性は「どちらともいえない」割合が37.8%で最も高くなっている。
- ◆年代別でみると、20歳代では「どちらともいえない」の割合が39.7%で最も高いが、それ以外の年代では『問題だと思わない』の割合が最も高くなっている。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『問題だと思わない』の割合は、完全正解者の44.0%と部分正解者の44.3%で44%台と高い。

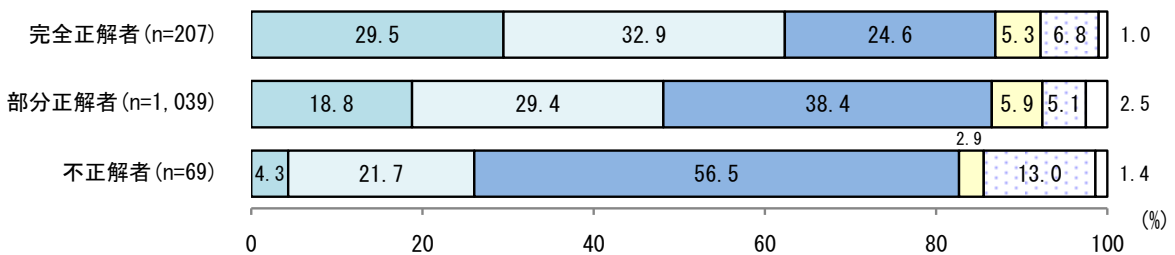
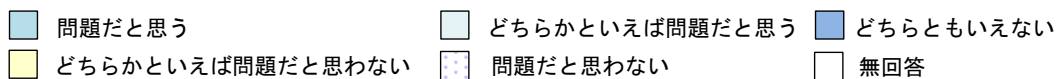
### キ ヘイト・スピーチに対して法的な罰則が設けられていないこと

〔性別・年代別〕

			(%)							
		N	問題だ と思う	どちら かとい えば問 題だと 思う	どち らとも いえ ない	どち らか とい えば 問題 だと 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	無 回 答	『問 題 だ と 思 う』 計	『問 題 だ と 思 わ な い』 計
全 体		1,406	19.0	29.4	37.6	5.4	5.5	3.1	48.4	10.9
性別	男性	567	20.8	28.6	35.6	5.1	7.8	2.1	49.4	12.9
	女性	825	17.9	30.2	39.0	5.5	3.9	3.5	48.1	9.4
年代別	20～29歳	126	14.3	30.2	40.5	4.0	10.3	0.8	44.5	14.3
	30～39歳	177	16.4	36.2	32.2	8.5	6.2	0.6	52.6	14.7
	40～49歳	237	16.9	28.7	45.1	3.8	5.5	-	45.6	9.3
	50～59歳	211	20.9	33.2	37.9	3.8	3.8	0.5	54.1	7.6
	60～69歳	362	23.8	29.3	34.3	5.2	5.0	2.5	53.1	10.2
	70歳以上	283	17.3	23.0	37.5	6.7	4.9	10.6	40.3	11.6

- ◆性別でみると、『問題だと思わない』の割合は、女性の9.4%より男性の12.9%のほうが3.5ポイント高い。
- ◆年代別でみると、『問題だと思う』の割合は、50歳代が54.1%で最も高い。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



- ◆国民の権利の理解度別でみると、『問題だと思う』の割合は、完全正解者が62.4%で最も高い。

〔問 10〕

ク 妊娠した女性に親や夫の親などが、出生前診断（胎児の染色体異常を調べる検査）を受けるように要求すること

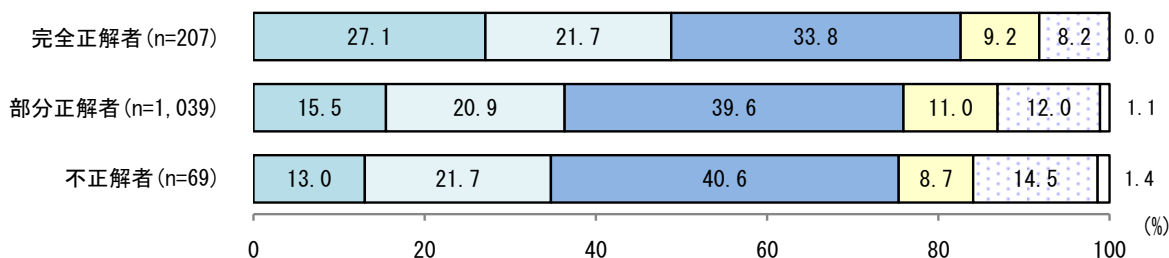
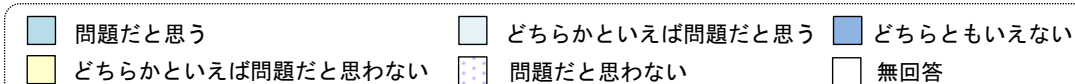
〔性別・年代別〕

	N								(%)	(点)	
		問題だ と思う	どちらか といえば 問題だ と思う	どちら とも いえない	どちら かとい えば 問題だ と思 わない	問題 だと思 わない	無 回答	『問題 だと思 う』計	『問題 だと思 わない』 計	平均 評価 点	
全 体	1,406	17.2	20.8	39.0	10.3	11.0	1.6	38.0	21.3	3.23	
性別	男性	567	14.5	18.2	41.8	10.8	13.8	1.1	32.7	24.6	3.09
	女性	825	19.3	22.8	37.1	9.9	9.2	1.7	42.1	19.1	3.34
年代別	20～29歳	126	14.3	19.0	34.9	15.9	15.9	-	33.3	31.8	3.00
	30～39歳	177	17.5	18.6	40.1	11.9	11.3	0.6	36.1	23.2	3.19
	40～49歳	237	15.2	23.2	37.1	11.0	13.5	-	38.4	24.5	3.16
	50～59歳	211	17.5	18.5	42.2	9.5	12.3	-	36.0	21.8	3.19
	60～69歳	362	20.2	23.2	37.3	9.1	8.6	1.7	43.4	17.7	3.38
	70歳以上	283	16.3	19.8	42.0	8.5	8.5	4.9	36.1	17.0	3.28

◆性別でみると、男性は「どちらともいえない」の割合が41.8%で最も高いが、女性は『問題だと思ふ』の割合が42.1%で最も高くなっている。

◆年代別でみると、40・60歳代では『問題だと思ふ』の割合が最も高くなっている。

〔国民の権利の理解度別（問6）〕



◆国民の権利の理解度別でみると、『問題だと思ふ』の割合は、完全正解者が48.8%で最も高い。

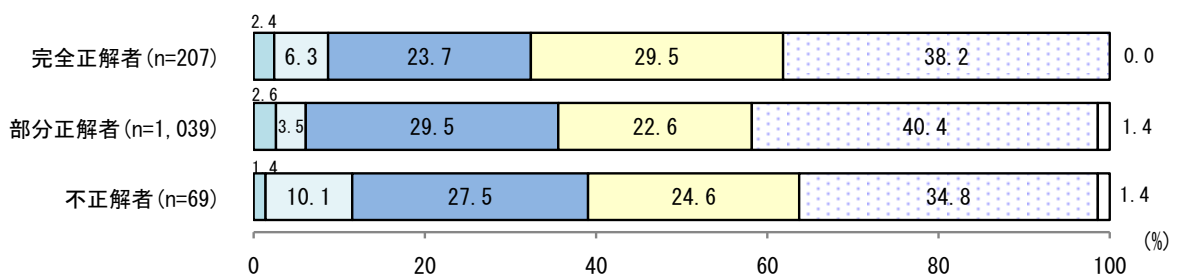
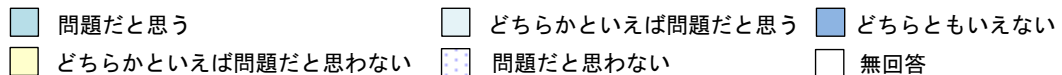
### ケ さまざまな書類に性別の記入欄が設けられていること

[性別・年代別]

								(%)	(点)		
		N	問題だと思 う	どちらかとい えば問題だ と	どちらともい えない	どちらかとい えば問題だ と 思わない	問題だと思 わない	無回 答	『問題だと思 う』計	『問題だと思 わない』計	平均評 価点
全 体		1,406	2.4	4.4	29.4	22.9	39.0	1.9	6.8	61.9	2.07
性別	男性	567	2.8	4.9	25.0	21.2	44.4	1.6	7.7	65.6	1.99
	女性	825	2.2	4.0	32.5	24.1	35.4	1.8	6.2	59.5	2.12
年代別	20～29歳	126	1.6	4.0	30.2	25.4	38.1	0.8	5.6	63.5	2.05
	30～39歳	177	2.3	4.5	29.4	20.3	42.9	0.6	6.8	63.2	2.02
	40～49歳	237	2.5	2.1	28.7	25.3	41.4	-	4.6	66.7	1.99
	50～59歳	211	0.9	5.7	33.2	24.6	35.5	-	6.6	60.1	2.12
	60～69歳	362	2.2	5.8	29.3	24.6	36.7	1.4	8.0	61.3	2.11
	70歳以上	283	4.2	3.9	27.2	17.7	40.6	6.4	8.1	58.3	2.08

- ◆性別で見ると、『問題だと思わない』の割合は、女性の59.5%より男性の65.6%のほうが6.1ポイント高い。
- ◆年代別で見ると、20～60歳代では『問題だと思わない』の割合が6割台を占める。
- ◆平均評価点は、40歳代が1.99点と低くなっている。

[国民の権利の理解度別（問6）]



- ◆国民の権利の理解度別で見ると、『問題だと思わない』の割合は、完全正解者が67.7%で最も高い。

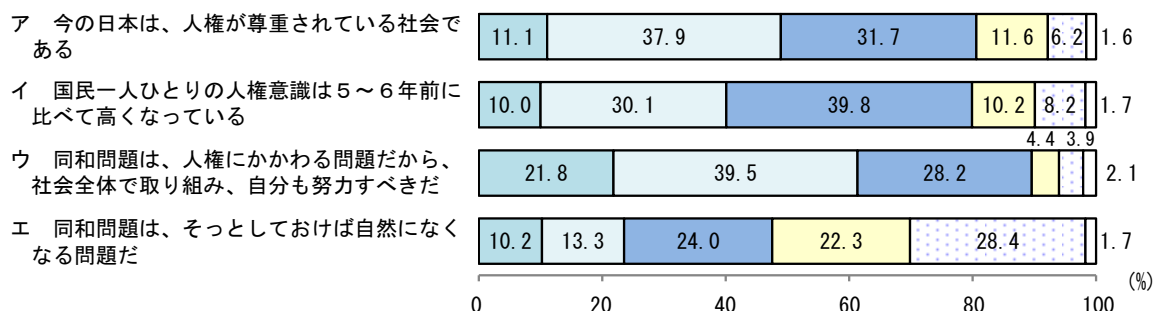
## 11 日本の社会での人権や同和問題に関する意見に対する考えについて

問11 日本の社会での人権や同和問題に関する次のような意見について、あなたはどのように思いますか。ア～エのそれぞれについて選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

[全体]

そう思う
  どちらかといえばそう思う
  どちらともいえない
  どちらかといえばそう思わない
  そう思わない
  無回答

(n=1,406)



◆『そう思う』の割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計)が最も高いのは“ウ 同和問題は、人権にかかわる問題だから、社会全体で取り組み、自分も努力すべきだ”が61.3%となっている。

ア 今の日本は、人権が尊重されている社会である

[性別・年代別]

		N	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』計	『そう思わない』計
全体		1,406	11.1	37.9	31.7	11.6	6.2	1.6	49.0	17.8
性別	男性	567	14.3	41.6	25.9	9.3	7.6	1.2	55.9	16.9
	女性	825	8.5	35.6	35.9	13.2	5.3	1.5	44.1	18.5
年代別	20～29歳	126	5.6	33.3	35.7	12.7	12.7	-	38.9	25.4
	30～39歳	177	2.3	34.5	40.7	16.9	5.6	-	36.8	22.5
	40～49歳	237	6.8	40.1	35.4	11.4	5.9	0.4	46.9	17.3
	50～59歳	211	8.1	40.3	32.7	12.3	6.6	-	48.4	18.9
	60～69歳	362	13.3	38.4	31.5	10.5	5.2	1.1	51.7	15.7
	70歳以上	283	21.6	37.8	21.2	9.2	4.9	5.3	59.4	14.1

◆性別で見ると、『そう思う』の割合は、女性の44.1%より男性の55.9%のほうが高い。  
 ◆年代別で見ると、30歳代では「どちらともいえない」の割合が40.7%で最も高く、『そう思う』の割合は、高齢になるほど高くなっている。

## イ 国民一人ひとりの人権意識は5～6年前に比べて高くなっている

〔性別・年代別〕

		N						(% )		
			そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかわからない	そう思わない	無回答	『そう思う』計	『そう思わない』計
全 体		1,406	10.0	30.1	39.8	10.2	8.2	1.7	40.1	18.4
性別	男性	567	11.8	31.7	36.9	8.8	9.3	1.4	43.5	18.1
	女性	825	8.4	29.0	42.2	11.4	7.4	1.7	37.4	18.8
年代別	20～29歳	126	3.2	27.0	49.2	8.7	11.9	-	30.2	20.6
	30～39歳	177	3.4	20.3	46.9	15.8	13.6	-	23.7	29.4
	40～49歳	237	7.6	30.8	40.1	13.1	8.0	0.4	38.4	21.1
	50～59歳	211	9.0	31.3	41.2	9.5	8.5	0.5	40.3	18.0
	60～69歳	362	13.3	34.0	36.2	10.5	4.7	1.4	47.3	15.2
	70歳以上	283	15.5	31.1	35.0	5.7	7.4	5.3	46.6	13.1

- ◆性別で見ると、『そう思う』の割合は、女性の37.4%より男性の43.5%のほうが高い。
- ◆年代別で見ると、20～50歳代では「どちらともいえない」の割合が最も高く、60歳以上では『そう思う』の割合が最も高くなっている。

## ウ 同和問題は、人権にかかわる問題だから、社会全体で取り組み、自分も努力すべきだ

〔性別・年代別〕

		N						(% )		
			そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかわからない	そう思わない	無回答	『そう思う』計	『そう思わない』計
全 体		1,406	21.8	39.5	28.2	4.4	3.9	2.1	61.3	8.3
性別	男性	567	25.0	37.6	27.2	4.2	4.8	1.2	62.6	9.0
	女性	825	19.5	41.1	29.1	4.5	3.4	2.4	60.6	7.9
年代別	20～29歳	126	17.5	38.9	31.7	6.3	5.6	-	56.4	11.9
	30～39歳	177	15.3	48.0	30.5	4.0	2.3	-	63.3	6.3
	40～49歳	237	18.1	48.5	25.7	4.6	3.0	-	66.6	7.6
	50～59歳	211	19.4	40.3	31.8	3.8	3.3	1.4	59.7	7.1
	60～69歳	362	26.0	36.2	27.6	3.9	4.1	2.2	62.2	8.0
	70歳以上	283	27.6	30.7	25.4	4.9	5.3	6.0	58.3	10.2

- ◆性別で見ると、男女で大きな差はみられない。
- ◆年代別で見ると、『そう思う』の割合は、40歳代が66.6%で最も高くなっている。

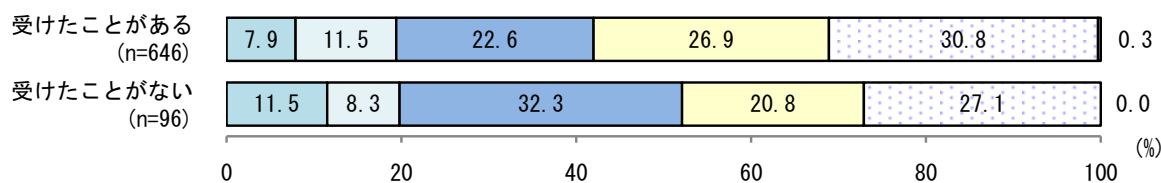
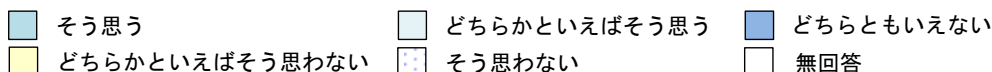
工 同和問題は、そっとしておけば自然になくなる問題だ

〔性別・年代別〕

		N	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえ	そう思わない	無回答	『そう思う』計	『そう思わない』計
全 体		1,406	10.2	13.3	24.0	22.3	28.4	1.7	23.5	50.7
性別	男性	567	11.5	12.0	21.7	21.5	31.9	1.4	23.5	53.4
	女性	825	9.1	14.2	25.8	23.2	26.2	1.6	23.3	49.4
年代別	20～29歳	126	9.5	10.3	22.2	22.2	35.7	-	19.8	57.9
	30～39歳	177	7.9	7.9	24.9	26.0	33.3	-	15.8	59.3
	40～49歳	237	8.4	11.8	24.1	28.3	27.4	-	20.2	55.7
	50～59歳	211	8.1	14.2	23.2	26.1	27.5	0.9	22.3	53.6
	60～69歳	362	11.0	14.9	24.3	22.1	26.2	1.4	25.9	48.3
	70歳以上	283	13.8	16.3	24.7	13.4	26.5	5.3	30.1	39.9

- ◆性別でみると、『そう思わない』の割合は、女性の49.4%より男性の53.4%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、『そう思わない』の割合は、20～50歳代で5割台と高くなっており、『そう思う』の割合は、70歳以上が30.1%で最も高い。

〔学校での人権教育を受けた経験別（問7）〕



※人権教育を受けた経験については、60歳未満の人で集計しています。

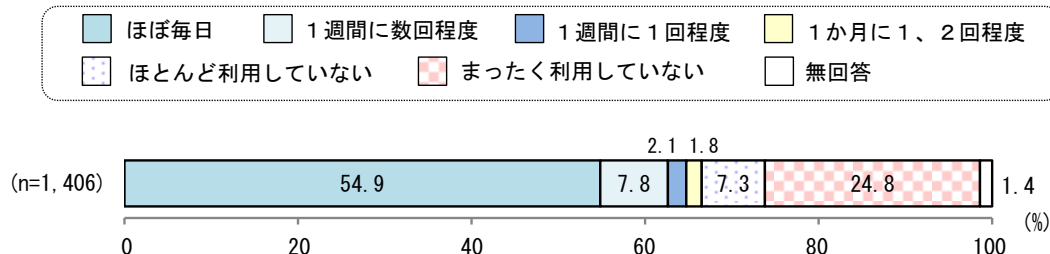
- ◆学校での人権教育を受けた経験別でみると、『そう思わない』の割合は、受けたことがない人の47.9%より受けたことがある人の57.7%のほうが高くなっている。



## 12 日常でのインターネットの利用頻度について

問12 あなたは、日常、仕事・私用を問わず、どのくらいの頻度でホームページの閲覧や電子メールの送受信といったインターネットを利用していますか。(○は1つ)

〔全体〕



◆「ほぼ毎日」の割合が54.9%を占めている。一方、「ほとんど利用していない」は7.3%、「まったく利用していない」は24.8%となっている。

〔性別・年代別〕

		N	ほぼ毎日	1週間に数回程度	1週間に1回程度	1か月に1、2回程度	ほとんど利用していない	まったく利用していない	無回答
全体		1,406	54.9	7.8	2.1	1.8	7.3	24.8	1.4
性別	男性	567	55.4	7.6	1.9	1.8	7.1	25.0	1.2
	女性	825	54.9	8.0	2.3	1.8	7.3	24.6	1.1
年代別	20～29歳	126	96.8	0.8	-	-	0.8	1.6	-
	30～39歳	177	91.5	4.0	0.6	0.6	1.1	2.3	-
	40～49歳	237	82.7	8.4	1.7	0.4	3.8	3.0	-
	50～59歳	211	69.7	11.4	2.4	0.5	6.2	10.0	-
	60～69歳	362	29.6	10.5	3.6	4.7	13.5	37.0	1.1
	70歳以上	283	12.4	6.7	2.5	1.8	9.5	62.5	4.6

◆性別でみると、男女とも「ほぼ毎日」が5割を超えている。

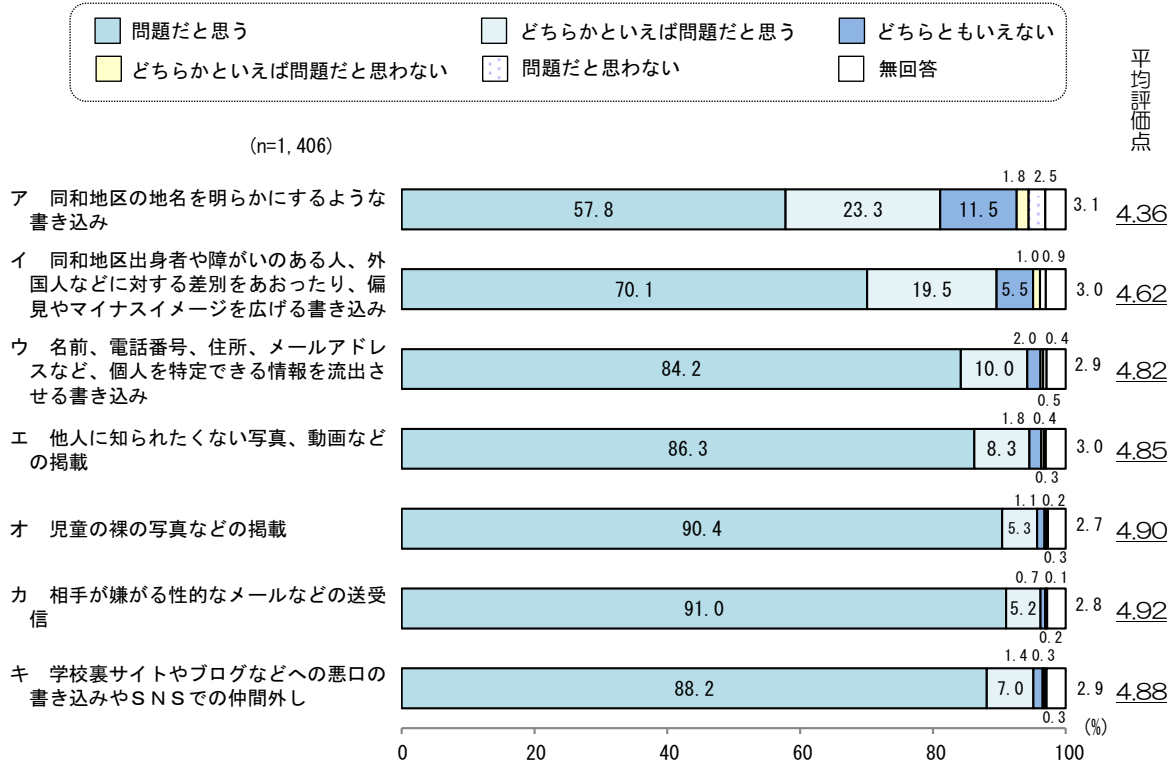
◆年代別でみると、「ほぼ毎日」は若い年代ほど高く、「まったく利用していない」は60歳以上で高くなっている。

〔問 13〕

13 インターネット上の書き込みや行為についての考えについて

問13 携帯やスマホ、パソコンなどのインターネット上で下記のような書き込みや行為についてどう思いますか。ア～キのそれぞれについて選んでください。  
(○はそれぞれ1つ)

[全体]



※平均評価点は、以下のように得点化し、算出している。

得点

	点数
	項目 ア～キ
問題だと思う	5点
どちらかといえば問題だと思う	4点
どちらともいえない	3点
どちらかといえば問題だと思わない	2点
問題だと思わない	1点

- ◆「問題だと思う」の割合は、“ア 同和地区の地名を明らかにするような書き込み”の57.8%、“イ 同和地区出身者や障がいのある人、外国人などに対する差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込み”の70.1%を除く各項目で8割以上を占めている。また、『問題だと思う』の割合（「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」の計）はいずれの項目も8割以上を占めている。
- ◆平均評価点は、“カ 相手が嫌がる性的なメールなどの送受信”が4.92点で最も高く、次いで“オ 児童の裸の写真などの掲載”が4.90点となっている。

ア 同和地区の地名を明らかにするような書き込み

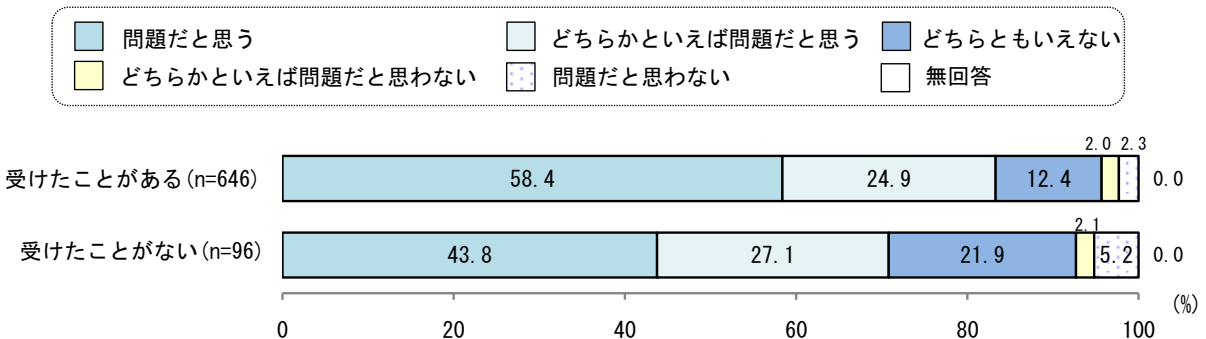
[性別・年代別]

		N								(%)		(点)
			問題だと思 う	えど うば どち らか だ と い い	えど ない ら と も い	えど わば どち らか だ と い い	な い 問 題 だ と 思 わ	無 回 答	『問 題 だ と 思 う』 計	『問 題 だ と 思 わ ない』 計	平均 評 価 点	
全 体		1,406	57.8	23.3	11.5	1.8	2.5	3.1	81.1	4.3	4.36	
性 別	男性	567	58.2	20.8	12.9	1.4	3.9	2.8	79.0	5.3	4.32	
	女性	825	57.9	25.0	10.5	2.1	1.6	2.9	82.9	3.7	4.40	
年 代 別	20～29歳	126	51.6	28.6	13.5	4.0	2.4	-	80.2	6.4	4.23	
	30～39歳	177	46.9	29.4	18.1	1.1	4.5	-	76.3	5.6	4.13	
	40～49歳	237	57.4	23.2	14.3	2.5	2.5	-	80.6	5.0	4.30	
	50～59歳	211	65.9	22.3	8.5	0.9	2.4	-	88.2	3.3	4.48	
	60～69歳	362	62.4	22.1	9.7	1.9	1.9	1.9	84.5	3.8	4.44	
	70歳以上	283	56.9	19.4	8.5	1.1	2.1	12.0	76.3	3.2	4.45	

◆性別でみると、『問題だと思う』の割合は、男性の79.0%より女性の82.9%のほうが高い。

◆年代別でみると、『問題だと思う』の割合は、50歳代が88.2%で最も高くなっている。

[学校での人権教育を受けた経験別（問7）]



※人権教育を受けた経験については、60歳未満の人で集計しています。

◆学校での人権教育を受けた経験別でみると、『問題だと思う』の割合は、経験のない人の70.9%より経験のある人の83.3%のほうが高くなっている。

〔問 13〕

イ 同和地区出身者や障がいのある人、外国人などに対する差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込み

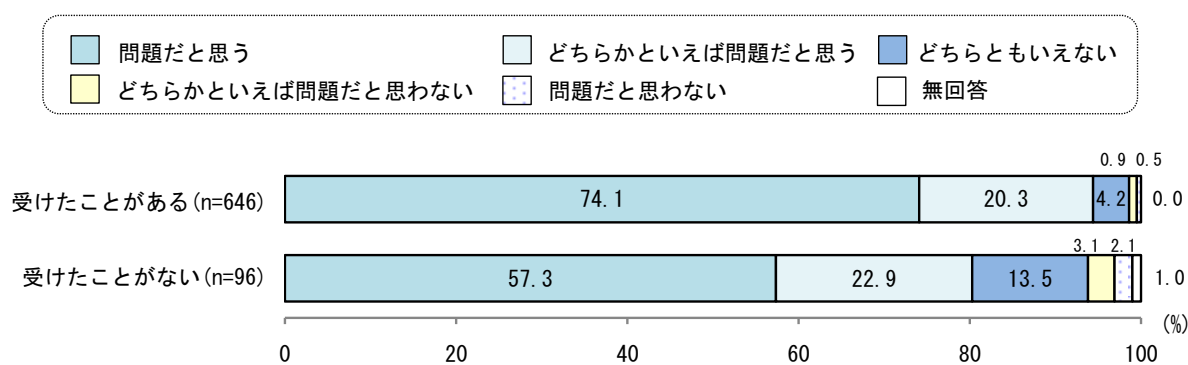
〔性別・年代別〕

	N								(% )		(点)
		問題だ と思う	えど うば ち ら か だ と い	えど ち ら も い	えど わ ば ち ら か だ と い	な 問 い だ と 思 わ	無 回 答	『問 題 だ と 思 う 』 計	『問 わ な い 』 計	平 均 評 価 点	
全 体	1,406	70.1	19.5	5.5	1.0	0.9	3.0	89.6	1.9	4.62	
性 別	男性	567	69.5	17.5	7.2	1.4	1.8	2.6	87.0	3.2	4.56
	女性	825	70.8	21.0	4.4	0.6	0.4	2.9	91.8	1.0	4.66
年 代 別	20～29歳	126	66.7	23.0	6.3	4.0	-	-	89.7	4.0	4.52
	30～39歳	177	69.5	19.8	7.9	1.1	1.7	-	89.3	2.8	4.54
	40～49歳	237	72.6	20.7	6.3	-	0.4	-	93.3	0.4	4.65
	50～59歳	211	75.8	19.9	2.4	0.9	0.5	0.5	95.7	1.4	4.70
	60～69歳	362	70.2	19.6	6.4	0.8	1.1	1.9	89.8	1.9	4.60
	70歳以上	283	66.8	15.9	4.6	0.4	1.4	11.0	82.7	1.8	4.64

◆性別でみると、『問題だと思う』の割合は、男性の87.0%より女性の91.8%のほうが高い。

◆年代別でみると、『問題だと思う』の割合は、40・50歳代で9割台と高い。

〔学校での人権教育を受けた経験別（問7）〕



※人権教育を受けた経験については、60歳未満の人で集計しています。

◆学校での人権教育を受けた経験別でみると、『問題だと思う』の割合は、経験のない人の80.2%より経験のある人の94.4%のほうが高くなっている。

ウ 名前、電話番号、住所、メールアドレスなど、個人を特定できる情報を流出させる書き込み

〔性別・年代別〕

	N								(%)		(点)
		問題だと思 う	えど うば ち ら か だ と い	えど ない ら と も い	えど わ な い ら か だ と い	えど わ な い ら か だ と い	な い 問 題 だ と 思 わ	無 回 答	思 『 問 題 だ と 計	思 『 わ な い 』 と 計	平 均 評 価 点
全 体	1,406	84.2	10.0	2.0	0.4	0.5	2.9	94.2	0.9	4.82	
性 別	男性	567	82.2	10.2	3.4	0.7	0.9	2.6	92.4	1.6	4.77
	女性	825	86.2	9.7	1.1	0.2	0.1	2.7	95.9	0.3	4.87
年 代 別	20～29歳	126	86.5	11.1	2.4	-	-	-	97.6	-	4.84
	30～39歳	177	92.7	6.8	-	0.6	-	-	99.5	0.6	4.92
	40～49歳	237	89.5	7.6	2.5	-	0.4	-	97.1	0.4	4.86
	50～59歳	211	88.2	10.0	0.9	-	-	0.9	98.2	-	4.88
	60～69歳	362	83.7	10.8	3.0	0.3	0.8	1.4	94.5	1.1	4.79
	70歳以上	283	72.8	12.0	2.1	1.4	0.7	11.0	84.8	2.1	4.74

◆性別で見ると、『問題だと思う』の割合は、男性の92.4%より女性の95.9%のほうが高い。

◆年代別で見ると、『問題だと思う』の割合は、30歳代が99.5%で最も高くなっている。

エ 他人に知られたくない写真、動画などの掲載

〔性別・年代別〕

	N								(%)		(点)
		問題だと思 う	えど うば ち ら か だ と い	えど ない ら と も い	えど わ な い ら か だ と い	えど わ な い ら か だ と い	な い 問 題 だ と 思 わ	無 回 答	思 『 問 題 だ と 計	思 『 わ な い 』 と 計	平 均 評 価 点
全 体	1,406	86.3	8.3	1.8	0.4	0.3	3.0	94.6	0.7	4.85	
性 別	男性	567	84.1	8.8	3.0	0.7	0.5	2.8	92.9	1.2	4.80
	女性	825	88.4	7.6	1.1	0.1	0.1	2.7	96.0	0.2	4.89
年 代 別	20～29歳	126	83.3	11.1	4.0	1.6	-	-	94.4	1.6	4.76
	30～39歳	177	91.5	7.9	0.6	-	-	-	99.4	-	4.91
	40～49歳	237	91.1	6.3	2.1	-	0.4	-	97.4	0.4	4.88
	50～59歳	211	90.5	7.1	1.9	0.5	-	-	97.6	0.5	4.88
	60～69歳	362	87.8	7.7	2.2	0.3	0.3	1.7	95.5	0.6	4.86
	70歳以上	283	76.3	9.9	1.1	0.4	0.7	11.7	86.2	1.1	4.82

◆性別で見ると、『問題だと思う』の割合は、男性の92.9%より女性の96.0%のほうが高い。

◆年代別で見ると、『問題だと思う』の割合は、30歳代が99.4%で最も高くなっている。

〔問 13〕

才 児童の裸の写真などの掲載

〔性別・年代別〕

		N								(%)	(点)
			問題だ と思う	えど うば ち ら か だ と い	えど ない ら と も い	えど わば ち ら か だ と い	な い 問 題 だ と 思 わ	無 回 答	思 『 う 』 計 だ と	思 『 わ な い 』 計 だ と	平 均 評 価 点
全 体		1,406	90.4	5.3	1.1	0.2	0.3	2.7	95.7	0.5	4.90
性 別	男性	567	88.4	6.3	1.8	0.5	0.7	2.3	94.7	1.2	4.85
	女性	825	92.5	4.5	0.6	-	-	2.4	97.0	-	4.94
年 代 別	20～29歳	126	87.3	10.3	1.6	-	0.8	-	97.6	0.8	4.83
	30～39歳	177	92.7	3.4	2.8	1.1	-	-	96.1	1.1	4.88
	40～49歳	237	93.7	5.1	0.8	-	0.4	-	98.8	0.4	4.92
	50～59歳	211	93.8	5.2	0.5	-	0.5	-	99.0	0.5	4.92
	60～69歳	362	93.4	3.9	0.8	-	0.3	1.7	97.3	0.3	4.93
	70歳以上	283	82.7	6.4	0.7	0.4	-	9.9	89.1	0.4	4.90

◆性別でみると、『問題だと思う』の割合は、男性の94.7%より女性の97.0%のほうが高い。

◆年代別でみると、『問題だと思う』の割合は、70歳以上が89.1%で最も低くなっている。

力 相手が嫌がる性的なメールなどの送受信

〔性別・年代別〕

		N								(%)	(点)
			問題だ と思う	えど うば ち ら か だ と い	えど ない ら と も い	えど わば ち ら か だ と い	な い 問 題 だ と 思 わ	無 回 答	思 『 う 』 計 だ と	思 『 わ な い 』 計 だ と	平 均 評 価 点
全 体		1,406	91.0	5.2	0.7	0.1	0.2	2.8	96.2	0.3	4.92
性 別	男性	567	89.4	6.0	1.4	0.2	0.5	2.5	95.4	0.7	4.88
	女性	825	92.6	4.6	0.2	-	-	2.5	97.2	-	4.95
年 代 別	20～29歳	126	88.1	10.3	1.6	-	-	-	98.4	-	4.87
	30～39歳	177	95.5	3.4	0.6	-	0.6	-	98.9	0.6	4.93
	40～49歳	237	93.7	5.1	0.8	-	0.4	-	98.8	0.4	4.92
	50～59歳	211	95.3	4.3	0.5	-	-	-	99.6	-	4.95
	60～69歳	362	93.1	4.1	0.8	-	0.3	1.7	97.2	0.3	4.93
	70歳以上	283	82.3	6.4	0.4	0.4	-	10.6	88.7	0.4	4.91

◆性別でみると、『問題だと思う』の割合は、男女で大きな差はみられない。

◆年代別でみると、『問題だと思う』の割合は、70歳以上が88.7%で最も低くなっている。

キ 学校裏サイトやブログなどへの悪口の書き込みやSNSでの仲間外し
-----------------------------------

〔性別・年代別〕

	N								(%)	(点)	
		問題だと思 う	えど ち ら か だ と い 思 え ど ち ら か だ と い	えど ち ら と も い え ど ち ら と も い	えど ち ら か だ と い 思 え ど ち ら か だ と い	えど ち ら か だ と い 思 え ど ち ら か だ と い	な い 問 題 だ と 思 わ ない	無 回 答	思 『 問 題 だ と 思 う 』 計	思 『 問 題 だ と 思 わ ない 』 計	平 均 評 価 点
全 体	1,406	88.2	7.0	1.4	0.3	0.3	2.9	95.2	0.6	4.88	
性 別	男性	567	85.2	8.5	2.6	0.4	0.7	2.6	93.7	1.1	4.82
	女性	825	90.9	5.8	0.5	0.1	-	2.7	96.7	0.1	4.93
年 代 別	20～29歳	126	84.1	11.1	2.4	2.4	-	-	95.2	2.4	4.77
	30～39歳	177	92.7	5.6	1.1	-	0.6	-	98.3	0.6	4.90
	40～49歳	237	92.4	5.5	1.7	-	0.4	-	97.9	0.4	4.89
	50～59歳	211	91.9	7.6	0.5	-	-	-	99.5	-	4.91
	60～69歳	362	92.0	4.7	1.4	-	0.3	1.7	96.7	0.3	4.91
	70歳以上	283	77.4	9.5	1.4	-	0.4	11.3	86.9	0.4	4.84

- ◆性別でみると、『問題だと思う』の割合は、男性の93.7%より女性の96.7%のほうが高い。
- ◆年代別でみると、『問題だと思う』の割合は、70歳以上が86.9%で最も低くなっている。

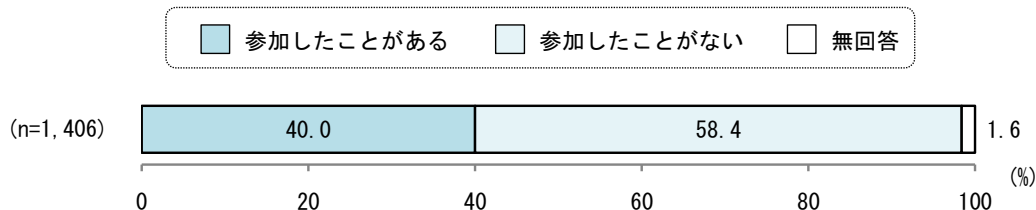
〔問 14〕

## 14 人権問題に関する講演会や研修会の参加について

### (1) 人権問題に関する講演会や研修会などの参加有無

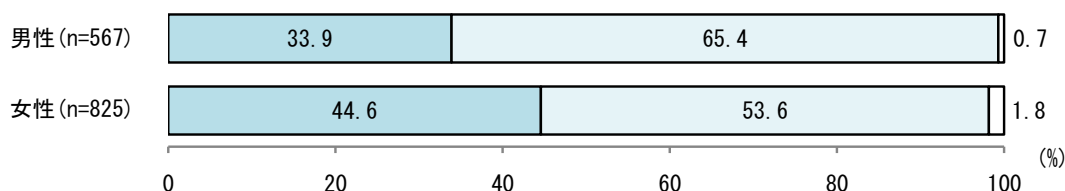
問14 さまざまな人権問題に関する市民の理解を深めるため、市（教育委員会を含む）や団体などが主催している講演会、研修会などに、あなたは参加したことがありますか。  
(○は1つ)

〔全体〕



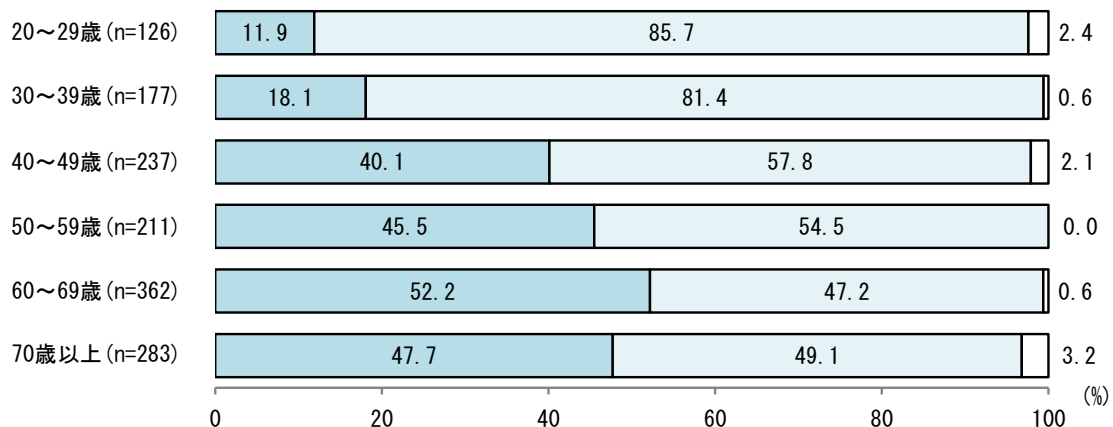
◆「参加したことがある」が40.0%に対し、「参加したことがない」が58.4%となっている。

〔性別〕



◆性別で見ると、「参加したことがある」は男性の33.9%より女性の44.6%のほうが10.7ポイント高くなっている。

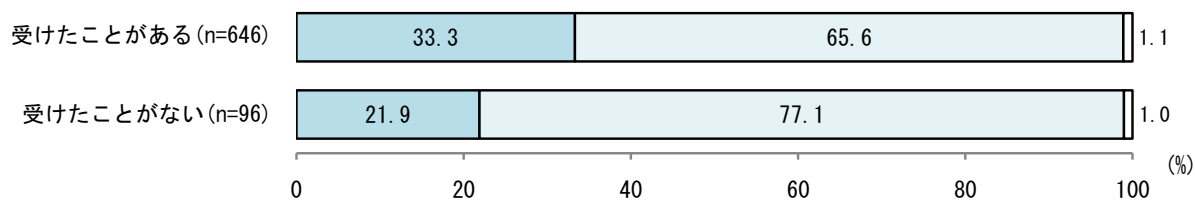
〔年代別〕



◆年代別で見ると、「参加したことがある」は40歳以上の各年代で4割以上を占めているが、これに対し、20・30歳代の「参加したことがある」の割合は10%台と低くなっている。



## 〔学校での人権教育を受けた経験別（問 7）〕



※人権教育を受けた経験については、60歳未満の人で集計しています。

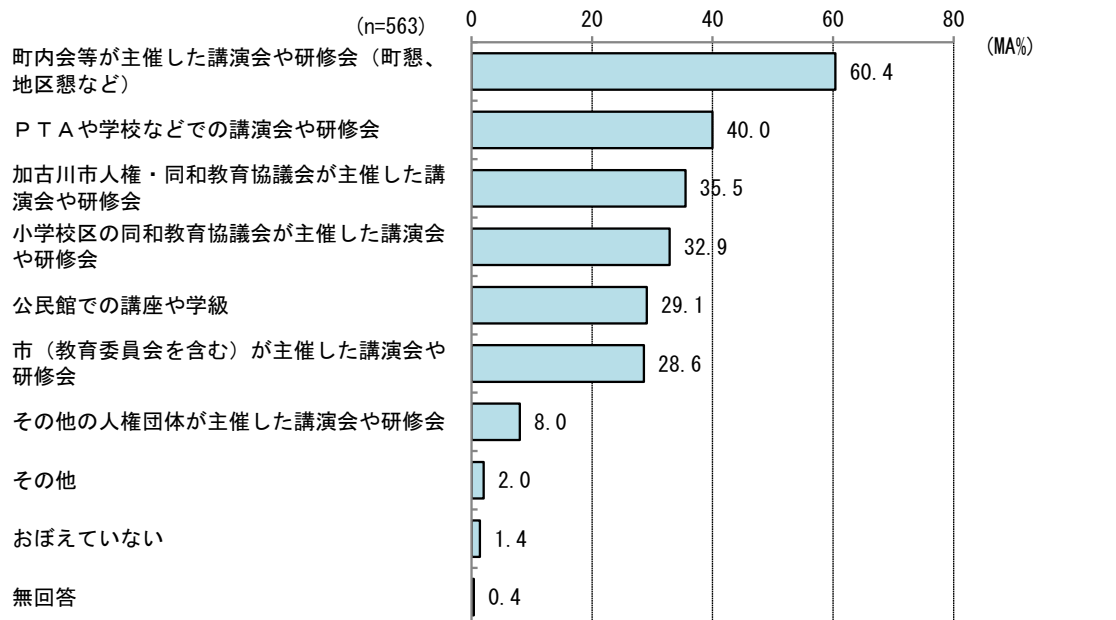
- ◆学校での人権教育を受けた経験別でみると、人権教育を受けたことがある人では「参加したことがある」が33.3%で、受けたことがない人の21.9%より11.4ポイント高くなっている。

〔問 14-1〕

(2) 参加経験のある講演会や研修会などの種類

問14-1 問14で「1 参加したことがある」と回答された人にお聞きします。  
それはどのような種類のものでしたか。(〇はいくつでも)

[全体]



◆「町内会等が主催した講演会や研修会 (町懇、地区懇など)」が60.4%で最も高く、次いで「PTAや学校などでの講演会や研修会」が40.0%、「加古川市人権・同和教育協議会が主催した講演会や研修会」が35.5%となっている。

[性別・年代別]

		N	町内会等が主催した講演会や研修会 (町懇、地区懇など)	PTAや学校などでの講演会や研修会	加古川市人権・同和教育協議会が主催した講演会や研修会	小学校区の同和教育協議会が主催した講演会や研修会	公民館での講座や学級	市(教育委員会を含む)が主催した講演会や研修会	その他の人権団体が主催した講演会や研修会	その他	おぼえていない	無回答
全体		563	60.4	40.0	35.5	32.9	29.1	28.6	8.0	2.0	1.4	0.4
性別	男性	192	59.4	19.8	40.6	23.4	28.6	34.9	14.1	2.6	2.6	-
	女性	368	61.1	50.8	33.2	37.8	29.3	25.3	4.9	1.6	0.8	0.5
年代別	20~29歳	15	13.3	33.3	20.0	-	6.7	40.0	13.3	6.7	-	-
	30~39歳	32	43.8	46.9	28.1	28.1	28.1	31.3	9.4	6.3	3.1	-
	40~49歳	95	46.3	54.7	31.6	42.1	23.2	27.4	6.3	-	1.1	-
	50~59歳	96	53.1	53.1	32.3	27.1	25.0	28.1	6.3	3.1	1.0	-
	60~69歳	189	67.7	36.0	40.7	33.9	26.5	30.7	9.5	1.6	1.6	0.5
	70歳以上	135	74.1	25.2	37.0	34.1	42.2	25.2	7.4	1.5	1.5	0.7

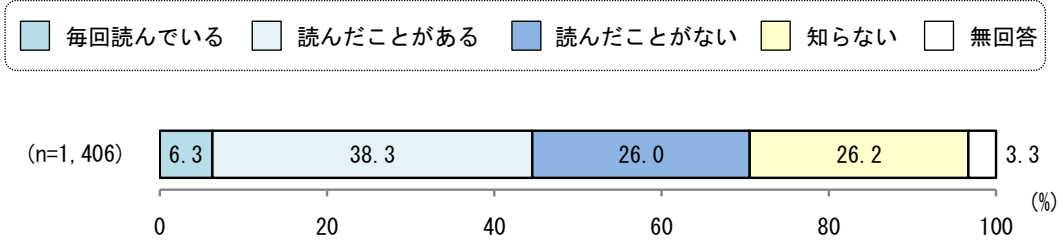
◆性別で見ると、「町内会等が主催した講演会や研修会 (町懇、地区懇など)」や「PTAや学校などでの講演会や研修会」、「小学校区の同和教育協議会が主催した講演会や研修会」、「公民館での講座や学級」の割合は男性より女性のほうが高くなっている。

◆年代別で見ると、30~50歳代では「PTAや学校などでの講演会や研修会」が最も高く、50歳以上では「町内会等が主催した講演会や研修会 (町懇、地区懇など)」が最も高くなっている。

## 15 「加古川市人権文化センターだより」について

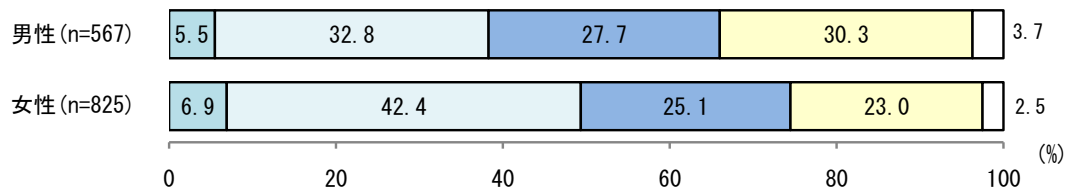
問15 あなたは、加古川市で年4回発行している「加古川市人権文化センターだより」を読んでいますか。(○は1つ)

〔全体〕



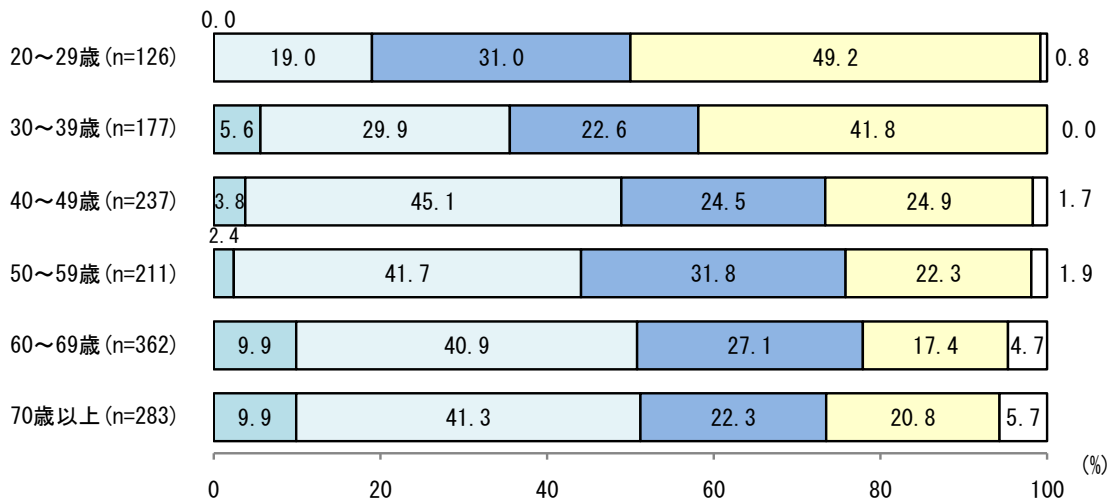
◆「毎回読んでいる」は6.3%で、「読んだことがある」の38.3%を合わせた割合は44.6%となっている。

〔性別〕



◆性別でみると、「読んだことがある」の割合は男性の32.8%より女性の42.4%のほうが9.6ポイント高く、「知らない」は女性の23.0%より男性の30.3%のほうが7.3ポイント高くなっている。

〔年代別〕



◆年代別でみると、「毎回読んでいる」割合は60歳以上で高く、「読んだことがある」を合わせた割合は40歳以上で5割前後を占めている。

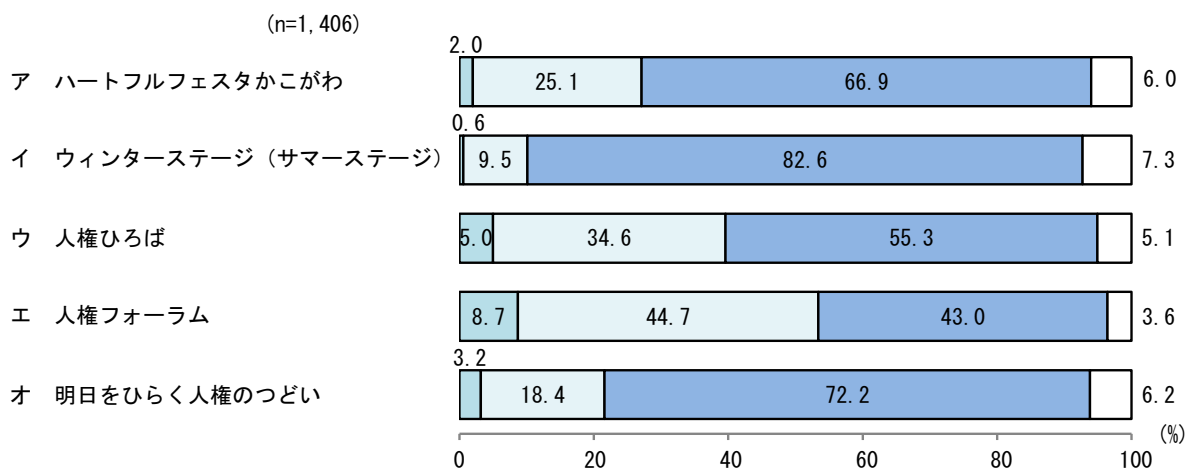
〔問16〕

16 加古川市及び各団体が実施している取り組みについて

問16 加古川市及び各団体が実施している取り組みについて知っていますか。  
ア～オのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

[全体]

内容も含めおおむね知っている
  名前は聞いたことがある
  知らない
  無回答



◆「内容も含めおおむね知っている」の割合は、「エ 人権フォーラム」が8.7%で最も高く、「名前は聞いたことがある」も「エ 人権フォーラム」が44.7%で最も高くなっている。一方、「知らない」割合は、「イ ウィンターステージ (サマーステージ)」が82.6%で最も高くなっている。

ア ハートフルフェスタかこがわ

[性別・年代別]

		N	知 内 つ 容 も 含 め お お む ね	あ る 名 前 は 聞 い た こ と が	知 ら な い	無 回 答
全 体		1,406	2.0	25.1	66.9	6.0
性 別	男性	567	1.1	21.3	73.4	4.2
	女性	825	2.7	27.8	63.0	6.5
年 代 別	20～29歳	126	-	12.7	84.9	2.4
	30～39歳	177	1.1	22.6	75.7	0.6
	40～49歳	237	3.4	25.7	68.8	2.1
	50～59歳	211	0.9	24.6	72.0	2.4
	60～69歳	362	3.0	31.5	61.0	4.4
	70歳以上	283	1.8	24.0	56.9	17.3

◆性別で見ると、「知らない」割合は、女性の63.0%より男性の73.4%のほうが高い。

◆年代別で見ると、「知らない」割合は、20歳代が84.9%で最も高くなっている。

### イ ウィンターステージ（サマーステージ）

〔性別・年代別〕

		N	知 内 つ つ も 含 め お お む ね	あ る 名 前 は 聞 い た こ と が	知 ら な い	(%) 無 回 答
全 体						1,406
性 別	男性	567	0.5	9.7	84.7	5.1
	女性	825	0.7	9.6	81.9	7.8
年 代 別	20～29歳	126	-	4.8	93.7	1.6
	30～39歳	177	-	5.6	93.2	1.1
	40～49歳	237	0.4	9.7	87.3	2.5
	50～59歳	211	0.5	9.0	86.7	3.8
	60～69歳	362	1.7	14.4	77.3	6.6
	70歳以上	283	0.4	8.5	72.1	19.1

◆性別でみると、「知らない」割合は、女性の81.9%より男性の84.7%のほうが高い。

◆年代別でみると、「知らない」割合は、20・30歳代で93%台と、若い年代ほど割合が高くなっている。

### ウ 人権ひろば

〔性別・年代別〕

		N	知 内 つ つ も 含 め お お む ね	あ る 名 前 は 聞 い た こ と が	知 ら な い	(%) 無 回 答
全 体						1,406
性 別	男性	567	4.9	30.2	61.2	3.7
	女性	825	5.1	37.8	51.8	5.3
年 代 別	20～29歳	126	0.8	14.3	83.3	1.6
	30～39歳	177	2.3	25.4	72.3	-
	40～49歳	237	5.9	39.2	53.6	1.3
	50～59歳	211	4.3	35.1	58.8	1.9
	60～69歳	362	6.4	39.8	49.7	4.1
	70歳以上	283	6.7	38.9	39.2	15.2

◆性別でみると、「知らない」割合は、女性の51.8%より男性の61.2%のほうが高い。

◆年代別でみると、「知らない」割合は、20歳代が83.3%で最も高くなっている。

〔問16〕

エ 人権フォーラム

[性別・年代別]

			(%)			
		N	知 つ 容 も い 含 め お お む ね	あ る 名 前 は 聞 い た こ と が	知 ら な い	無 回 答
全 体		1,406	8.7	44.7	43.0	3.6
性 別	男性	567	7.6	37.2	52.2	3.0
	女性	825	9.7	50.1	36.8	3.4
年 代 別	20～29歳	126	4.0	31.7	63.5	0.8
	30～39歳	177	4.5	38.4	57.1	-
	40～49歳	237	9.3	48.9	41.4	0.4
	50～59歳	211	7.1	47.4	44.5	0.9
	60～69歳	362	10.8	51.1	36.2	1.9
	70歳以上	283	12.0	41.0	34.6	12.4

- ◆性別で見ると、男性は「知らない」割合が52.2%で最も高いが、女性は「名前は聞いたことがある」が50.1%で最も高くなっている。
- ◆年代別で見ると、20・30歳代は「知らない」が最も高いが、40歳以上では「名前は聞いたことがある」が最も高くなっている。「内容も含めのおおむね知っている」割合は、70歳以上が12.0%で最も高くなっている。

オ 明日をひらく人権のつどい

[性別・年代別]

			(%)			
		N	知 つ 容 も い 含 め お お む ね	あ る 名 前 は 聞 い た こ と が	知 ら な い	無 回 答
全 体		1,406	3.2	18.4	72.2	6.2
性 別	男性	567	3.4	16.8	75.5	4.4
	女性	825	3.2	19.8	70.5	6.5
年 代 別	20～29歳	126	0.8	12.7	84.1	2.4
	30～39歳	177	2.8	11.9	85.3	-
	40～49歳	237	3.0	16.5	78.5	2.1
	50～59歳	211	2.4	16.1	77.3	4.3
	60～69歳	362	4.4	24.0	67.1	4.4
	70歳以上	283	3.9	21.9	57.2	17.0

- ◆性別で見ると、「知らない」割合は、女性の70.5%より男性の75.5%のほうが高い。
- ◆年代別で見ると、「知らない」割合は、30歳代が85.3%で最も高くなっている。

## 17 自由記述意見について

問19 人権学習や人権啓発のあり方などについてご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

## (1) 自由記述意見の分類

回答者1,406人中254人（18.1%）の記入があり、意見件数は延べ352件となっている。

分類番号	分類項目	件数
1	意識調査に関すること	33
2	女性の人権について	2
3	子どもの人権について	32
4	高齢者の人権について	3
5	障がい者の人権について	7
6	同和問題について	75
7	外国人の人権について	4
8	インターネットに関わる人権侵害について	4
9	労働者の人権について	8
10	プライバシーに係る人権について	2
11	その他さまざまな人権について	10
12	市の人権施策について	18
13	人権や差別問題全般について	72
14	人権教育について	64
15	その他意見	18
合計		352

## (2) 意見内容の概要

## 【1 意識調査に関すること・・・33件】

- ・判断しにくい質問が多々あった（7件）
- ・アンケートで、自己的人権意識を見つめなおすきっかけになった（6件）
- ・質問項目に問題がある（5件）
- ・同和地区を知らない人に意識させてしまうので必要なし（3件）
- ・アンケートをすること自体が人権問題である（2件）
- ・アンケートの結果がどう活用されるのか注目している、公開してほしい（2件）

ほか

〔問 19〕

【2 女性の人権について・・・2件】

- ・働く女性が取り上げられているが、働けない女性のことも考えてほしい（1件）
- ・地域の祭りで女子は神輿に乗ることができない（1件）

【3 子どもの人権について・・・32件】

- ・道徳の時間を増やすべき、内容の充実（4件）
- ・大人が差別をやめないと子どもの手本にならない（2件）
- ・心の広い思いやりのある教育を受けてほしい（2件）
- ・小中学校のしつけのための体罰は少しなら必要（2件）
- ・小中学校での学習を強化する（2件）
- ・人権学習を専門の指導者や優秀な教育者が道徳の時間で教えていくべき（1件）
- ・保育士、教師の研修の充実（1件）
- ・学校でもいじめのない社会になるよう大人が守る世の中にしてほしい（1件）
- ・もっといじめ問題からの犯罪防止に取り組んでほしい（1件）
- ・変に「みんな仲良く」というからストレスがかかる。一人でいられる勇気も必要（1件）
- ・子どもたちに対する人権学習はとても大切で難しい（1件）
- ・中学・高校でもっとリアルな人権教育をしてほしい（1件）

ほか

【4 高齢者の人権について・・・3件】

- ・高齢者には生きにくい世の中である（1件）
- ・高齢になると家の中でも孤独。声かけがほしい（1件）
- ・認知症予防は人権侵害だ（1件）

【5 障がい者の人権について・・・7件】

- ・障がい者への配慮ある世の中になることを願う（1件）
- ・障がい者雇用の促進が不可欠（1件）
- ・障がい者が働きやすい職場をつくってほしい（1件）
- ・市職員の障がい者に対する対応が真剣さに欠ける（1件）
- ・知的障がい者への差別発言を聞いた（1件）
- ・精神に障がいを持っている人は差別的な目で見てしまう（1件）
- ・身体に障がいがあっても人間として認めてほしい（1件）

【6 同和問題について・・・75件】

- ・同和地区を知らない人に対し問題提起する必要はない、寝た子を起こすな（12件）
- ・同和問題を教育しなければ、問題も減るのではないか。知らずに済んだ（12件）
- ・同和地区に対する逆差別をなくす（11件）
- ・同和地区居住者への批判（4件）
- ・なぜいまだに同和問題を取り出されるのか（3件）
- ・部落差別はなくなる（3件）
- ・問題にするのはおかしいが、実際こだわる人は多い（2件）



- ・結婚するときはやはり気になる（2件）
- ・大人になっても同和問題がなくなっていないことに驚いた（2件）
- ・加古川に嫁いできて（引っ越してきて）同和問題を知った（2件）
- ・昔は「あの人は同和地区の人」と聞いたが最近は聞かない（2件）
- ・同和問題について気軽に相談に行ける相談窓口を作ってあげてほしい（1件）
- ・同和問題は大多数の人が関心がない（1件）
- ・同和地区の悪口や人間性を悪く言う人がいまだにいる（1件）
- ・正しい情報を得て後世に伝えていくべき（1件）

ほか

## 【7 外国人の人権について・・・4件】

- ・ヘイトスピーチを憎悪表現だけで判断するのは問題の本質から外れている（1件）
- ・ヘイトスピーチが過激化したら戦争に発展する可能性がある（1件）
- ・外国人に余計な配慮をしていることに立腹している（1件）
- ・ヘイトスピーチ法は日本人に対する差別である（1件）

## 【8 インターネットに関わる人権侵害について・・・4件】

- ・インターネット上の書き込みがひどい（3件）
- ・インターネットやSNS等情報が身近に溢れている現代だからこそ難しい問題である（1件）

## 【9 労働者の人権について・・・8件】

- ・企業に対し、人権教育や採用に対する配慮を強化すべき（1件）
- ・職場の待遇差別や育休が取れないと聞くので、人権に気を付けて就活したい（1件）
- ・珍しい病気であるため就職したくても理解が得られない（1件）
- ・企業が年齢で個人の評価を決めてしまう（1件）
- ・育休・産休を取ると退職金にカウントされないのは性差別だ（1件）
- ・男性が育休を取るといろいろ聞かれる（1件）
- ・男女で時給に差があるのはおかしい（1件）
- ・正社員やパートアルバイトの中堅以上にパワハラ講習をしてほしい（1件）

## 【10 プライバシーに係る人権について・・・2件】

- ・仕事の中で個人情報等の扱いに気を遣わなくてはならない（1件）
- ・個人情報保護、守秘義務はあってないような気がする（1件）

## 【11 その他さまざまな人権について・・・10件】

- ・LGBTを人権問題と考える人はどれだけいるだろう（1件）
- ・ハンセン病は国の誤った施策が原因であり、国は今まで以上に取り組むべき（1件）
- ・事件の被害者や家族を面白おかしく書かれたり放送するのは異常（1件）
- ・未成年の犯罪者は公開されないのに、被害者は情報が明かされるのはひどい（1件）
- ・少年法を撤廃し、年齢制限をなくすべき（1件）
- ・母子家庭で育った子どもがいかに迫害されてきたか（1件）

〔問 19〕

- ・結婚の際、女性の名字を名乗れないと思っている人がいる（1件）

ほか

【12 市の人権施策について・・・18件】

- ・地道な活動が将来へと続く（2件）
- ・同和問題、障がい者差別だけが人権問題ではない（2件）
- ・町内会などでも啓発してほしい、講演会・研修会を行ってほしい（2件）
- ・市の研修会はいつも中途半端で、何十年も同じ（1件）
- ・今の時代に合った人権の考え方、価値、量を考えてほしい（1件）
- ・半年に一度でも人権を扱った冊子を配布してほしい（1件）
- ・市の取り組みとして根気強く取り組んでほしい（1件）
- ・市の職員が表だって取り組んでほしい（1件）
- ・もっと人目に触れるような場所に人権のチラシ等があるといい（1件）

ほか

【13 人権や差別問題全般について・・・72件】

- ・人権の主張をしすぎ（7件）
- ・人としての義務も非常に大切であることを認識することが必要（2件）
- ・差別のない社会をみんなで作っていききたい（2件）
- ・人権問題の幅（種類）が広がっている（2件）
- ・一人ひとりが人権意識を高く持ってほしい（2件）
- ・差別と区別の理解を深めることが大切（2件）
- ・今までどおりでいいと思う（2件）
- ・差別すること自体が問題である（2件）
- ・何事も相手の立場になって考えるようにしている（2件）
- ・自分に関係ない問題と捉えることが問題。当事者意識を持つ（2件）
- ・人権問題は難しい（2件）
- ・人と人との交流が多くなればいい（2件）
- ・相手を気遣い尊重すればもっと平和になる（1件）
- ・世間の風潮に流されず、正しいことを見極められる目を養うことが大切（1件）
- ・人権問題は昔に比べればよくなっている（1件）
- ・海外に比べて男女差別、障がい差別、バリアフリー等遅れている（1件）
- ・子どもが大きくなったときに人権について話せるよう見直したい（1件）
- ・どんな問題も家庭環境が大きい（1件）
- ・最近、他人を無視し、関わらないという風潮が強くなってきている（1件）
- ・年齢が高い人のほうが偏見が多い（1件）
- ・人権問題は指摘されないと気づかないことが多い（1件）
- ・何事も男女平等の考えを当てはめず、特性を生かすべき（1件）
- ・人権問題に関係なく生活することはできない（1件）
- ・若い人や外国人を市に誘致すれば意識が前進するのではないか（1件）
- ・パワハラやセクハラを逆手にとった新たな人権問題も増加している（1件）

- ・押し付けがましいと負担になるので自然に考えられる工夫が必要（1件）

ほか

【14 人権教育について・・・64件】

- ・小さい頃からの人権教育が必要（15件）
- ・大人の人権学習が必要（9件）
- ・同和問題より人権というテーマに切り替えるべき（3件）
- ・継続して学習し、啓発することが大事（3件）
- ・人権教育に強制参加を強いられたが、勉強になった（2件）
- ・講演会や研修会に参加することで考えるきっかけとなる（2件）
- ・研修を行う人が威圧的な態度である（2件）
- ・教育は繰り返し行うべきである（2件）
- ・過去の歴史を学ぶことにより、人権に対するあり方を考えていくことが大切（2件）
- ・道徳教育、人権教育は必ず必要（2件）
- ・人権学習会は暗いイメージなので、楽しいイベントにする（2件）
- ・人権を主張する前に、人権を得る人になる教育が必要（1件）
- ・学校で人権学習をした世代は、理解があり、倫理観があるように思う（1件）
- ・人の尊厳についての教育・啓発が必要（1件）
- ・仕事や育児、家事に追われ、人権学習に参加できない（1件）
- ・学校を卒業すると、人権学習や啓発の機会に触れることがない（1件）
- ・様々な年齢が同時にコミュニケーションが取れる学習方法はないだろうか（1件）
- ・相手を思いやる気持ちが育つ教育があればいい（1件）

ほか

【15 その他意見・・・18件】

# 加古川市人権に関する市民意識調査結果に関する考察

加古川市人権教育啓発推進審議会

会長 石元 清英

## 1. 調査結果からみえてきたこと

今回の人権に関する市民意識調査は、属性、自由記述も含め、19の設問からなるが、それぞれの結果については、設問ごとに図表で示し、コメントを加えたとおりである。ただ、簡単なコメントで終わっている箇所もあるので、ここでは3つの設問を取り上げ、その結果を詳しくみておくことにする。

まず、問4の人権侵害の経験についてである。これは「あなたは、ここ5年くらいの間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか」という問いで、それに対する回答は、「よくある」2.6%、「ときどきある」12.5%と、この5年間に人権侵害を受けたという人が15.1%であった(27ページ)。

そして、人権侵害を受けたと回答した213人に、そのときの対応を尋ねると、「黙って我慢した」(58.7%)が多く、「友人、家族に相談した」(35.7%)がこれに続き、「自分で相手に抗議した」は17.8%となっている。そして、「法務局や人権擁護委員に相談した」(0.9%)、「地域の民生委員・児童委員に相談した」(0.5%)など、公的な機関や相談員に相談したという人は非常に少ない(30ページ)。法務局等の機関がどのような組織で、自分の人権侵害事例についてどのようなことをどこまでしてくれるのか、それがわからなければ、だれも相談に行かないであろう。これらの公的な機関や相談員への相談が少ないのは、それ自体についての情報が乏しいからであり、これらへの相談を増やすには、積極的な情報発信が必要だと思われる。なお、人権侵害に関して「法務局や人権擁護委員」「民生委員・児童委員」への相談が非常に少ないのは、加古川市だけの問題ではなく、全国に共通する傾向である。

つぎに、問9の同和問題に関する発言を聞いた経験についてである。これは、「あなたは、ここ5年くらいの間に同和問題に関して、次のような発言を直接聞いたことがありますか」という設問で、「同和地区の人(子ども)とは、付き合っては(遊んでは)いけない」をはじめ、同和問題に関する差別的な内容を含む発言を直接聞いたことがあるかを問うものである。

「聞いたことはない」63.8%、「無回答」9.9%なので、残りの26.3%の人がここ5年間に同和問題に関する差別的な内容の発言を聞いたという経験を持つことになる(50ページ)。そして、その発言を聞いたとき、どう感じたのかを問うと、「そのとおりと思った」が11.1%、「そういう見方もあるのかと思った」が50.0%で、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」19.2%、「反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた」7.3%という結果であった(52ページ)。相手に自分の気持ちを伝えたかどうかは別にして、差別的な内容の発言に反発や疑問を感じたという人は26.5%にすぎず、「そのとおりと思った」と、一見中立的であるが、差別に同調しかねない反応である「そういう見方もあるのかと思った」を合わせた61.1%を大きく下回っている。

差別的な発言が出たときの状況や文脈、それを聞いた人と発言した人との関係などにより、その発言に反発や疑問を感じたとしても、その気持ちをその場で相手に伝えにくい場合もあろうが、もし、反発や疑問を相手に伝えることができれば、その相手が自分の誤りに気づき、認識を改めることにつながるかもしれない。さらにいえば、同和地区出身であることを周囲に明かしていない人が職場の同

僚にいたとして、その職場で上記のような差別的な内容の発言が出て、他の同僚たちが「そのとおりと思った」と、それを肯定したり、「そういう見方もあるのかと思った」と、その発言に同調したりすると、職場はその同和地区出身者にとって非常に敵対的な環境となってしまおうであろう。そのとき、その発言の間違いを指摘する同僚がいれば、その同和地区出身者は、少しは救われた気持ちになるのではないだろうか。

同和問題については、若い人たちは何も知らないのだから、わざわざ同和問題を教える必要などないとする、いわゆる「寝た子を起こすな」論は、未だ一定程度の割合でみられるが（66ページ）、問9の結果から明らかなように、現在でも同和問題に関する差別的な発言に接する機会は少なくないのである。同和問題について何の知識もなければ、そうした差別的な発言を鵜呑みにしてしまうかもしれない。だからこそ、差別的な発言に接した際に、その誤りに気づき、それを批判できる力をもつ人々を増やしていくことが差別をなくしていくことにつながるのである。このことは、これからの人権教育・啓発の大きな課題であるといえる。

問12では「あなたは、日常、仕事・私用を問わず、どのくらいの頻度でホームページの閲覧や電子メールの送受信といったインターネットを利用していますか」と、インターネットの利用頻度を尋ねているが、「ほぼ毎日」が54.9%で、「まったく利用していない」は24.8%となっている。年齢別では、20歳代、30歳代で「ほぼ毎日」が90%台と、若い年齢層でインターネットの利用頻度が高いことがわかる（67ページ）。

問13は、インターネット上の書き込みや行為をいくつかあげ、それについて問題だと思うかどうかを問うた設問である。これによると、「同和地区出身者や障がいのある人、外国人などに対する差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込み」を「問題だと思う」という回答は70.1%で、「名前、電話番号、住所、メールアドレスなど、個人を特定できる情報を流出させる書き込み」（84.2%）や「他人に知られたくない写真、動画などの掲載」（86.3%）に比べて、問題だと思う人が少ないのである（68ページ）。マイノリティに対する「差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込み」と明記しているにもかかわらず、名前や住所などの個人情報の流出や他人に知られたくない写真、動画の掲載のほうが問題であるとみる人が多いのである。こうした傾向は、年齢の若い人たちで顕著で、20歳代では、「同和地区出身者や障がいのある人、外国人などに対する差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込み」を問題だと思う人は66.7%で、「名前、電話番号、住所、メールアドレスなど、個人を特定できる情報を流出させる書き込み」を問題だと思う人の割合（86.5%）を20ポイントも下回っている。自分に被害が及ぶ可能性のあることに関心があるのは当然であるが、「同和地区出身者や障がいのある人、外国人などに対する差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込み」と、その差別性を明記している行為を問題だと思う人が「名前、電話番号、住所、メールアドレスなど、個人を特定できる情報を流出させる書き込み」などに比べて少ないことは、人権問題や社会のあり方に対する関心が低いことを示しているのかもしれない。とくに、そうした傾向が若い年齢層で顕著であることは、気がかりな点である。

## 2. 年齢別比較からみえてきたこと

これまで各地で実施されてきた人権意識調査では、年齢が若くなるほど、人権意識が高くなるという傾向がみられることが多い。つまり、中高年層よりも若年層のほうが人権意識が高いという傾向である。今回の調査でも、こうした傾向がみられた。たとえば、さまざまな事象について、それが人権

侵害にあてはまると思うかを問うた問2では、“ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること”を人権侵害に「よくあてはまる」と回答したのは、70歳以上では25.1%であったが、その割合は年齢が若くなるほど上昇し、20歳代では46.8%と、若い人ほど人権侵害にあてはまると考える人が増えるという傾向である（6ページ）。

問7にみたように、学校で差別や人権に関する教育を受けた人は60歳未満に多く、60歳以上では少ない（46ページ）。そして、人権教育を受けたという人が教わった内容をみると、40歳以上の各年齢層では同和問題に集中しているが、30歳代から20歳代にかけて、教わった人権課題が多様化してきている（47ページ）。このように、若い年齢層で人権教育を受けた経験をもつ人が多く、年齢が若いほど、多様な人権に関する情報に接する機会が多くなるので、若い年齢層の人権意識が高くなるのである。

しかし、すべての設問にわたって、年齢が若くなるほど人権意識が高くなっているわけではない。さまざまな事象が人権侵害にあたるかどうかを問うた問2や、家族の多様性や新しい家族のあり方などを問うた問5などでは、たしかに若い年齢層での意識は高い傾向にあるが、子どもの人権に関する意見について問うた問3では、平均評価点が高い（子どもの人権についての理解が高い）年齢層は、“ア いじめはいじめを受ける子どもにも問題がある”50歳代、“イ 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない”50歳代、“ウ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ”50歳代、“カ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ”60歳代、“キ 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ”30歳代で、20歳代の平均評価点がとくに高いわけではない（“エ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手にみないほうがよい”と“オ 学校の規則等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない”については、20歳代の平均評価点は高くなっている）。

また、人権の観点から問題のある行為の認識状況を問うた問10でも、20歳代の平均評価点が最も高いのは、“ア 就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族構成を聞くこと”だけで（高校時代に就職活動について指導を受けた記憶が残っているためかもしれない）、その他の項目では中高年齢層の平均評価点のほうが高くなっている。

このように、年齢が若くなるにしたがって、人権意識が高くなるという傾向が認められない項目が少なからずみられたことについては、今回のデータだけではその要因を明らかにすることはできない。若い年齢層のあいだで、いわゆる「自己責任論」が台頭してきていると言われて久しいが、人権侵害の責任を社会にではなく、その当事者個人に求める「自己責任論」という見方が関連しているのかもしれない。

### 3. 人権教育の効果について

学校で差別や人権に関する教育を受けたと回答したのは、69.6%であったが、20～49歳の各年齢層では、それぞれ86%と高くなっているが、60歳代では58.6%、70歳以上では41.3%であった（46ページ）。そのため、人権教育を受けた経験を持つ人と持たない人との回答内容を比較し、そこから人権教育の効果のみようとするなら、1,406人の総数での比較は適切ではない。すなわち、総数1,406人に関して人権教育を受けた経験の有無別に比較を行うと、60歳未満が66.3%を占める人権教育を受けたという人と、60歳以上が74.7%を占める人権教育を受けていない人との比較になり、年齢差による違いのほうが強く出て、人権教育の効果をはかることは、むしろ難しくなってしまう。そのため、

ここでは人権教育を受けたと回答した人が8割台である60歳未満について、人権教育を受けた経験の有無別比較を行った。なお、性別でみると、人権教育を受けたと回答したのは、男性61.9%、女性75.5%と、女性のほうが14ポイントほど高い。学校での人権教育の実施状況に性差があるとは考えられないので、実際は人権教育を受けたのであるが、それをよく覚えていないという人が男性に多いものと考えられる。また、人権教育という科目名の授業があるわけではないので、何を人権教育と考えるのか、個人によってその見方に差があるかもしれない。

60歳未満について、人権教育を受けたことがあると回答した646人と、人権教育を受けたことがないと回答した96人を比較すると、人権教育を受けたことがある人のほうが「人権を身近に感じている」という回答が多く（4ページ）、同和地区出身者との結婚について相談を受けた場合の対応でも、「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」が多く（49ページ）、インターネット上の「同和地区の地名を明らかにするような書き込み」や「同和地区出身者や障がいのある人、外国人などに対する差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込み」を「問題だと思う」という回答が多い（69、70ページ）。このように、学校で人権教育を受けたという人ほど、人権意識が高いという傾向が認められる。そのことは、問2の結果を人権教育を受けた経験の有無別に示した表1でも同様である。

表1によると、“エ 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が低くなること”と“カ 家族が寝たきりの高齢者の希望に反して施設に入所させること”を除く11の項目で、「よくあてはまる」の割合が人権教育を受けた経験のある人のほうで高くなっている。このように、人権教育を受けた経験を持つ（受けたことを記憶している）人ほど、人権意識が高いという傾向が認められるのであり、その意味では学校の人権教育はそれなりの効果をあげているといえる。

表1 人権教育を受けた経験の有無別人権侵害の認識状況（60歳未満） (%)

	人権教育の有無	n	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりはまらない	あまってはまらない	無回答
ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給与や昇進で低い評価を受けること	ある ない	646 96	41.8 30.2	35.0 32.3	16.1 22.9	4.5 6.3	2.5 8.3	0.2 -
イ 企業の採用や昇進、給与などで、外国人が不利益を受けること	ある ない	646 96	28.0 16.7	39.5 32.3	23.7 31.3	4.6 10.4	3.7 9.4	0.5 -
ウ 障がいのある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対すること	ある ない	646 96	34.2 27.1	34.7 26.0	22.6 32.3	5.6 8.3	2.6 6.3	0.3 -
エ 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が低くなること	ある ない	646 96	17.3 18.8	36.8 37.5	28.5 31.3	13.8 6.3	3.1 6.3	0.5 -
オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること	ある ない	646 96	50.9 32.3	28.0 27.1	13.9 27.1	3.9 7.3	3.1 6.3	0.2 -
カ 家族が寝たきりの高齢者の希望に反して施設に入所させること	ある ない	646 96	7.7 7.3	20.6 20.8	51.1 45.8	15.2 16.7	4.8 8.3	0.6 1.0
キ 性的な被害を受けた女性に対して、「夜遅くに外出した」、「スキがあった」などと周囲が非難すること	ある ない	646 96	34.2 18.8	33.3 31.3	25.4 35.4	4.2 8.3	2.8 6.3	0.2 -
ク HIV（エイズウイルス）感染を理由に、労働者が採用されなかったり解雇されたりすること	ある ない	646 96	33.1 24.0	33.0 25.0	25.5 40.6	4.3 4.2	3.4 6.3	0.6 -
ケ 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること	ある ない	646 96	44.3 29.2	22.3 20.8	18.1 26.0	7.3 9.4	7.7 14.6	- -
コ 非嫡出子（法律上の婚姻関係にない男女の間に生まれた子）が結婚に際して不利益を受けること	ある ない	646 96	46.1 30.2	29.9 32.3	18.3 27.1	2.8 2.1	2.6 7.3	0.3 1.0
サ 民間企業で知的な障がいがある人や精神に障がいのある人の雇用が進まないこと	ある ない	646 96	21.7 14.6	33.7 34.4	35.1 35.4	6.0 7.3	3.3 8.3	0.2 -
シ 外国人であることを理由に、賃貸マンションへの入居が拒否されること	ある ない	646 96	21.8 12.5	41.2 31.3	28.2 42.7	5.1 5.2	3.6 8.3	0.2 -
ス 女性にだけ再婚禁止期間が設けられていること	ある ない	646 96	29.6 13.5	29.4 31.3	28.2 34.4	6.8 10.4	5.9 9.4	0.2 1.0

しかし、問10についてその結果を、人権教育を受けた経験の有無別に示した表2をみると、「問題だと思う」という回答は、人権教育を受けた経験を持つ人ほど多いとは限らない。つまり、人権教育を受けた経験の有無による差が明確ではないということである。項目によって、人権教育を受けた経験の有無による差がはっきりとみられる場合と、その差がはっきりとはみられない場合がある。この差は何であるのか。どういう人権課題で効果が表れていて、どういう人権課題の場合、効果が表れていないのか、さらに新たなデータを加え、考察を深めていかななくてはならないだろう。

表2 人権教育を受けた経験の有無別人権の観点からの問題の有無 (60歳未満) (%)

	人権教育の有無	n	問題だと思う	問題だかと思えば	どちらともいえない	問題だかと思われない	問題だと思わない	無回答
ア 就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族構成を聞くこと	ある	646	16.3	18.3	26.5	20.6	18.0	0.5
	ない	96	13.5	12.5	29.2	19.8	22.9	2.1
イ 凶悪事件の場合は、未成年であっても犯人の実名を公表すること	ある	646	3.1	4.5	19.8	27.2	45.4	-
	ない	96	2.1	5.2	19.8	19.8	52.1	1.0
ウ 中学・高校の女子生徒の制服がスカートに限定され、ズボンが認められていないこと	ある	646	8.4	17.5	38.9	17.3	17.6	0.3
	ない	96	7.3	10.4	38.5	24.0	18.8	1.0
エ 国際的にみて、日本が難民の受け入れに消極的であること	ある	646	5.6	12.4	50.8	14.7	16.6	-
	ない	96	4.2	12.5	44.8	13.5	24.0	1.0
オ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないこと	ある	646	6.0	23.1	46.6	12.2	12.1	-
	ない	96	8.3	18.8	52.1	10.4	9.4	1.0
カ 理由にかかわらず、不法滞在の外国人を日本国外に強制退去させること	ある	646	6.5	14.6	33.0	21.2	24.6	0.2
	ない	96	5.2	10.4	42.7	11.5	28.1	2.1
キ ヘイト・スピーチに対して法的な罰則が設けられていないこと	ある	646	18.6	33.6	37.3	5.0	5.4	0.2
	ない	96	11.5	20.8	52.1	5.2	8.3	2.1
ク 妊娠した女性に親や夫の親などが、出生前診断を受けようように要求すること	ある	646	16.9	20.6	38.2	11.8	12.5	-
	ない	96	11.5	15.6	44.8	10.4	16.7	1.0
ケ さまざまな書類に性別に記入欄が設けられていること	ある	646	1.7	4.0	29.4	25.2	39.5	0.2
	ない	96	3.1	3.1	33.3	17.7	41.7	1.0

#### 4. 憲法における権利に対する理解

今回の調査では、憲法に定められた国民の権利に関する問いを設けた。これはNHK放送文化研究所が5年ごとに実施している「日本人の意識」調査の設問のひとつである。

問6の結果によると、「あなたは、憲法により義務ではなく、「国民の権利」と定められているのはどれだと思いますか」(複数回答)に対して、最も多かったのは「人間らしい暮らしをする」(83.6%)で、「思っていることを世間に発表する」がこれに続くものの、35%しかなく、「労働組合をつくる」は28.7%と、「税金を納める」(31.5%)よりも少ない(45ページ)。ただ、NHK調査(2013年)と比較すると、今回の結果は全国に比べてとくに劣っているとはいえない(99ページ)。とはいえ、憲法で定められている権利の理解は十分なものとはいえず、義務と混同した回答も多かった。自分がどういう権利を持っているのか知らなければ、自分の権利を守ることはできないし、周囲の人たちがどのような権利を持っているのか知らなければ、他人の権利を侵害しないという保証もできないであろう。

報告書では、国民の権利の理解度別に調査結果のクロス分析を行った(完全正解者、部分正解者、不正解者については、6ページを参照)。これによると、多くの項目で完全正解者の人権意識が高いと



ということがわかった。それはすでに図に示してきたとおりである。

憲法における権利について理解が高いほど、人権意識が高くなるのか、もともと人権意識が高い人ほど、憲法の権利についても理解が高いのか、どちらであるのかは断定できないが、憲法における基本的人権の学習が人権意識を高めることにつながるといえるのではないだろうか。また、人権教育を受けた経験の有無別に憲法の権利の理解度を見ると、人権教育を受けた人ほど、権利の理解度が高いことがわかる（45ページ）。

このように、人権教育は憲法における権利に対する理解を高め、人権意識の向上にも効果を持つ面がみられるのである。人権教育の重要さが、改めて確認されたといえよう。



# 資料編



## 資料編

### 1 全国・兵庫県及び前回調査との比較

図表及び文章中において、下記名称で引用している調査データの概要は次のとおりである。

名 称	実施主体	調査実施概要
前回調査	加古川市人権・同和教育協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象：満20歳以上の加古川市民3,000人</li> <li>調査方法：郵送調査法</li> <li>調査期間：平成18年(2006年)1月18日～2月20日</li> <li>回収数(率)：1,031 (34.4%)</li> </ul>
県調査	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象：満20歳以上の県民3,000人</li> <li>調査方法：郵送調査法</li> <li>調査期間：平成25年(2013年)10月18日～11月8日</li> <li>回収数(率)：1,210 (40.3%)</li> </ul>
全国(NHK)調査	NHK放送文化研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象：全国の16歳以上の国民5,400人</li> <li>調査方法：個人面接法</li> <li>調査期間：平成25年(2013年)10月19日・20日</li> <li>回収数(率)：3,070 (56.9%)</li> </ul>

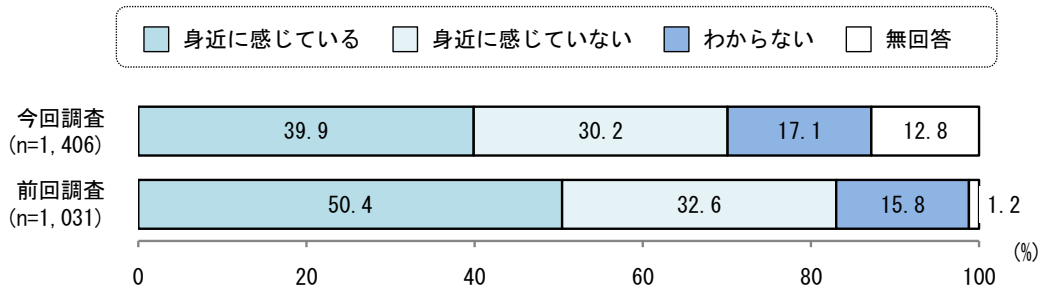
#### (1) 人権問題の身近さに対する意識について

問1 あなたは「人権」を身近な問題として感じていますか。(○は1つ)

##### 【前回調査（平成18年(2006年)実施）との比較】

◇人権を身近な問題として感じている割合は、今回調査は39.9%で、前回調査の50.4%に比べ低い。

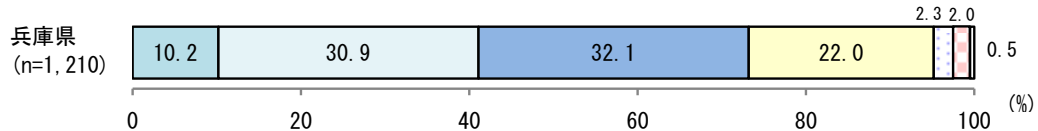
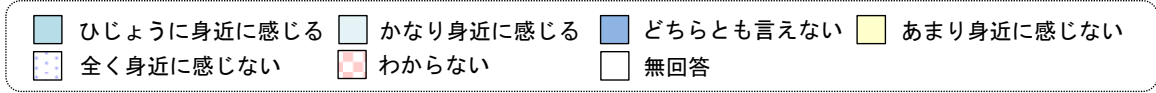
##### [人権問題の身近さに対する意識（前回調査との比較）]



【県調査（平成25年（2013年）実施）の結果】

◇『身近に感じている』割合（「ひじょうに身近に感じる」と「かなり身近に感じる」の計）は、兵庫県の調査では41.1%で、本市は県の傾向と変わらない。

[人権問題の身近さに対する意識（県調査の結果）]



(2) 人権侵害の認識状況について

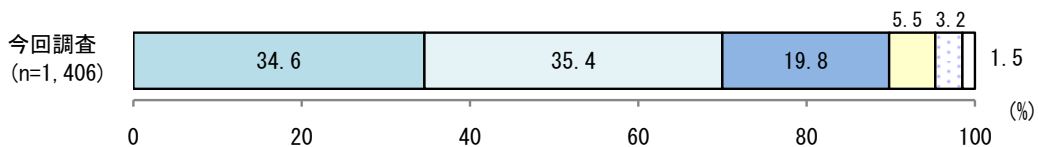
問2 あなたは、次のようなことは人権侵害にあてはまると思いませんか。  
 ア～スのそれぞれについて選んでください。（○はそれぞれ1つ）

【前回調査（平成18年（2006年）実施）との比較】

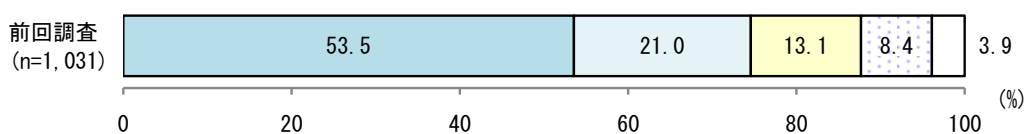
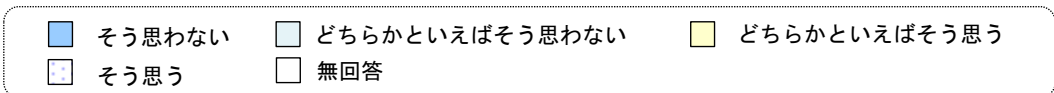
■賃金や昇進・昇給における男女間の差について

◇今回・前回調査とも、性別で区別することについては人権侵害にあたると思っている割合は高い。

[今回] 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること



[前回] 同年齢で同期に入社し、同じ仕事をしている男性と女性の間、賃金や昇給に差があってもよい



### (3) 子どもの人権に関する意見に対する考えについて

問3 子どもの人権に関する意見について、あなたはどのように思いますか。ア～キのそれぞれについて選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

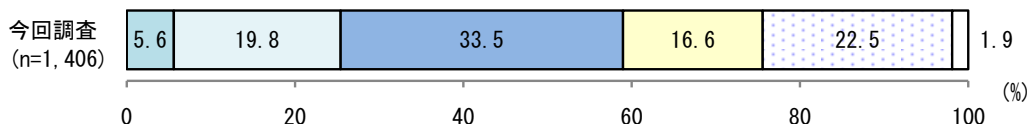
#### 【前回調査（平成18年(2006年)実施）との比較】

##### ■保護者による子どもへの体罰の是非について

◇保護者（親）がしつけと称して子どもに体罰を加える行為について同調する意見の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）は、前回から低下している。

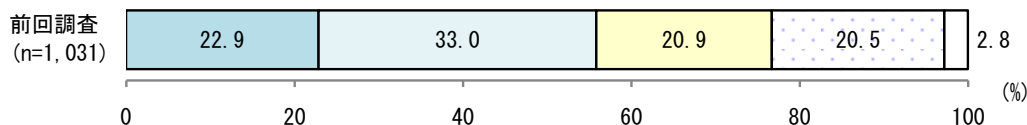
[今回] 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない

そう思う     どちらかといえばそう思う     どちらともいえない     どちらかといえばそう思わない  
 そう思わない     無回答



[前回] 親は、しつけで子どもに体罰をすることがあってもかまわない

そう思う     どちらかといえばそう思う     どちらかといえばそう思わない  
 そう思わない     無回答

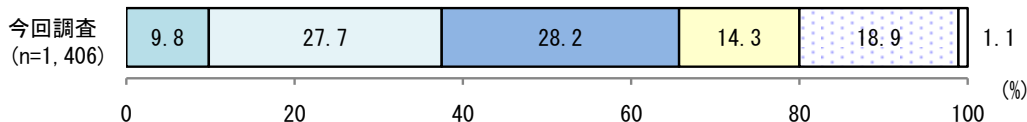


##### ■教師による子どもへの体罰の是非について

◇教師による指導と称して子どもに体罰を加える行為について同調する意見の割合は、前回から低下している。

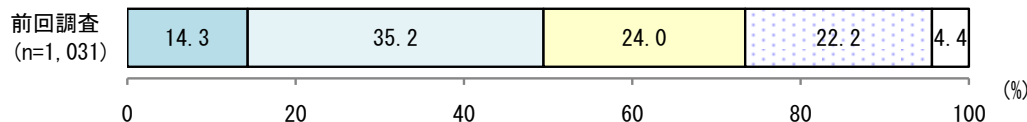
[今回] 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ

そう思う     どちらかといえばそう思う     どちらともいえない     どちらかといえばそう思わない  
 そう思わない     無回答



[前回] 教師は、指導で子どもに体罰をすることがあってもかまわない

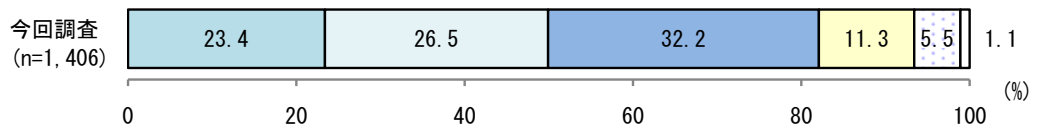
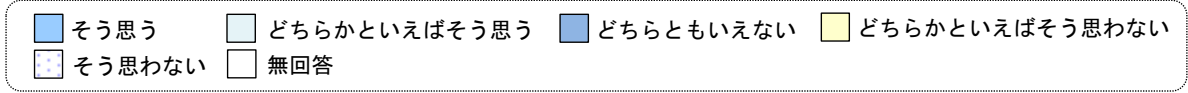
そう思う     どちらかといえばそう思う     どちらかといえばそう思わない  
 そう思わない     無回答



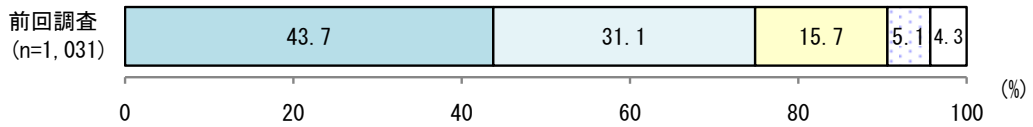
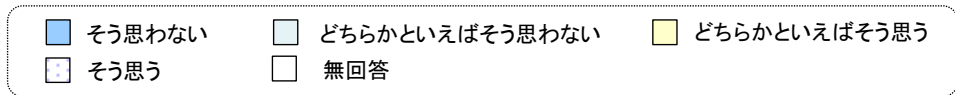
■保護者が子どもの手紙やメールなどを勝手に見ることについて

◇メール等を勝手にみることについて否認する割合は、前回比べ低くなっている一方で同調も否認もしない市民の割合が高くなっている。

[今回] 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい



[前回] 親が、子どもを心配して手紙やメールを勝手に見るのはかまわない





#### (4) 人権侵害の経験について

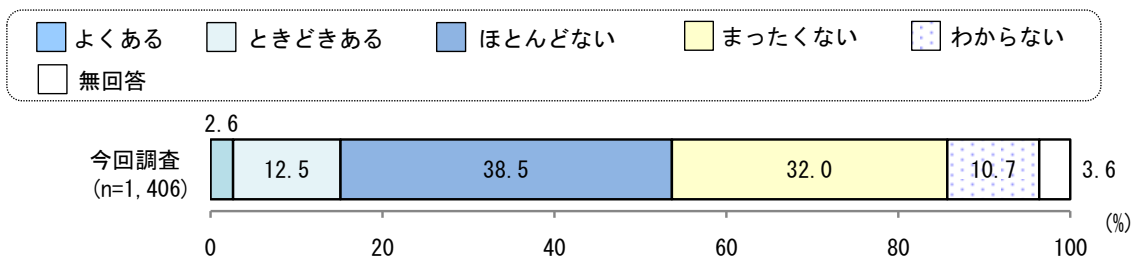
##### ① ここ5年間ぐらいに人権を侵害されたと思った経験

問4 あなたは、ここ5年ぐらいの間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(○は1つ)

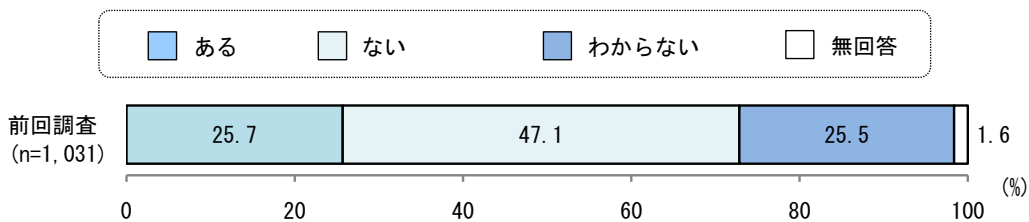
#### 【前回調査（平成18年(2006年)実施）との比較】

◇今回調査は、「ここ5年ぐらいの間」に限定したことで“ある”の割合（「よくある」と「ときどきある」の計）が前回調査より低下している。

#### [今回] ここ5年間ぐらいに人権を侵害されたと思った経験



#### [前回] 人権が侵害されたと思ったことがあるか



(5) 家族に関わるいろいろな見方や考え方について

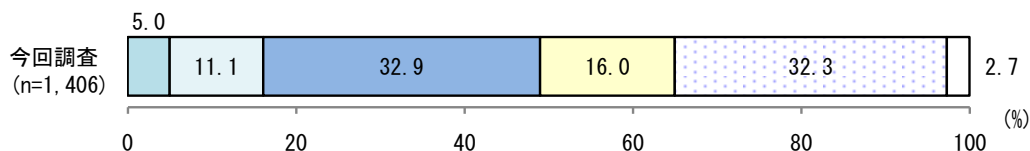
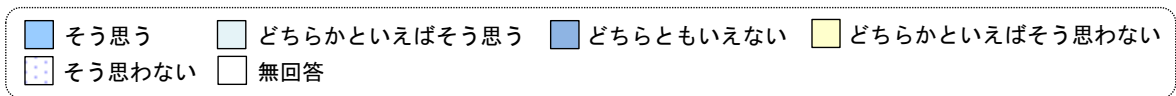
問5 次のような家族に関わるいろいろな見方や考え方について、あなたはどのように思いますか。ア～シのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

【前回調査（平成18年(2006年)実施）との比較】

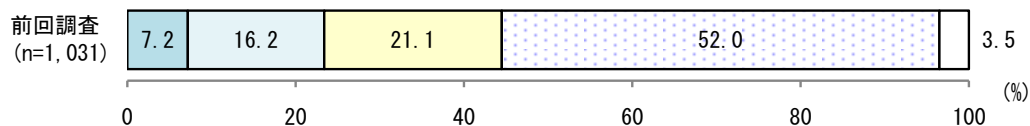
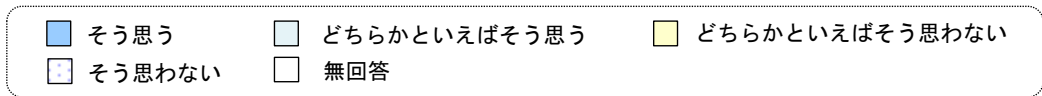
■ 固定的な性別役割分担について

◇今回調査、前回調査で質問の仕方が異なるが、今回調査・前回調査とも“女性（妻）は家庭”という考え方に同調する割合は少なく、否定的な意見をもつ市民のほうが多い。

[今回] 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ



[前回] 男は仕事、女は家庭という役割分担をする方がよい



(6) 国民の権利として定められていると思うもの

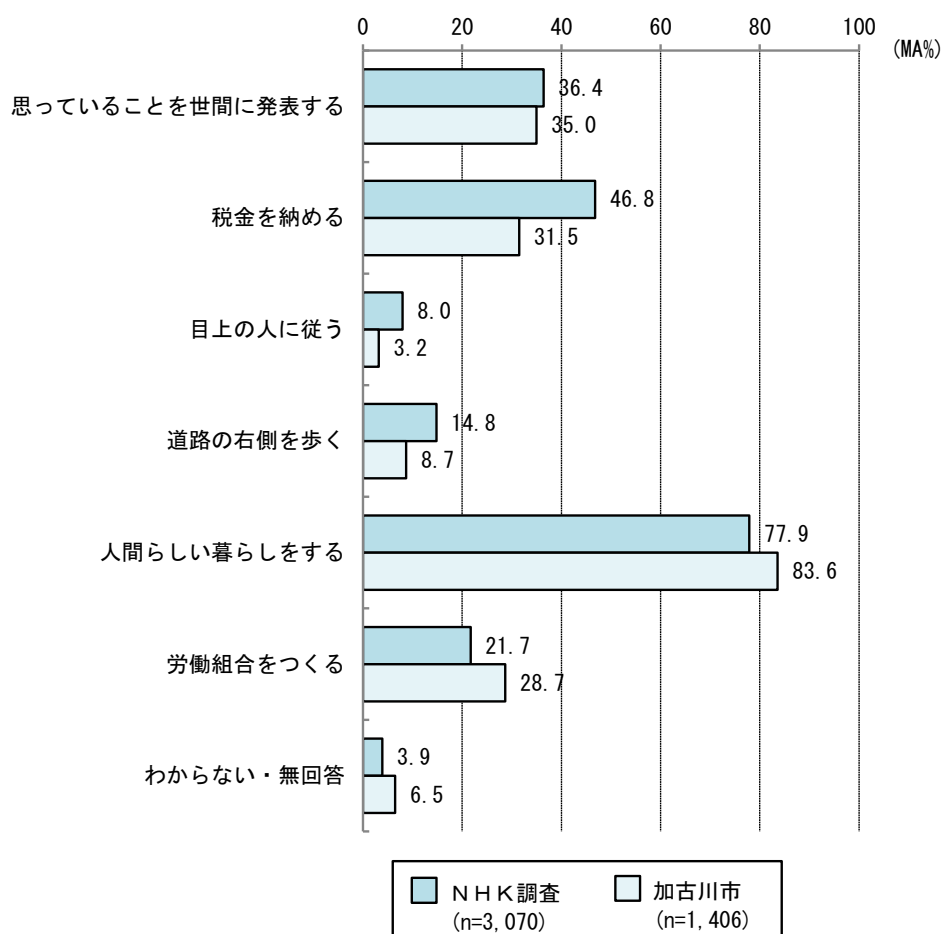
問6 あなたは、憲法により義務ではなく、「国民の権利」と定められているのはどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

【全国（NHK）調査（平成25年（2013年）実施）との比較】

◇「人間らしい暮らしをする」(77.9%)は、全国値(83.6%)に比べ5.7ポイント、「労働組合をつくる」(28.7%)は全国値(21.7%)より7.0ポイント、それぞれ高い。「思っていることを世間に発表する」は全国値36.4%に対し、本市は35.0%と大きな差はない。逆に「税金を納める」の割合(31.5%)は全国値(46.8%)より本市のほうが15.3ポイント低い。

これら以外の項目についても全国値に比べ本市の割合のほうが低く、権利と義務についての認識間違いをしている市民が一定数いるものの、正しい知識をもつ割合は全国に比べ本市のほうが上回っている。

[国民の権利として定められていると思うもの（全国(NHK)調査との比較)]



(7) 日本の社会での人権や同和問題に関する意見に対する考えについて

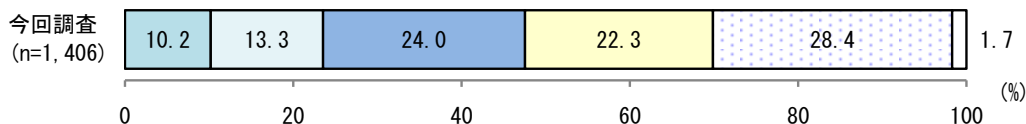
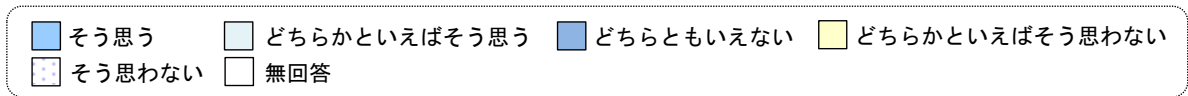
問11 日本の社会での人権や同和問題に関する次のような意見について、あなたはどのように思いますか。ア～エのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

【前回調査（平成18年(2006年)実施）との比較】

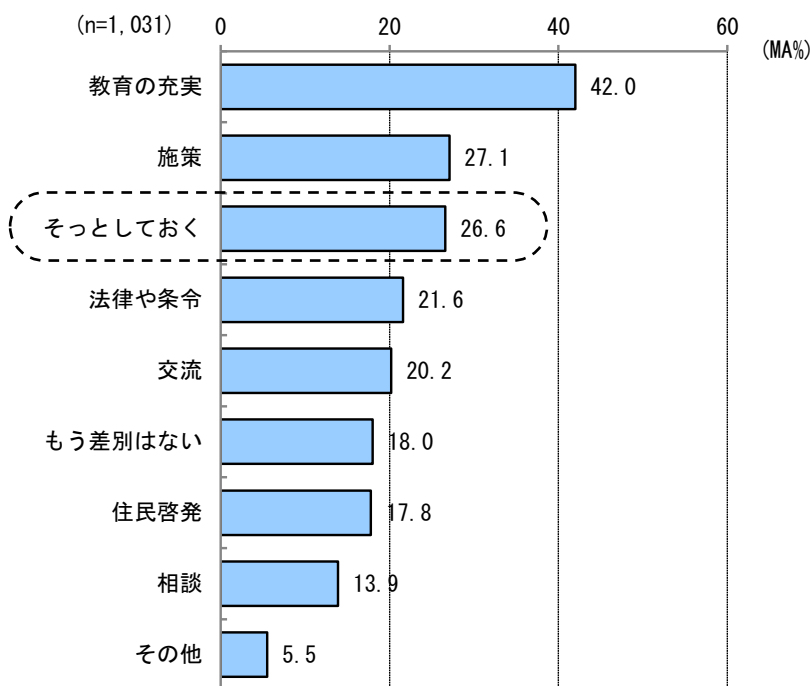
■同和問題に関する意見に対する考え

◇今回調査、前回調査で質問の仕方が異なるが、今回調査・前回調査とも“寝た子を起こすな”論をもつ市民が依然一定数いることがうかがえる結果となっている。

[今回] 同和問題は、そっとしておけば自然になくなる問題だ



[前回] 同和問題の解決のためには、どうしたらよいと思われますか。(○は3つまで)

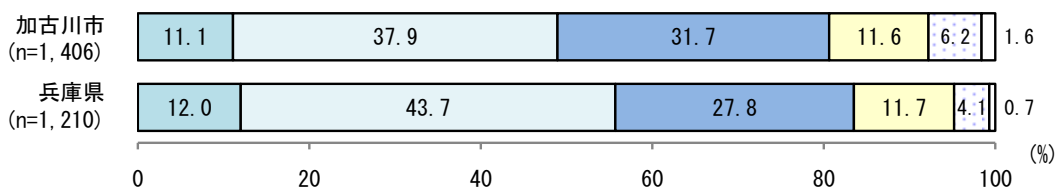
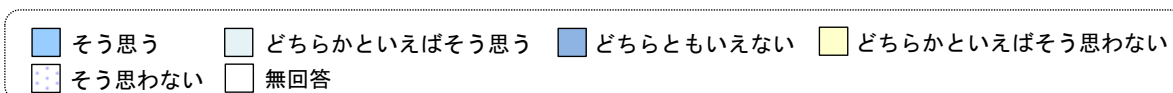


【県調査（平成25年（2013年）実施）との比較】

■人権尊重社会についての考え

◇人権が“尊重されていない”の割合（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の計）は17.8%、「どちらともいえない」は31.7%で、兵庫県の割合に比べ本市のほうがそれぞれ高くなっている。

[今の日本は、人権が尊重されている社会である]

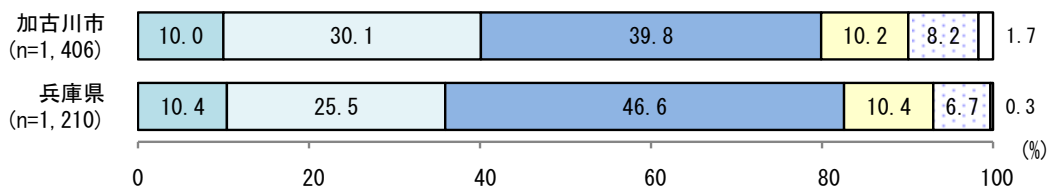
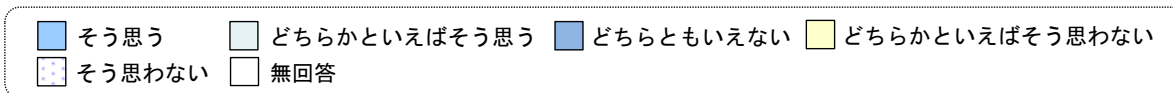


【県調査（平成25年（2013年）実施）との比較】

■国民（県民）一人ひとりの人権意識の向上についての考え

◇人権意識が5～6年前に比べ“高くなっていると思う”の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）は、本市が40.1%に対し兵庫県が35.9%で本市のほうが4.2ポイント高い。

[国民（県民）一人ひとりの人権意識は5～6年前に比べて高くなっている]



## 加古川市人権に関する市民意識調査

本市では、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる人権文化の確立に向けて、平成22年に「加古川市人権教育及び人権啓発に関する基本計画」を策定し、人権に関するさまざまな施策を推進してまいりました。

この度、新しい計画を策定するにあたり、市内に居住されている20歳以上の3,000人の方々を無作為に選んで市民意識調査を実施し、市民の皆様のご意見をお聞かせいただき、計画策定の基礎資料にしてまいりたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、市民意識調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年10月

加古川市長 岡田 康裕

### ご記入にあたってのお願い

- 1 回答は、無記名でお答えいただきますので、どなたのお答えかわからないようになっています。回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはいっさいありません。お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。
- 2 回答は、封筒のあて名のご本人がお答えください。なお、ご本人による記入が困難な場合は、家族の方等に代筆していただいても結構です。
- 3 それぞれの問いで、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。  
また、「その他(具体的に: )」を選ばれた場合は、( )内にその内容をご記入ください。
- 4 ご記入いただきました調査票は、10月24日(月)までに、同封の返信用封筒に入れて、ご投函ください。(切手は不要です。)  
なお、返信用封筒に差出人のお名前を書いていただく必要はありません。
- 5 この調査についてのご質問等は、下記までお問い合わせください。

加古川市 市民部 人権施策推進課

〒675-0032 加古川市加古川町備後 332-1

電話番号 079-451-5030 FAX 番号 079-426-0062

問1 あなたは「人権」を身近な問題として感じていますか。(○は1つ)

1 身近に感じている	2 身近に感じていない	3 わからない
------------	-------------	---------

問2 あなたは、次のようなことは人権侵害にあてはまると思いませんか。  
ア～スのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あてはまらない あまり	まったくあてはまらない
ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること	1	2	3	4	5
イ 企業の採用や昇進、給与などで、外国人が不利益を受けること	1	2	3	4	5
ウ 障がいのある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対すること	1	2	3	4	5
エ 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が低くなること	1	2	3	4	5
オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること	1	2	3	4	5
カ 家族が寝たきりの高齢者の希望に反して施設に入所させること	1	2	3	4	5
キ 性的な被害を受けた女性に対して、「夜遅くに外出した」、「スキがあった」などと周囲が非難すること	1	2	3	4	5
ク HIV（エイズウィルス）感染を理由に、労働者が採用されなかったり解雇されたりすること	1	2	3	4	5
ケ 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること	1	2	3	4	5
コ 非嫡出子（法律上の婚姻関係にない男女の間に生まれた子）が結婚に際して不利益を受けること	1	2	3	4	5
サ 民間企業で知的な障がいがある人や精神に障がいのある人の雇用が進まないこと	1	2	3	4	5
シ 外国人であることを理由に、賃貸マンションへの入居が拒否されること	1	2	3	4	5
ス 女性にだけ再婚禁止期間が設けられていること	1	2	3	4	5



問3 子どもの人権に関する意見について、あなたはどのように思いますか。ア～キのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	そう思う どちらかといえば	いえない どちらとも	そう思わない どちらかといえば	そう思わない
ア いじめはいじめを受ける子どもにも問題がある	1	2	3	4	5
イ 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない	1	2	3	4	5
ウ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ	1	2	3	4	5
エ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい	1	2	3	4	5
オ 学校の規則等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない	1	2	3	4	5
カ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ	1	2	3	4	5
キ 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ	1	2	3	4	5

問4 あなたは、ここ5年くらいの間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(○は1つ)

1 よくある    2 ときどきある	----->>> 問4-1へ
3 ほとんどない    4 まったくない    5 わからない	----->>> 問5へ

問4-1 問4で「1」、「2」を選んだ人にお聞きします。それはどのような人権侵害でしたか。(○はいくつでも)

1 あらぬ噂(うわさ)や悪口により、名誉・信用等を侵害された 2 警察官等の公務員から不当な扱いを受けた 3 地域で暴力、無理強い、仲間はずれなどの行為を受けた 4 配偶者やパートナーから暴力(ドメスティック・バイオレンス)を受けた 5 職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ(パワー・ハラスメント)を受けた 6 プライバシーを侵害された 7 差別待遇(信条・性別・社会的身分等により不平等または不利益な扱い)を受けた 8 性的いやがらせ(セクシャル・ハラスメント)を受けた 9 学校でいじめを受けた 10 インターネット(SNS*を含む)による中傷・いじめなどを受けた 11 その他(具体的に:.....) 12 おぼえていない
--

\*SNS: ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスのことを言います。



問4-2 問4で「1」、「2」を選んだ人にお聞きします。人権侵害を受けたとき、どうされましたか。(〇はいくつでも)

1 黙って我慢した	2 自分で相手に抗議した
3 友人、家族に相談した	4 学校の先生に相談した
5 弁護士に相談した	6 職場の上司や地域の有力者に相談した
7 地域の民生・児童委員などに相談した	8 市民団体等に相談した
9 法務局や人権擁護委員などに相談した	10 市役所に相談した
11 警察に相談した	12 おぼえていない
13 その他(具体的に: .....	)

問5 次のような家族に関わるいろいろな見方や考え方について、あなたはどのように思いますか。ア～シのそれぞれについて選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば いえない	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5	
イ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5	
ウ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるべきだ	1	2	3	4	5	
エ 子どもが3歳くらいまでは、母親が育てるべきだ	1	2	3	4	5	
オ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4	5	
カ 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をすべきだ	1	2	3	4	5	
キ 夫の親を妻が介護するのは当然だ	1	2	3	4	5	
ク 結婚したら妻は夫の姓を名乗る方がよい	1	2	3	4	5	
ケ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ	1	2	3	4	5	
コ 自分の身内が外国人と結婚することには抵抗がある	1	2	3	4	5	
サ 自分の身内に同性愛者はいてほしくない	1	2	3	4	5	
シ 自分の身内が未婚のまま子どもを産むことは好ましくない	1	2	3	4	5	



問6 あなたは、憲法により義務ではなく、「国民の権利」と定められているのはどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                      |            |
|----------------------|------------|
| 1 思っていることを世間に発表する    | 2 税金を納める   |
| 3 目上の人に従う            | 4 道路の右側を歩く |
| 5 人間らしい暮らしをする        | 6 労働組合をつくる |
| 7 憲法に何が定められているかわからない |            |

問7 あなたは、これまで学校で差別や人権に関する教育を受けたことがありますか。(〇は1つ)

- |      |      |       |
|------|------|-------|
| 1 ある | 2 ない | ▶ 問8へ |
|------|------|-------|

問7-1 問7で「1 ある」と回答された人にお聞きします。どのような内容を教わりましたか。(〇はいくつでも)

- |                            |
|----------------------------|
| 1 女性の人権問題                  |
| 2 高齢者の人権問題                 |
| 3 障がいのある人の人権問題             |
| 4 同和問題                     |
| 5 在日韓国・朝鮮人の人権問題            |
| 6 外国人労働者とその家族の人権問題         |
| 7 HIV（エイズウィルス）感染者の人権問題     |
| 8 ハンセン病回復者*の人権問題           |
| 9 アイヌ民族の人権問題               |
| 10 子どもの人権問題                |
| 11 子どもの権利条約                |
| 12 性的少数者（セクシャルマイノリティ）の人権問題 |
| 13 その他（具体的に：.....）         |
| 14 おぼえていない                 |

※ハンセン病回復者：ハンセン病は、「らい菌」によって引き起こされる慢性の感染症です。過去の積み重ねられた誤った認識により、ハンセン病回復者に対する偏見や宿泊拒否などの差別が今なお生じています。現在は、患者であったことを理由に差別することは法律で禁止されています。

問8 結婚相手が同和地区の人であることを理由に、家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその方から相談を受けた場合、どのような態度をとると思いますか。最もお考えに近いものを選んでください。(〇は1つ)

- |                              |
|------------------------------|
| 1 反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う |
| 2 迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う |
| 3 慎重に考えなさいと言う                |
| 4 あきらめるように言う                 |
| 5 どう言えばよいのかわからない             |
| 6 その他（具体的に：.....）            |

問9 あなたは、ここ5年くらいの間に同和問題に関して、次のような発言を直接聞いたことがありますか。複数ある場合は、強く印象に残っているものを選んでください。(○は1つ)

- 1 同和地区の人(子ども)とは、付き合っては(遊んでは)いけない
- 2 同和地区の人とは、結婚してはいけない
- 3 同和地区の人はこわい
- 4 同和地区の人は無理難題を言う
- 5 同和地区は治安が悪い
- 6 住宅を購入する際、同和地区内の物件を避けた方がいい
- 7 聞いたことはない →問10へ

▶問9-1～問9-2は、問9で「1」～「6」を選んだ人にお聞きします。

問9-1 それは誰から聞きましたか。主なものを選んでください。(○は1つ)

- 1 家族
- 2 親戚
- 3 近所の人
- 4 友人
- 5 職場の人
- 6 知らない人
- 7 その他(具体的に:.....)

問9-2 それを聞いたとき、どう感じましたか。また、どうしましたか。(○は1つ)

- 1 そのとおりと思った
- 2 そういう見方もあるのかと思った
- 3 反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった
- 4 反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた
- 5 とくに何も思わなかった



問10 あなたは、次のようなことは人権の観点から問題があると思いますか。  
ア～ケのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	問題だと思 う	問題だと思 う	どちらかとい えば	い え な い	ど ち ら と も	ど ち ら か と い え ば	問 題 だ と 思 わ な い
ア 就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族構成を聞くこと	1	2	3	4	5		
イ 凶悪事件の場合は、未成年者であっても犯人の実名を公表すること	1	2	3	4	5		
ウ 中学・高校の女子生徒の制服がスカートに限定され、ズボンが認められていないこと	1	2	3	4	5		
エ 国際的にみて、日本が難民の受け入れに消極的であること	1	2	3	4	5		
オ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないこと	1	2	3	4	5		
カ 理由にかかわらず、不法滞在の外国人を日本国外に強制退去させること	1	2	3	4	5		
キ ヘイト・スピーチ※に対して法的な罰則が設けられていないこと	1	2	3	4	5		
ク 妊娠した女性に親や夫の親などが、出生前診断（胎児の染色体異常を調べる検査）を受けるように要求すること	1	2	3	4	5		
ケ さまざまな書類に性別の記入欄が設けられていること	1	2	3	4	5		

※ヘイト・スピーチ：在日韓国・朝鮮人などに対して、民族的な差別や憎悪を表明する街宣活動

問11 日本の社会での人権や同和問題に関する次のような意見について、あなたは どう 思いますか。ア～エのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	そ う 思 う	そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば	い え な い	ど ち ら と も	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い
ア 今の日本は、人権が尊重されている社会である	1	2	3	4	5		
イ 国民一人ひとりの人権意識は5～6年前に比べて高くなっている	1	2	3	4	5		
ウ 同和問題は、人権にかかわる問題だから、社会全体で取り組み、自分も努力すべきだ	1	2	3	4	5		
エ 同和問題は、そっとしておけば自然になくなる問題だ	1	2	3	4	5		

問12 あなたは、日常、仕事・私用を問わず、どのくらいの頻度でホームページの閲覧や電子メールの送受信といったインターネットを利用していますか。(○は1つ)

1 ほぼ毎日	2 1週間に数回程度
3 1週間に1回程度	4 1か月に1、2回程度
5 ほとんど利用していない	6 まったく利用していない

問13 携帯やスマホ、パソコンなどのインターネット上での下記のような書き込みや行為についてどう思いますか。ア～キのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	問題だと思う	問題だと思う	どちらかといえば いえない	どちらとも いえない	問題だと思わない	問題だと思わない
ア 同和地区の地名を明らかにするような書き込み	1	2	3	4	5	5
イ 同和地区出身者や障がいのある人、外国人などに対する差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込み	1	2	3	4	5	5
ウ 名前、電話番号、住所、メールアドレスなど、個人を特定できる情報を流出させる書き込み	1	2	3	4	5	5
エ 他人に知られたくない写真、動画などの掲載	1	2	3	4	5	5
オ 児童の裸の写真などの掲載	1	2	3	4	5	5
カ 相手が嫌がる性的なメールなどの送受信	1	2	3	4	5	5
キ 学校裏サイトやブログなどへの悪口の書き込みやSNSでの仲間外し	1	2	3	4	5	5

問14 さまざまな人権問題に関する市民の理解を深めるため、市（教育委員会を含む）や団体などが主催している講演会、研修会などに、あなたは参加したことがありますか。(○は1つ)

1 参加したことがある	→問14-1へ
2 参加したことがない	→問15へ

問14-1 問14で「1 参加したことがある」と回答された人にお聞きします。それは  
 どのような種類のものでしたか。(〇はいくつでも)

- |                              |
|------------------------------|
| 1 市（教育委員会を含む）が主催した講演会や研修会    |
| 2 公民館での講座や学級                 |
| 3 加古川市人権・同和教育協議会が主催した講演会や研修会 |
| 4 小学校区の同和教育協議会が主催した講演会や研修会   |
| 5 P T Aや学校などでの講演会や研修会        |
| 6 町内会等が主催した講演会や研修会（町懇、地区懇など） |
| 7 その他の人権団体が主催した講演会や研修会       |
| 8 その他（具体的に：.....）            |
| 9 おぼえていない                    |

問15 あなたは、加古川市で年4回発行している「加古川市人権文化センターだより」  
 を読んでいますか。(〇は1つ)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 毎回読んでいる  | 2 読んだことがある |
| 3 読んだことがない | 4 知らない     |

問16 加古川市及び各団体が実施している取り組みについて知っていますか。ア～オの  
 それぞれについて選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

	内容も含め おおむね知っ ている	名前は聞いた ことがある	知らない
ア ハートフルフェスタかこがわ	1	2	3
イ ウィンターステージ（サマーステージ）	1	2	3
ウ 人権ひろば	1	2	3
エ 人権フォーラム	1	2	3
オ 明日をひらく人権のつどい	1	2	3



【あなたご自身のことについてお聞きします。】

問17 あなたの性別は。(○は1つ)

1 男	2 女	3 その他
-----	-----	-------

問18 あなたの年齢は。(○は1つ)

1 20～29歳	2 30～39歳	3 40～49歳
4 50～59歳	5 60～69歳	6 70歳以上

問19 人権学習や人権啓発のあり方などについてご意見などがあれば、下記にご自由にお書きください。


質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。  
記入もれがないかご確認いただき、アンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。(切手は不要です)





加古川市人権に関する市民意識調査報告書

平成 29 年（2017 年）3 月

発 行：加古川市 市民部 人権施策推進課

〒675-0032

加古川市加古川町備後 332-1

（人権文化センター内）

TEL：079-451-5030

FAX：079-426-0062